

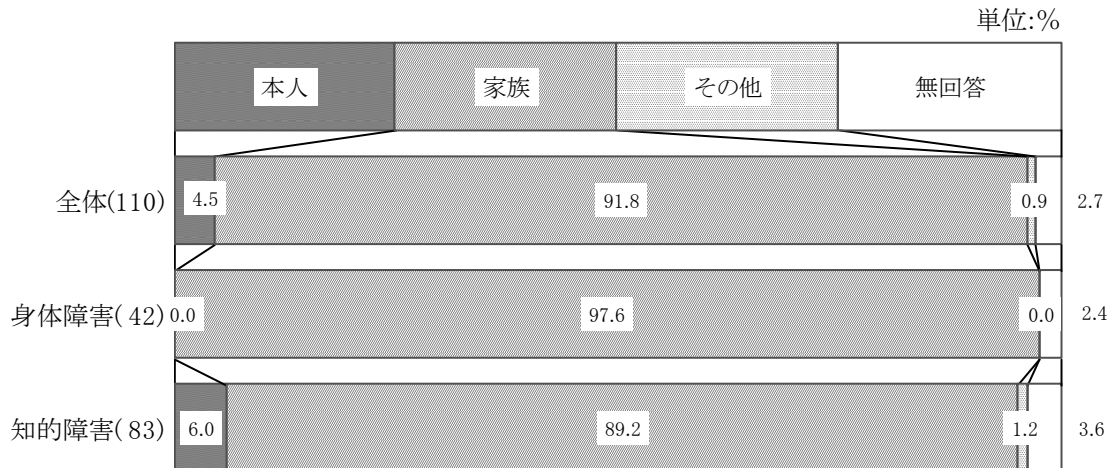
第 3 章

18 歳未満の方を対象にした調査

1. 調査票の回答者

問1 この調査票を回答していただく方は誰ですか。(〇は1つ)

全体では、「家族」が91.8%、「本人」が4.5%となっています。
 障害別に見ると、身体障害では「本人」という回答はありませんでした。

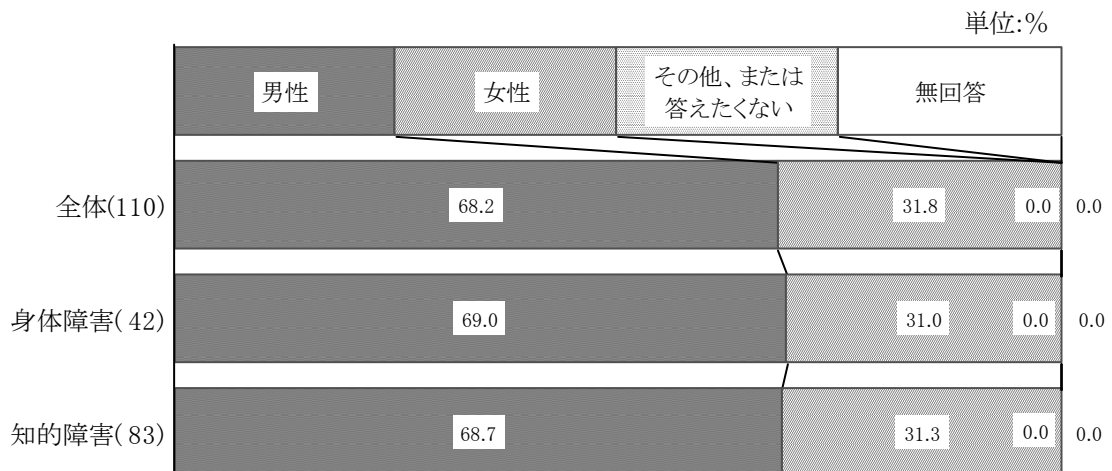


2. ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(〇は1つ)

全体では、「男性」が68.2%、「女性」が31.8%となっています。
 障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



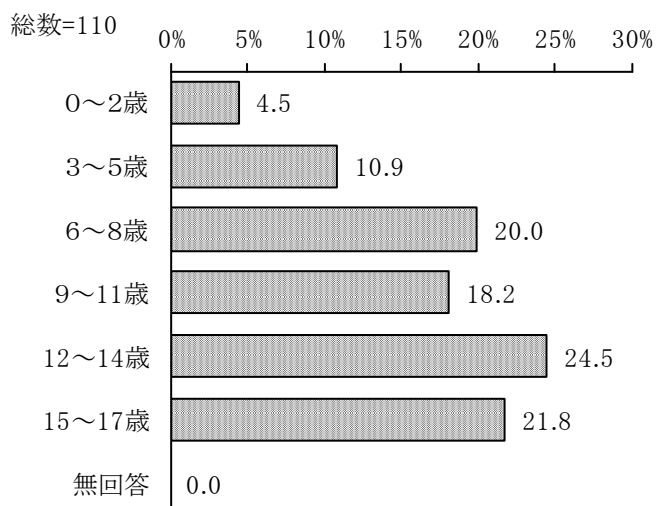
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和元年10月1日現在の年齢をお書きください。

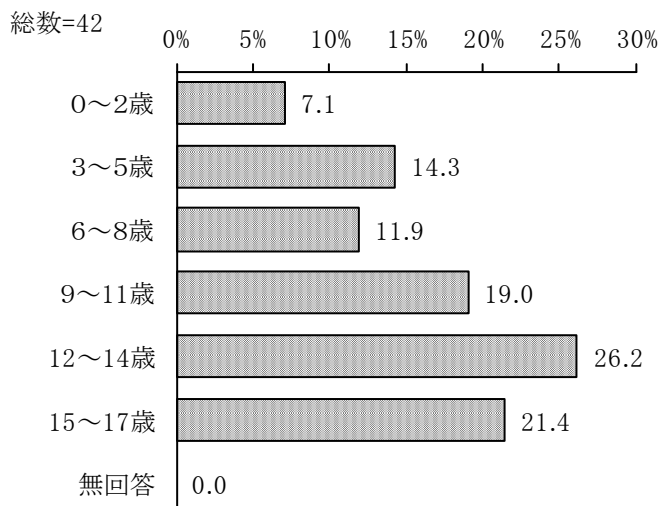
全体では、「12～14歳」が24.5%と最も多く、次いで「15～17歳」が21.8%、「6～8歳」が20.0%、「9～11歳」が18.2%となっています。

障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「6～8歳」が多くなっています。

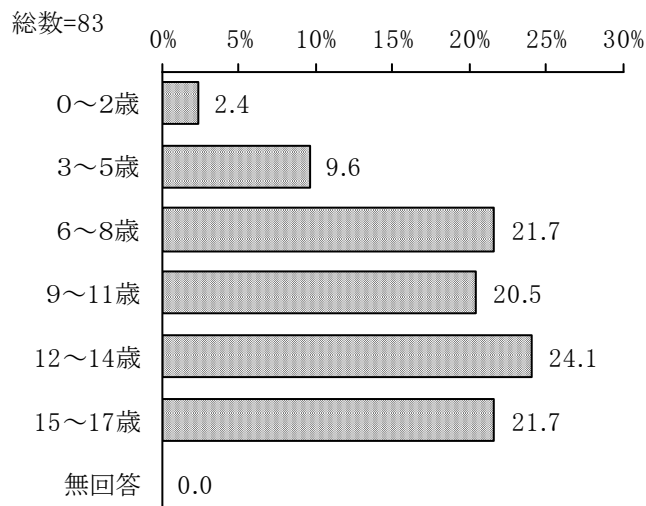
全体



身体障害



知的障害



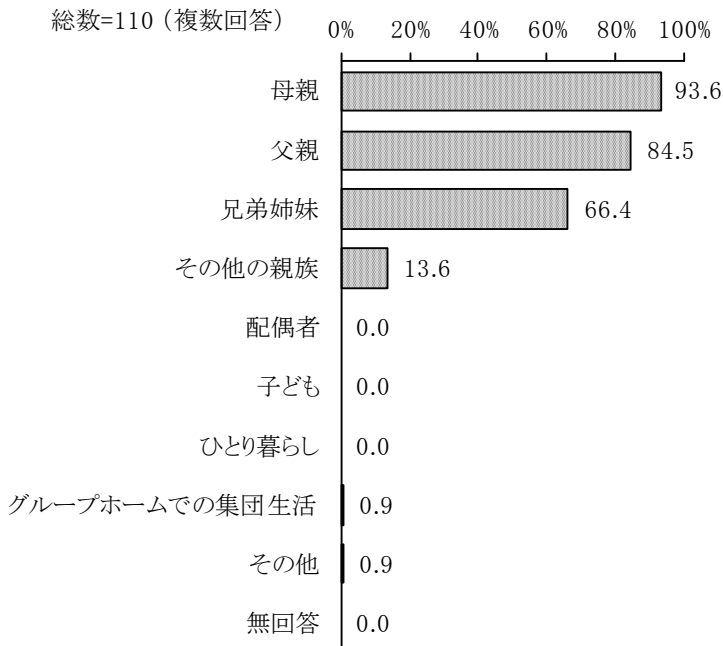
(3) 同居家族

問4 あなたと一緒に暮らしている方は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

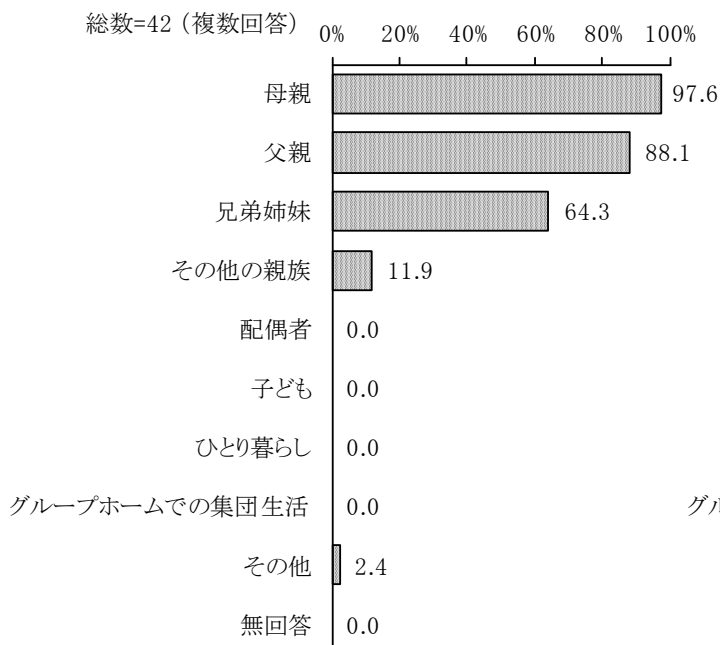
全体では、「母親」が93.6%と最も多く、次いで「父親」が84.5%、「兄弟姉妹」が66.4%、「その他の親族」が13.6%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

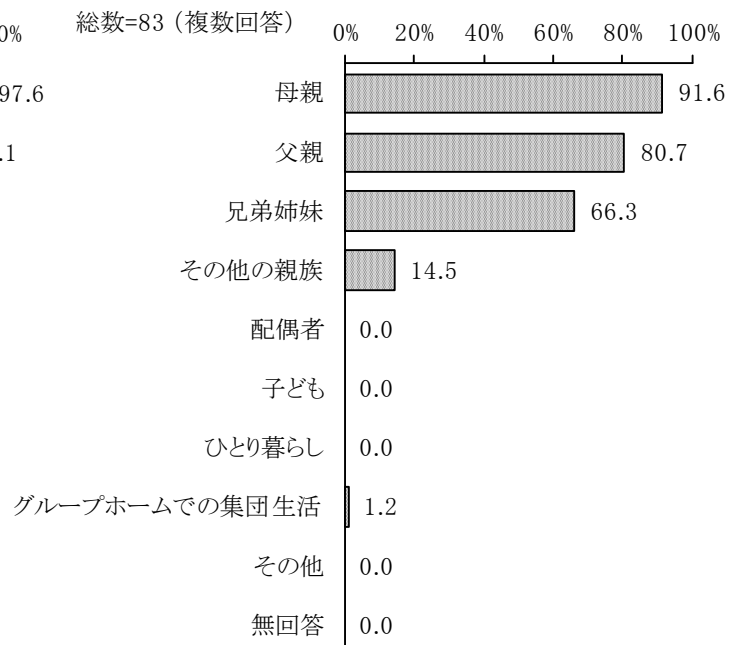
全体



身体障害



知的障害



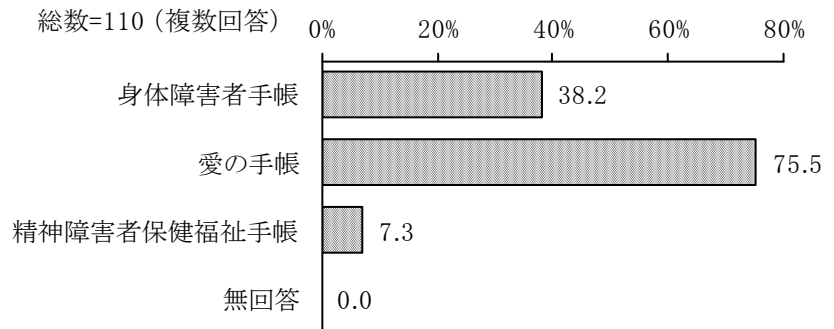
3. 障害の状況について

(1) 障害者手帳の種類

問6 あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きます。等級・程度にも○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

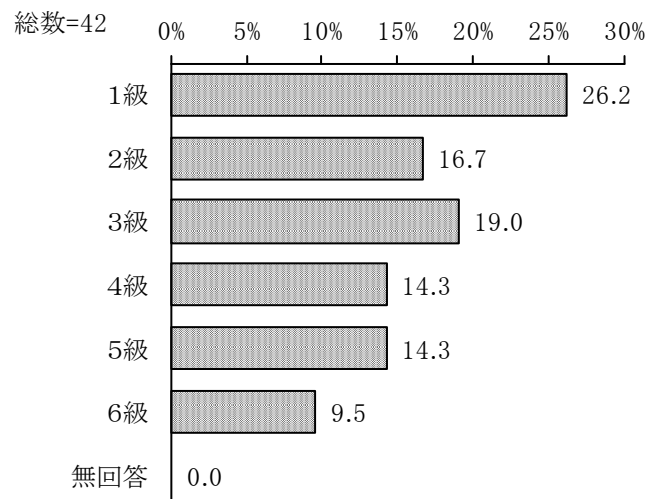
①障害者手帳の種類

「愛の手帳」が75.5%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が38.2%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.3%となっています。



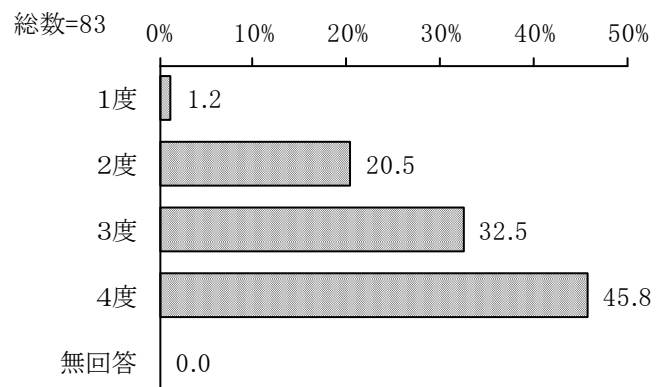
②身体障害者手帳の等級

「1級」が26.2%と最も多く、次いで「3級」が19.0%、「2級」が16.7%、「4級」「5級」がそれぞれ14.3%となっています。



③愛の手帳の程度

「4度」が45.8%と最も多く、次いで「3度」が32.5%、「2度」が20.5%、「1度」が1.2%となっています。



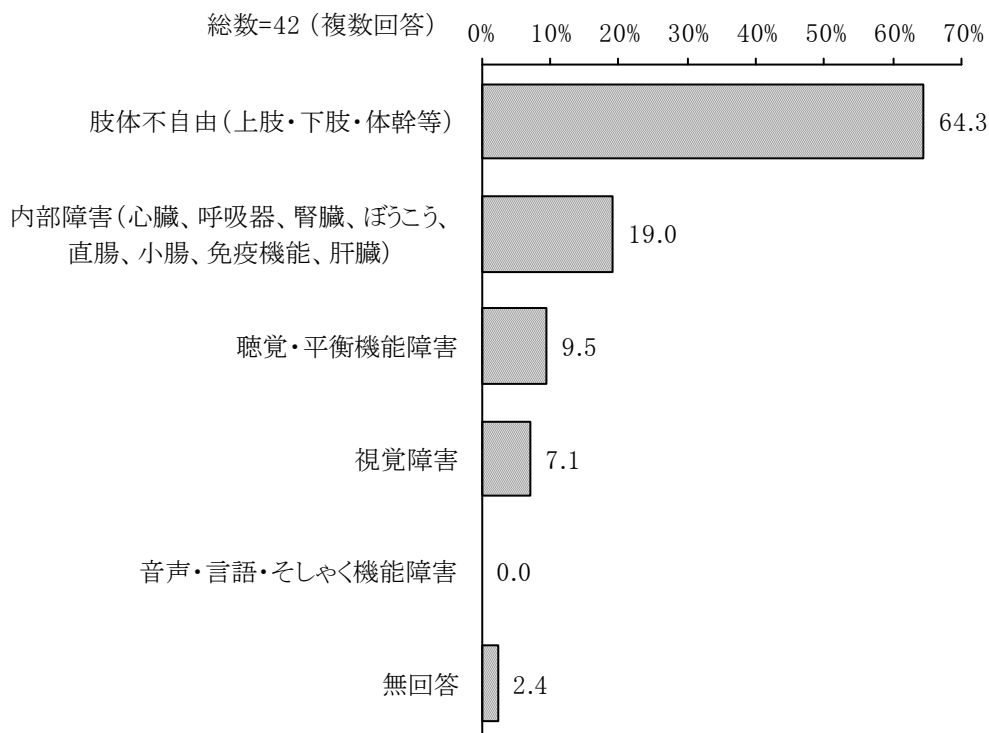
④精神障害者保健福祉手帳の等級

該当者は8人で、「3級」が5人、「2級」が3人となっています。

(2) 身体障害の種類

問7 問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)」が64.3%と最も多く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓)」が19.0%、「聴覚・平衡機能障害」が9.5%、「視覚障害」が7.1%となっています。



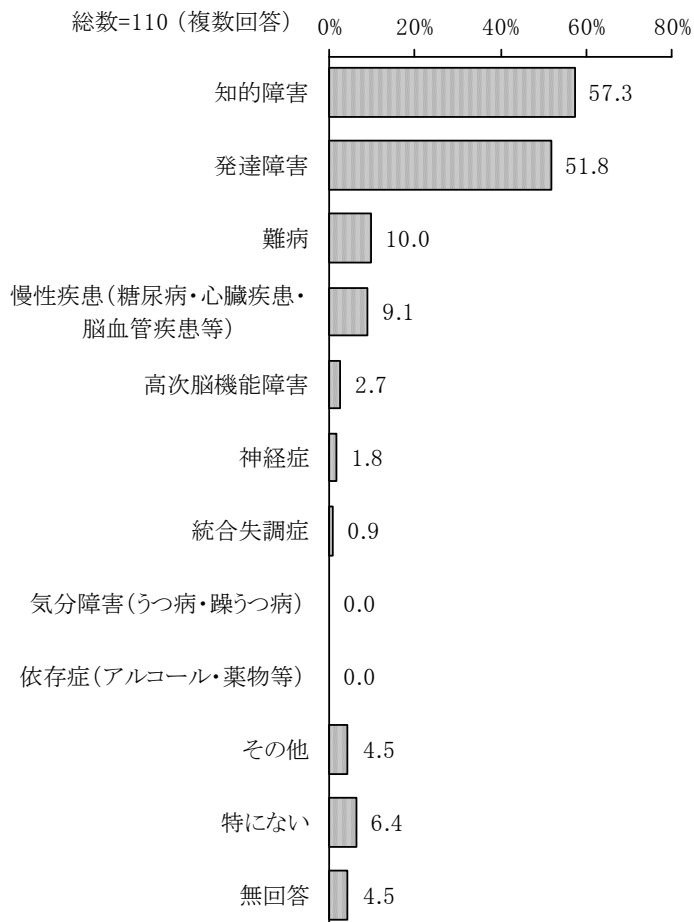
(3) 疾患や障害の有無

問8 あなたは、次の疾患や障害がありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「知的障害」が57.3%と最も多く、次いで「発達障害」が51.8%、「難病」が10.0%、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」が9.1%となっています。

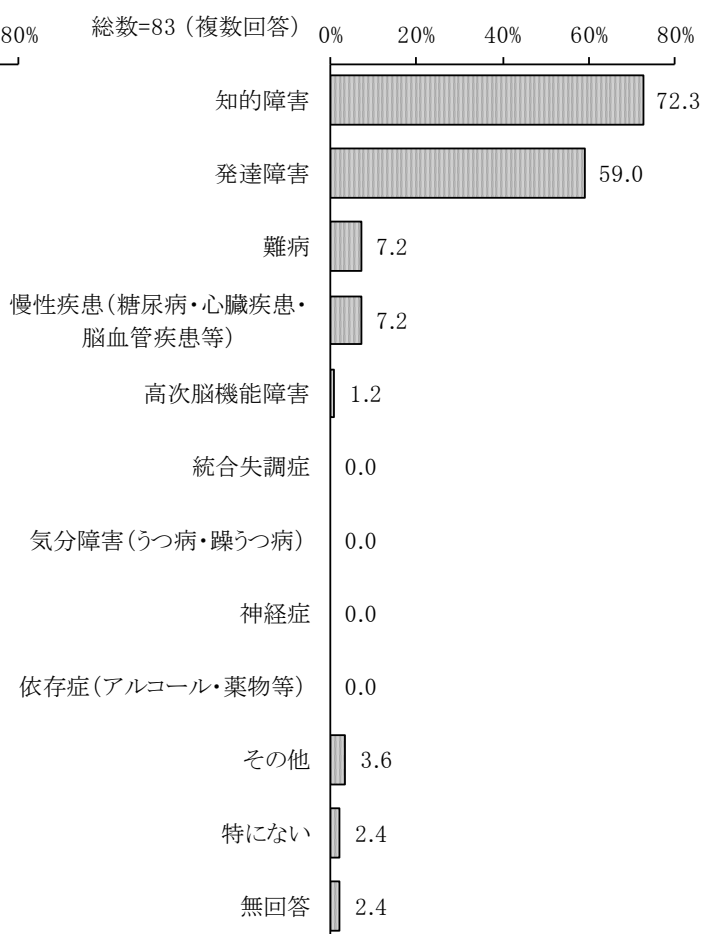
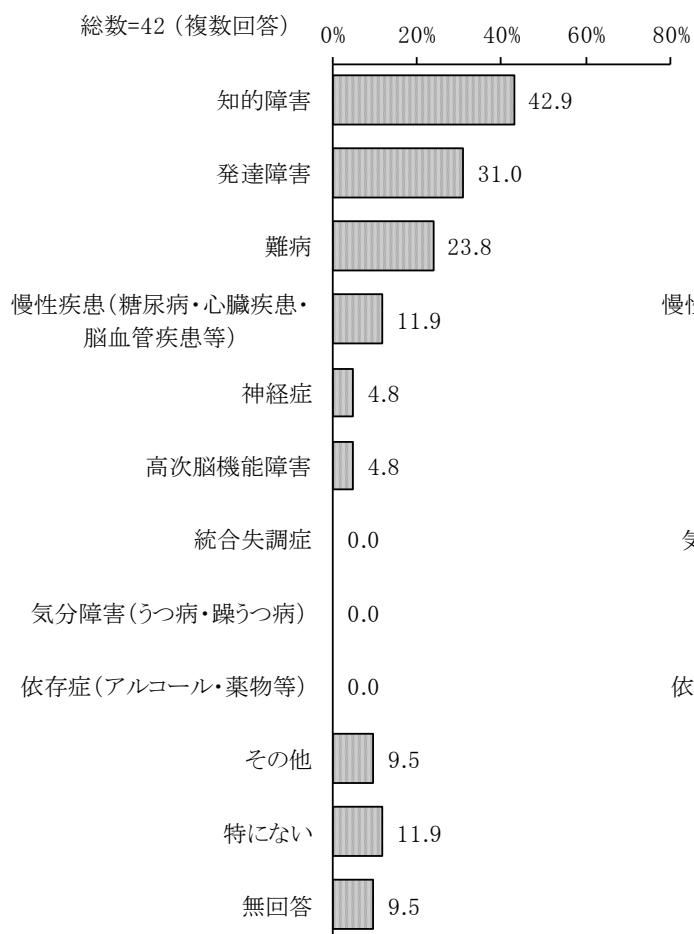
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

全体



身体障害

知的障害



4. 医療や介助の状況について

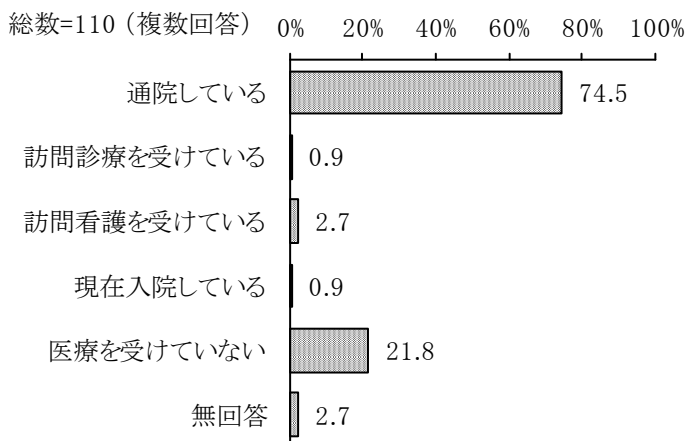
(1) 医療機関の受診状況

問9 現在、あなたはご自身の疾患や障害のために医療（リハビリを含む）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

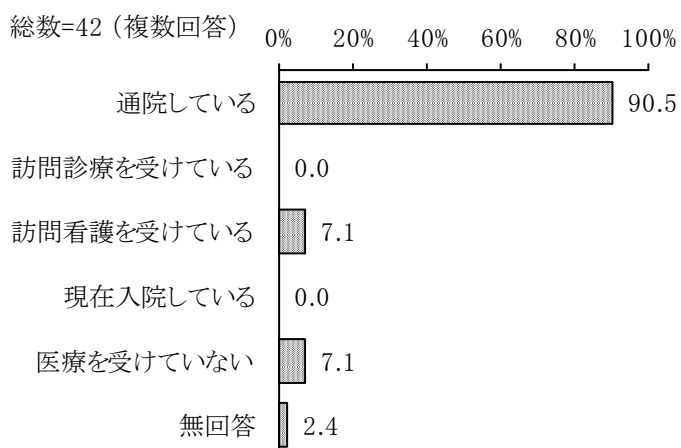
全体では、「通院している」が74.5%と最も多く、次いで「医療を受けていない」が21.8%、「訪問看護を受けている」が2.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「訪問看護を受けている」が多く、「医療を受けていない」が少なくなっています。

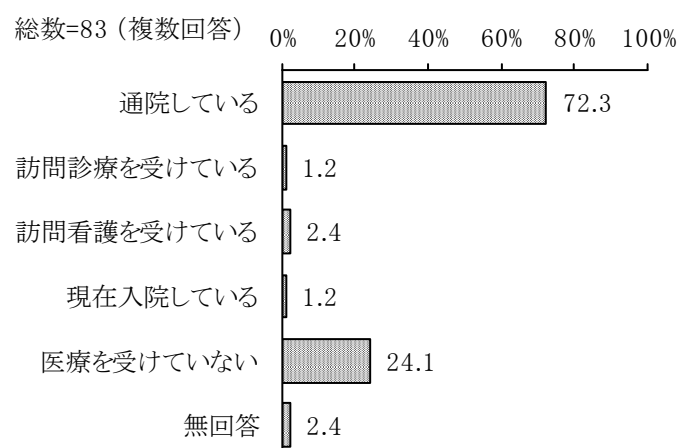
全体



身体障害



知的障害



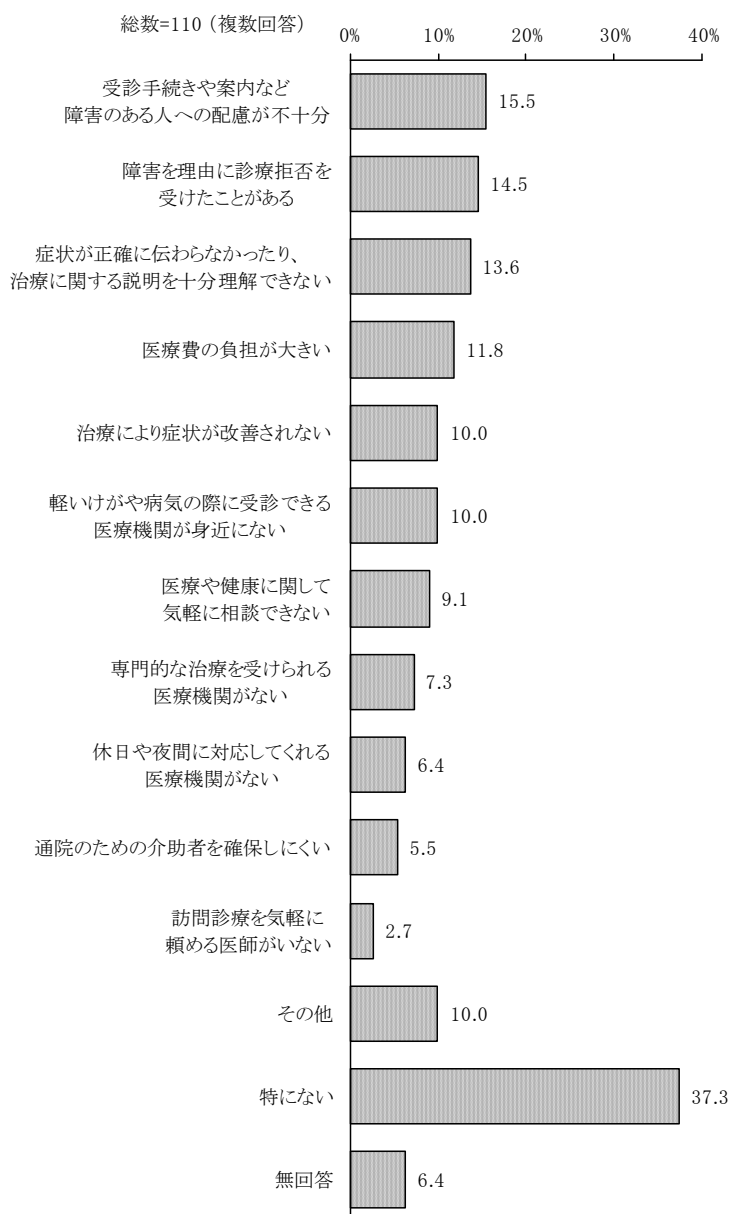
(2) 医療を受ける際に困ること

問 10 あなたが、医療を受ける際に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分」が 15.5%と最も多く、次いで「障害を理由に診療拒否を受けたことがある」が 14.5%、「症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない」が 13.6%、「医療費の負担が大きい」が 11.8%となっています。「特にない」が 37.3%とやや多くなっています。

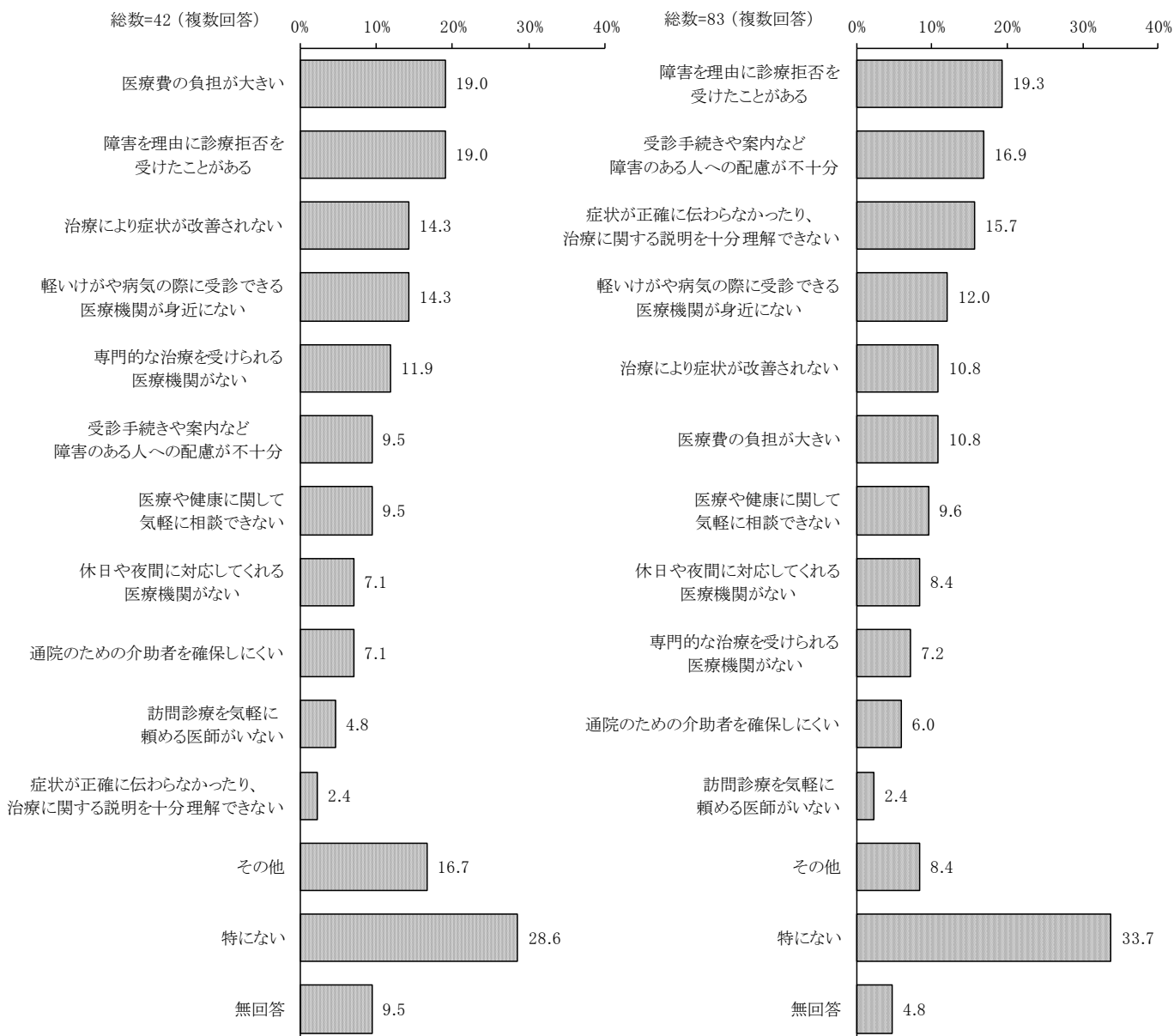
障害別に見ると、身体障害では「医療費の負担が大きい」「障害を理由に診療拒否を受けたことがある」が最も多く、知的障害では「障害を理由に診療拒否を受けたことがある」が最も多くなっています。

全体



身体障害

知的障害



(3) 介助や支援が必要なこと

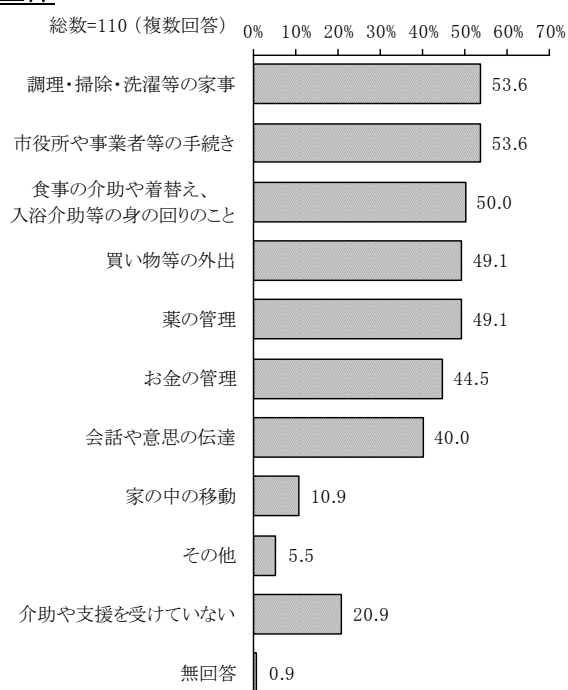
問 11 あなたは日常生活でどのような介助や支援を受けていますか。

(あてはまるものすべてに○)

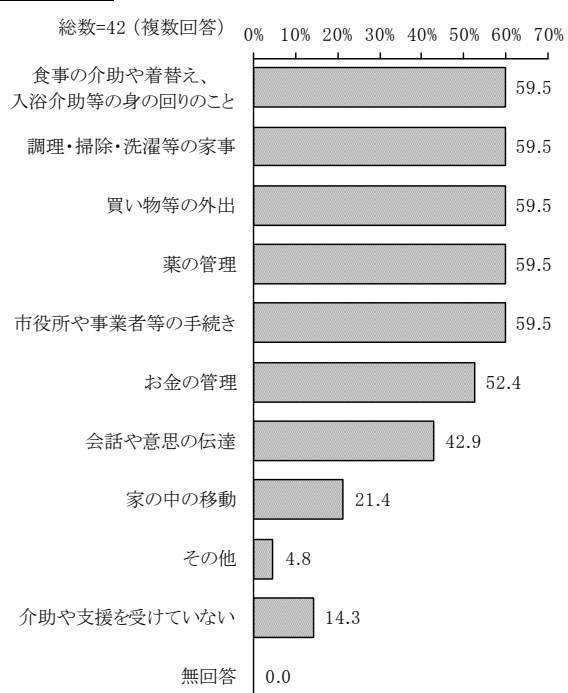
全体では、「調理・掃除・洗濯等の家事」「市役所や事業者等の手続き」がそれぞれ 53.6%と最も多く、次いで「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」が 50.0%、「買い物等の外出」「薬の管理」がそれぞれ 49.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」「調理・掃除・洗濯等の家事」「買い物等の外出」「薬の管理」「市役所や事業者等の手続き」の5項目が最も多くなっています。

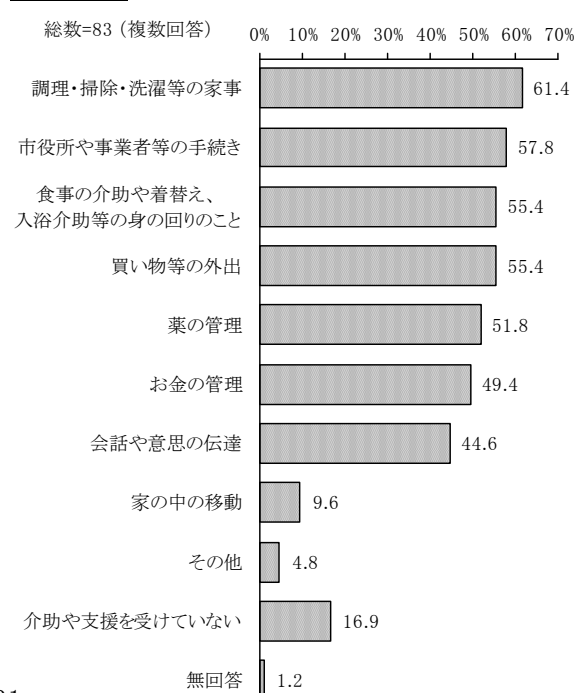
全体



身体障害



知的障害



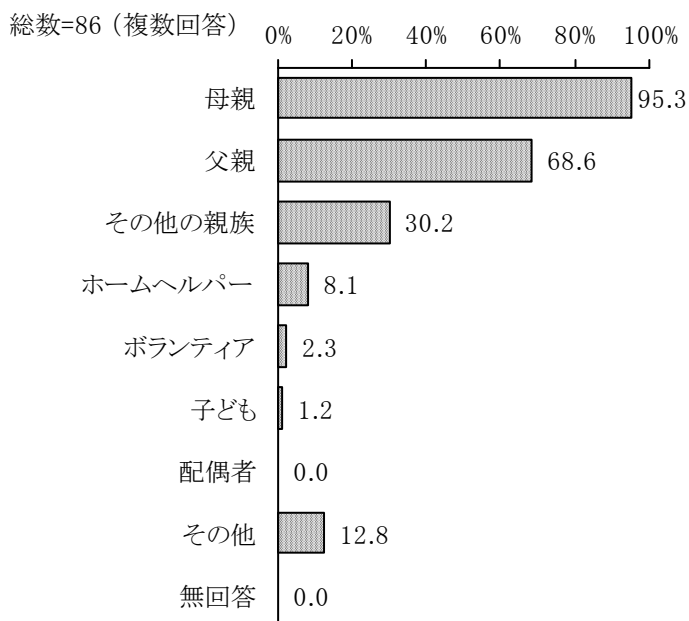
(4) 主な介助者

問12 問11で「介助や支援を受けている(1~9)」と回答した方にお聞きします。あなたを介助や支援している人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

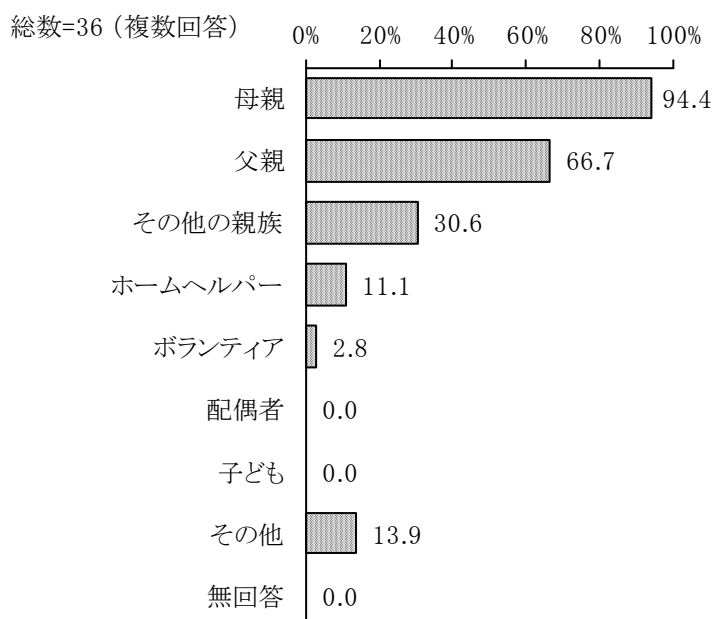
全体では、「母親」が95.3%と最も多く、次いで「父親」が68.6%、「その他の親族」が30.2%、「ホームヘルパー」が8.1%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

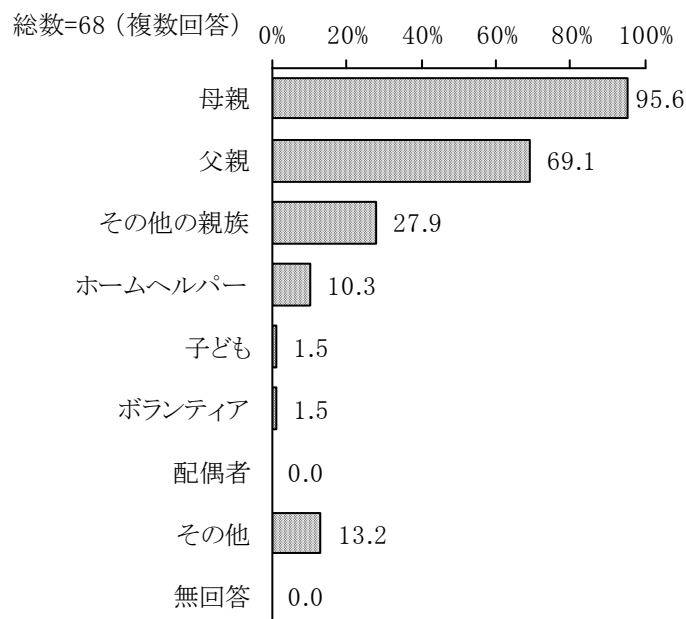
全体



身体障害



知的障害



(5) 主な介助者が介助できなくなった場合の希望

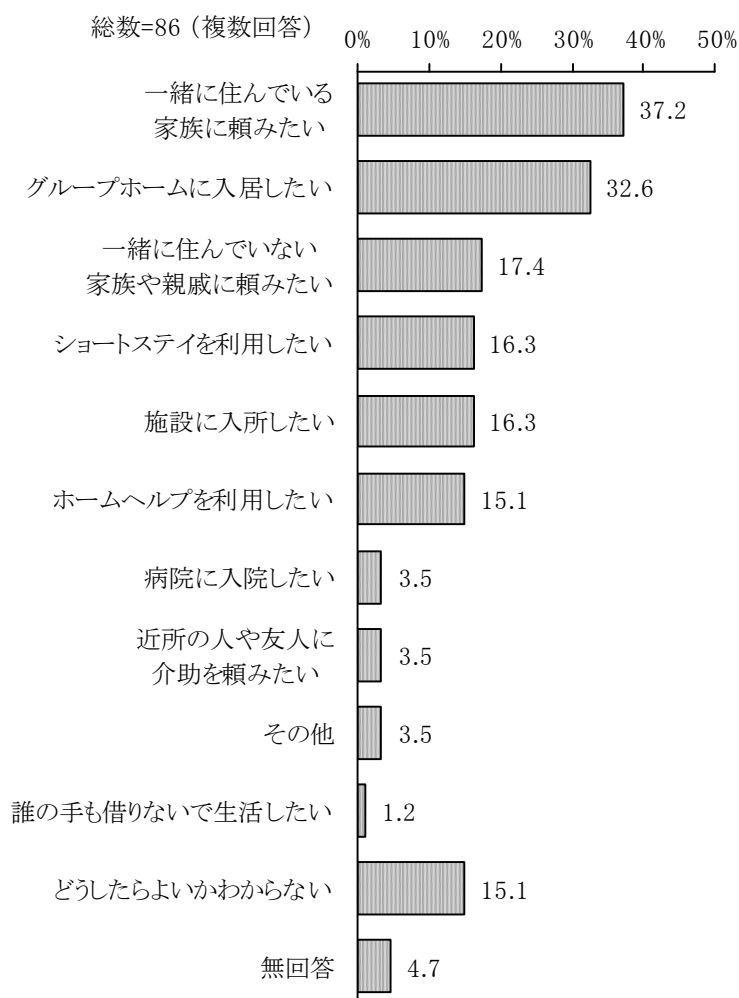
問 13 問 11 で「介助や支援を受けている(1~9)」と回答した方にお聞きします。介助者があなたを介助や支援できなくなった場合は、あなたはどうしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が37.2%と最も多く、次いで「グループホームに入居したい」が32.6%、「一緒に住んでいない家族や親戚に頼みたい」が17.4%、「ショートステイを利用したい」「施設に入所したい」がそれぞれ16.3%となっています。

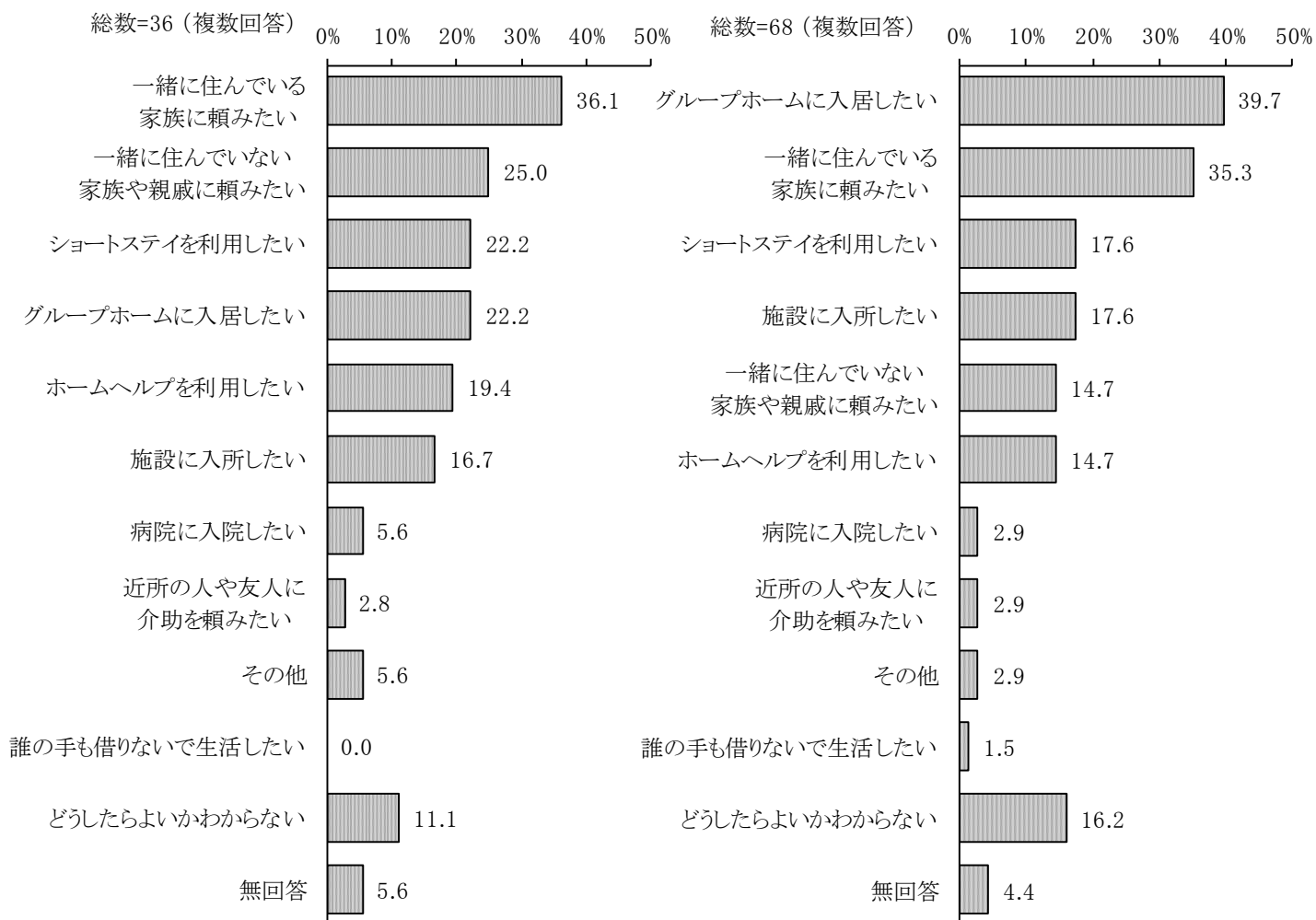
障害別に見ると、知的障害では「グループホームに入居したい」が最も多くなっています。

全体



身体障害

知的障害



5. 相談や福祉情報について

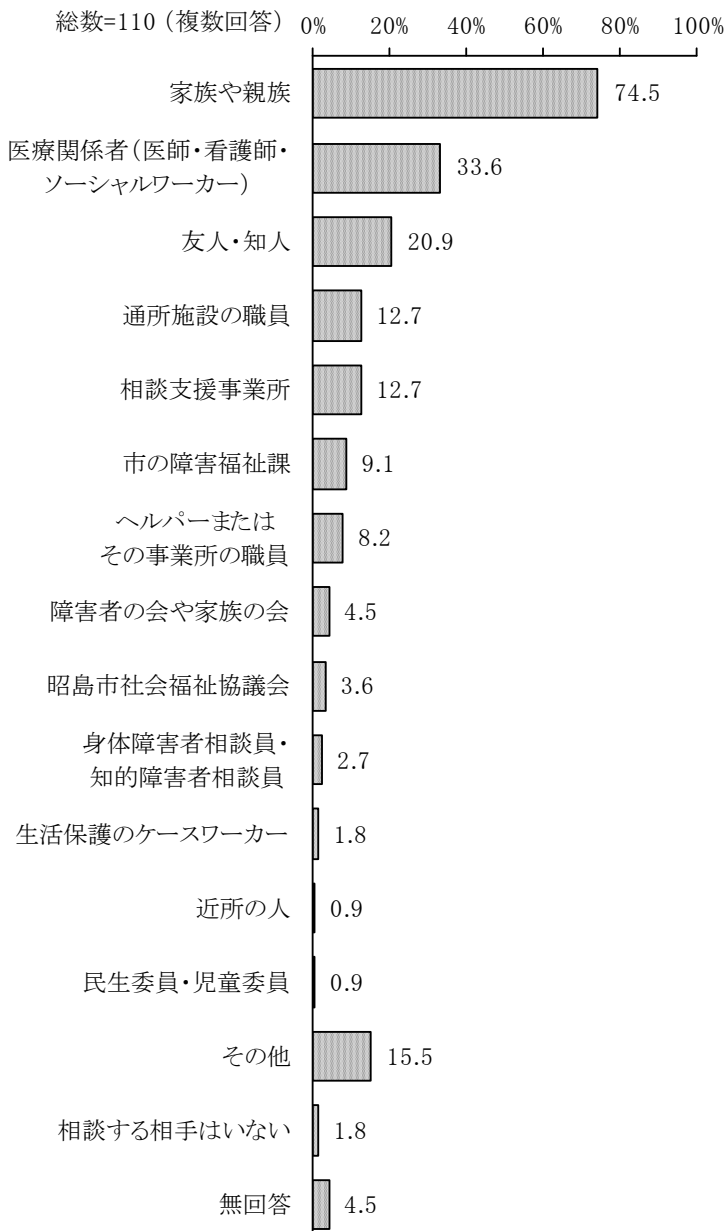
(1) 困ったときに相談できる人や場所

問 14 あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について相談している人や場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

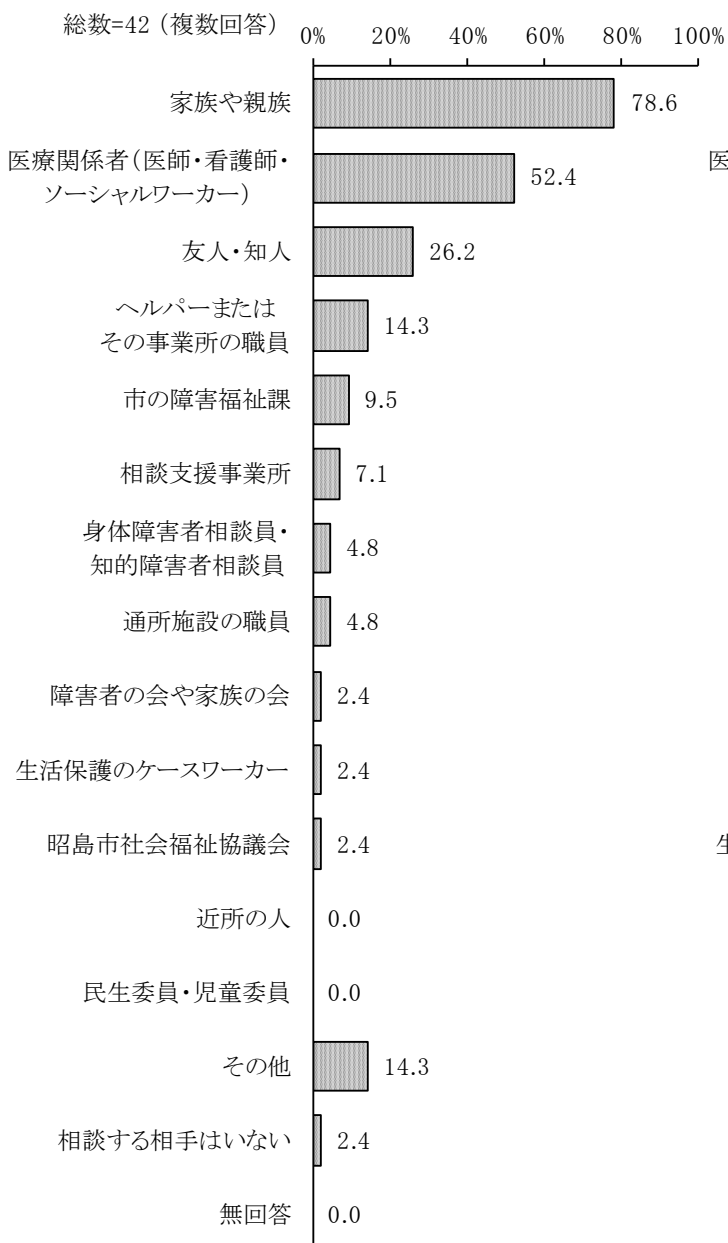
全体では、「家族や親族」が74.5%と最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が33.6%、「友人・知人」が20.9%、「通所施設の職員」「相談支援事業所」がそれぞれ12.7%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

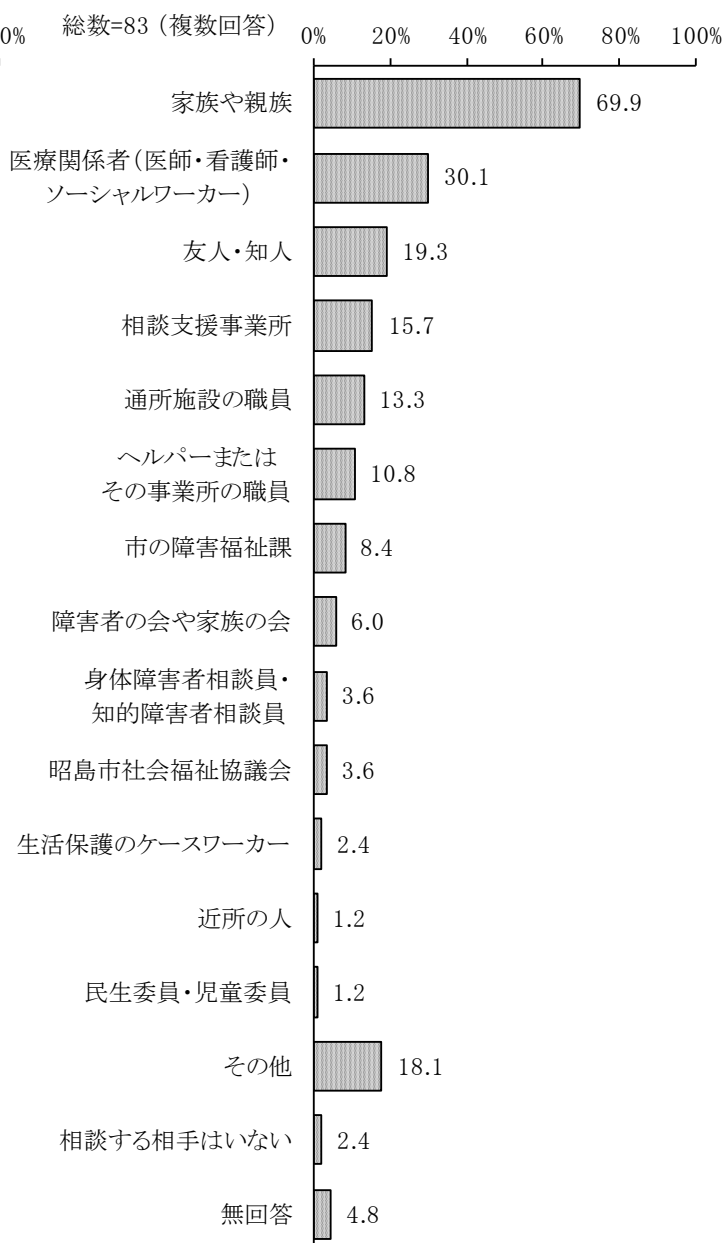
全体



身体障害



知的障害



(2) 相談場所等の認知状況

問 15 あなたは、次の相談場所等を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

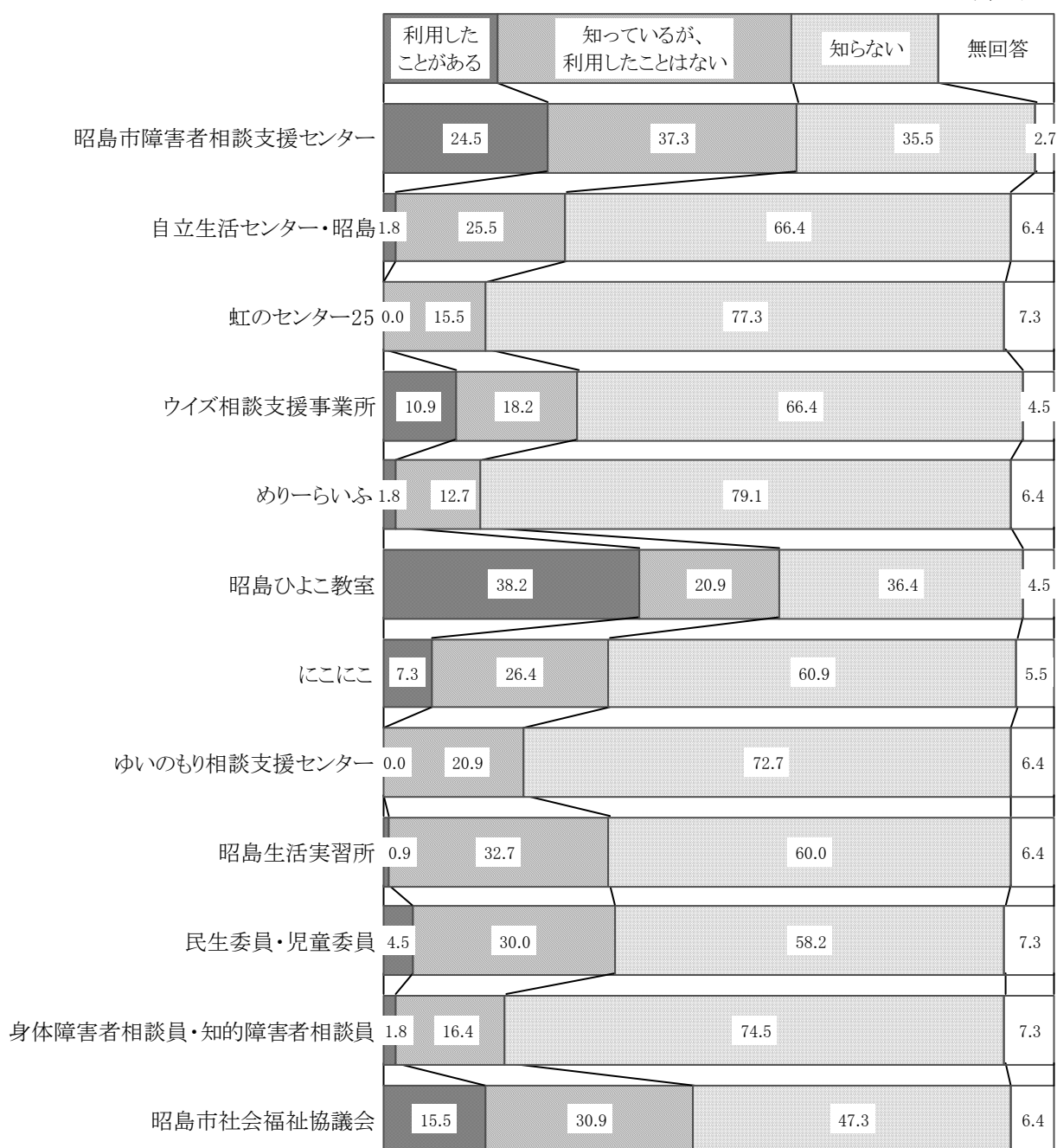
市内の相談支援機関等のうち、8つの機関等で「知らない」が6割以上を占めています。

『知っている』(「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合)は、「昭島市障害者相談支援センター」が61.8%と最も多く、次いで「昭島ひよこ教室」が59.1%、「昭島市社会福祉協議会」が46.4%、「民生委員・児童委員」が34.5%となっています。

「利用したことがある」は、「昭島ひよこ教室」が38.2%と最も多く、次いで「昭島市障害者相談支援センター」が24.5%、「昭島市社会福祉協議会」が15.5%、「ウイズ相談支援事業所」が10.9%となっています。

総数=110

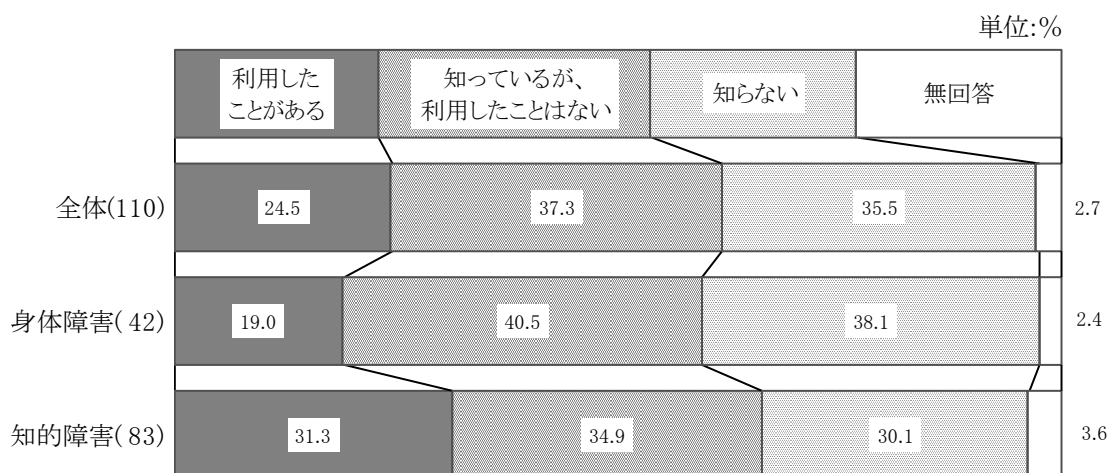
単位:%



①昭島市障害者相談支援センター

全体では、「利用したことがある」が24.5%、「知っているが、利用したことはない」が37.3%、「知らない」が35.5%となっています。

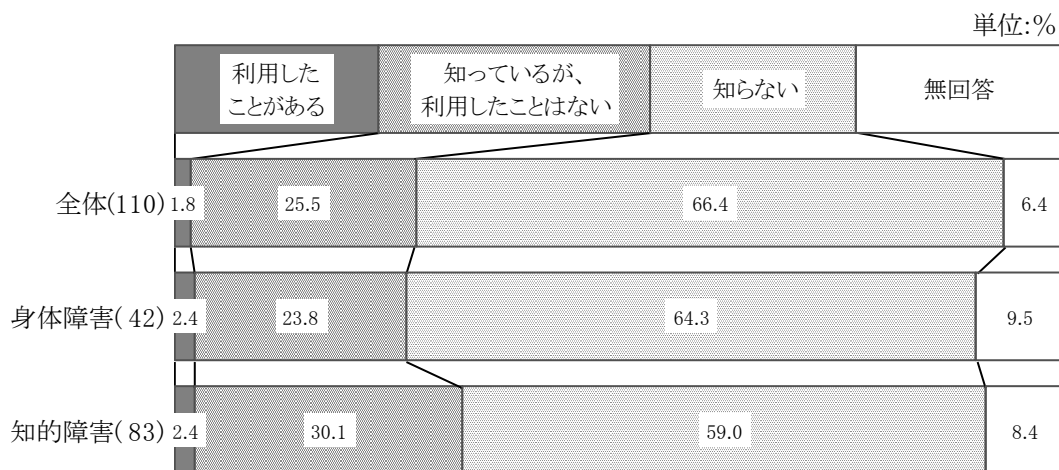
障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「利用したことがある」が多くなっています。



②自立生活センター・昭島

全体では、「利用したことがある」が1.8%、「知っているが、利用したことはない」が25.5%、「知らない」が66.4%となっています。

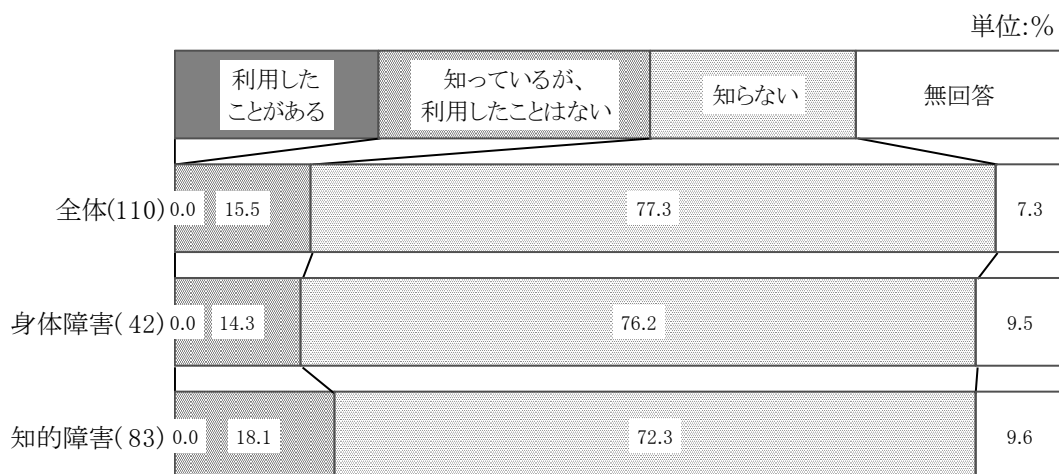
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



③虹のセンター25

全体では、「知っているが、利用したことはない」が15.5%、「知らない」が77.3%となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

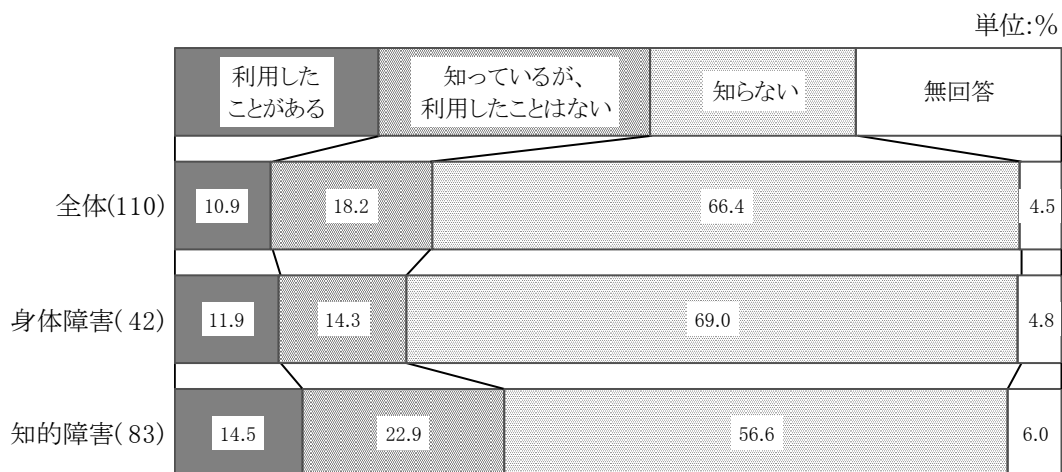
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



④ウイズ相談支援事業所

全体では、「利用したことがある」が10.9%、「知っているが、利用したことはない」が18.2%、「知らない」が66.4%となっています。

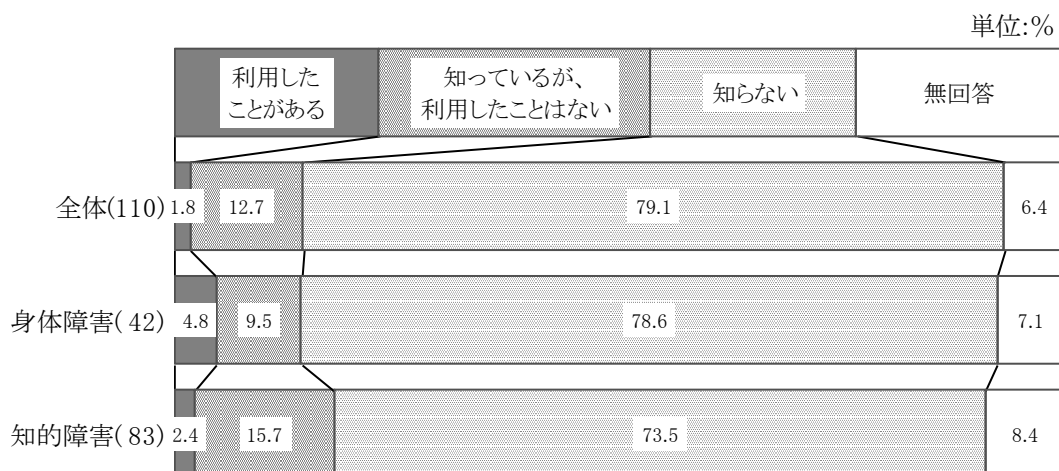
障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「知っているが、利用したことはない」が多くなっています。



⑤めりーらいふ

全体では、「利用したことがある」が1.8%、「知っているが、利用したことはない」が12.7%、「知らない」が79.1%となっています。

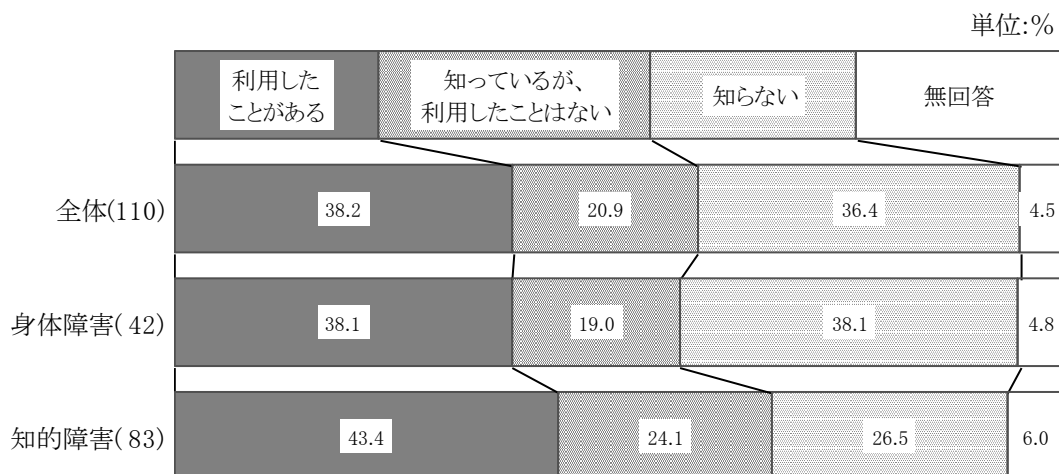
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑥昭島ひよこ教室

全体では、「利用したことがある」が38.2%、「知っているが、利用したことはない」が20.9%、「知らない」が36.4%となっています。

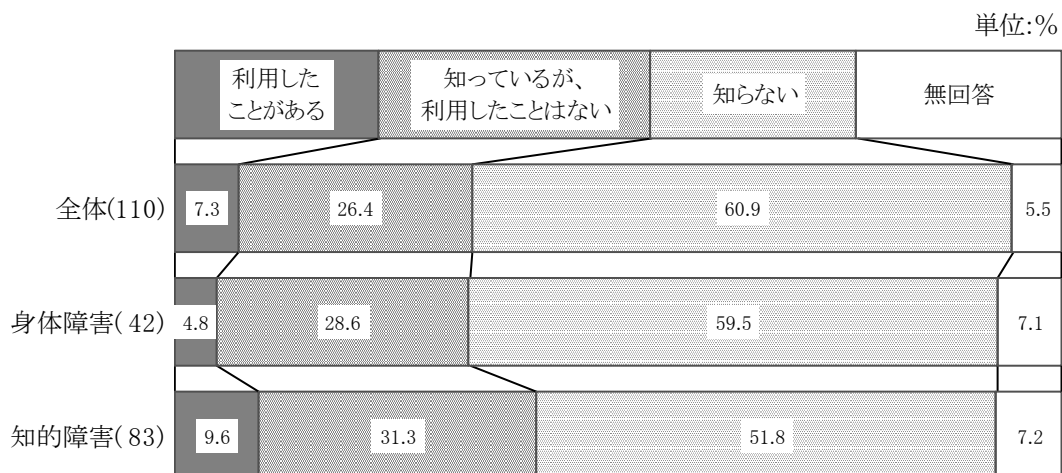
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑦にここ

全体では、「利用したことがある」が7.3%、「知っているが、利用したことはない」が26.4%、「知らない」が60.9%となっています。

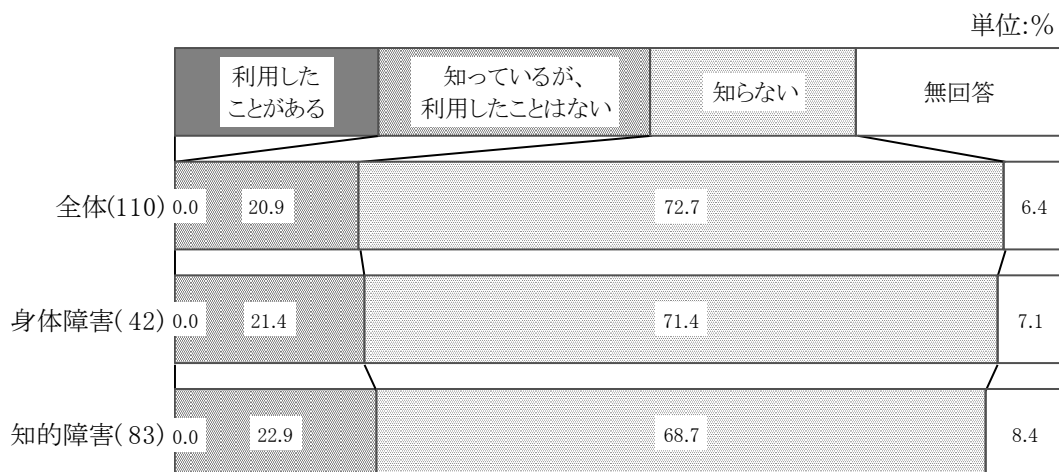
障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「利用したことがある」が多くなっています。



⑧ゆいのもり相談支援センター

全体では、「知っているが、利用したことはない」が20.9%、「知らない」が72.7%となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

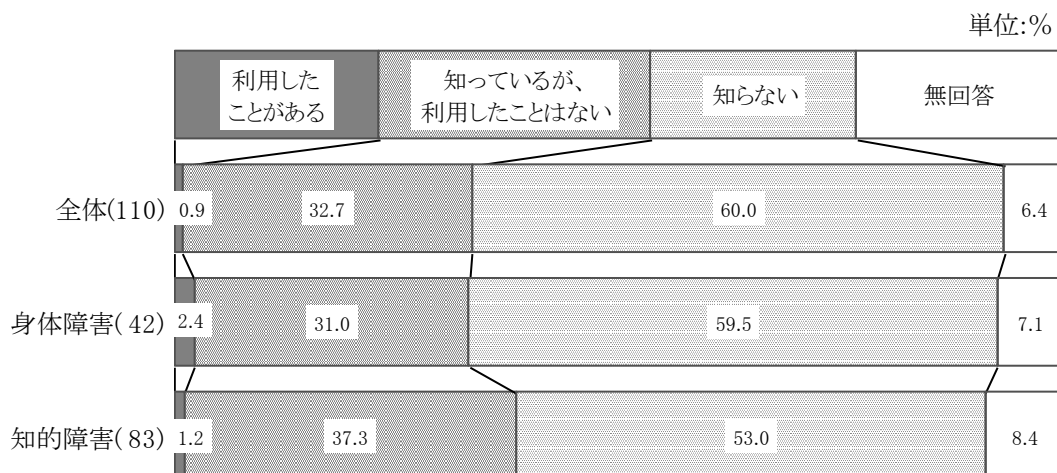
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑨昭島生活実習所

全体では、「利用したことがある」が0.9%、「知っているが、利用したことはない」が32.7%、「知らない」が60.0%となっています。

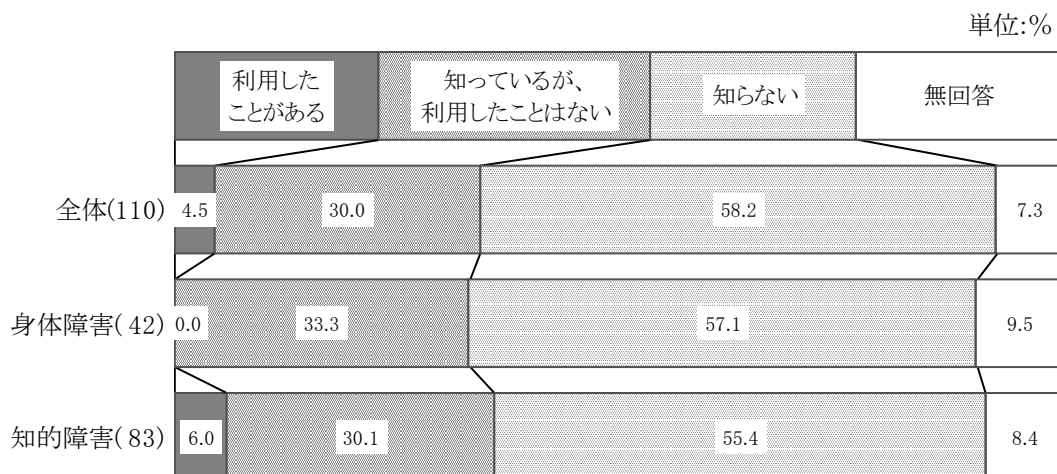
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑩民生委員・児童委員

全体では、「利用したことがある」が4.5%、「知っているが、利用したことはない」が30.0%、「知らない」が58.2%となっています。

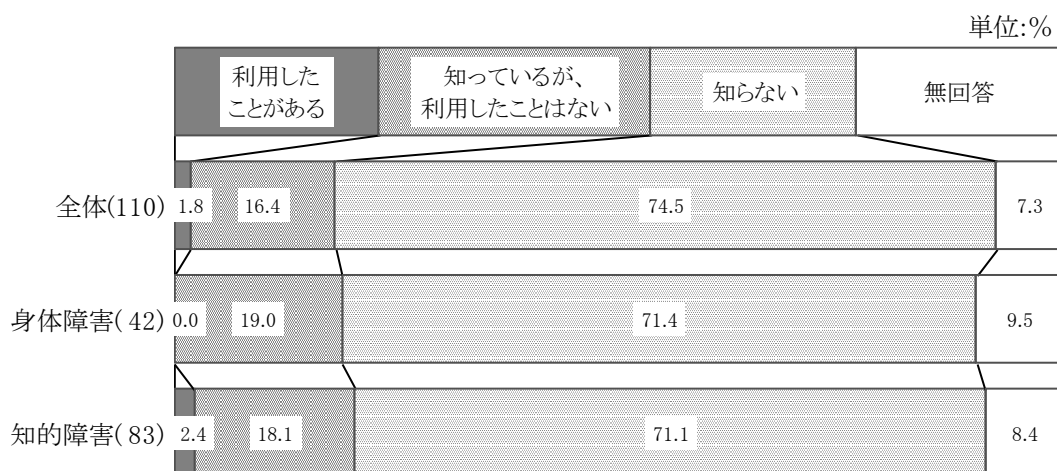
障害別に見ると、身体障害では「利用したことがある」という回答はありませんでした。



⑪身体障害者相談員・知的障害者相談員

全体では、「利用したことがある」が1.8%、「知っているが、利用したことはない」が16.4%、「知らない」が74.5%となっています。

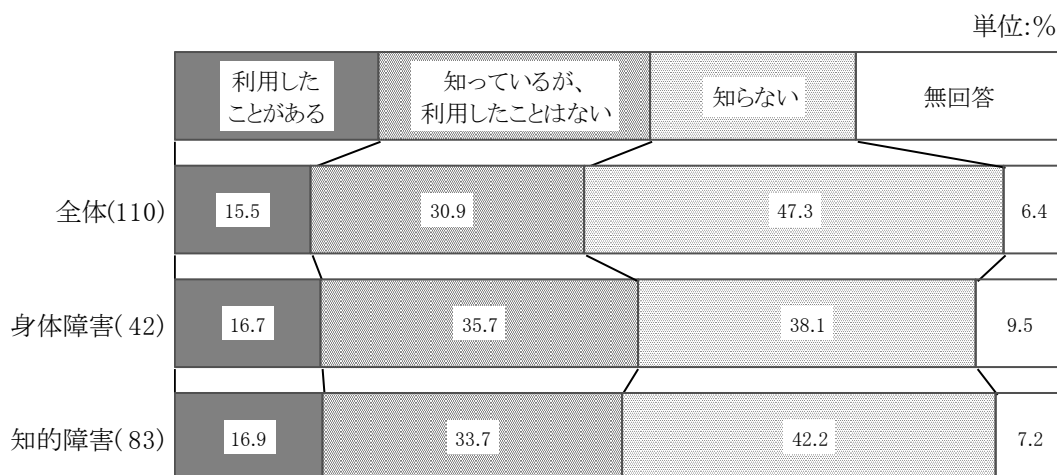
障害別に見ると、身体障害では「利用したことがある」という回答はありませんでした。



⑫昭島市社会福祉協議会

全体では、「利用したことがある」が15.5%、「知っているが、利用したことはない」が30.9%、「知らない」が47.3%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



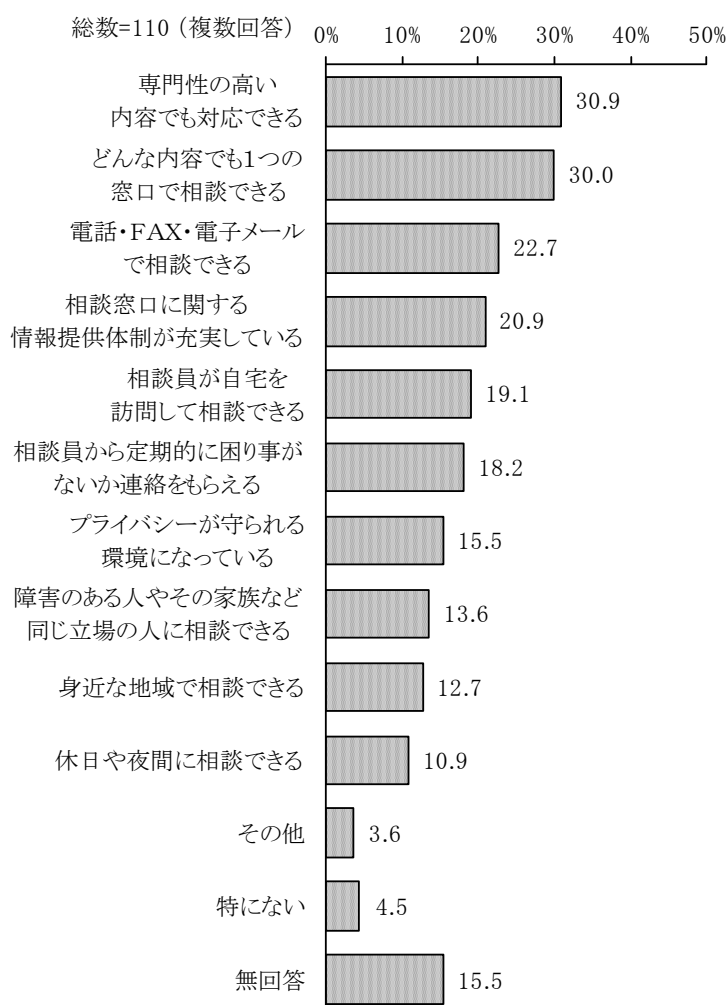
(3) 気軽に相談するために必要なこと

問 16 あなたは、市役所等の公的な相談窓口気軽に相談するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「専門性の高い内容でも対応できる」が30.9%と最も多く、次いで「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が30.0%、「電話・FAX・電子メールで相談できる」が22.7%、「相談窓口に関する情報提供体制が充実している」が20.9%となっています。

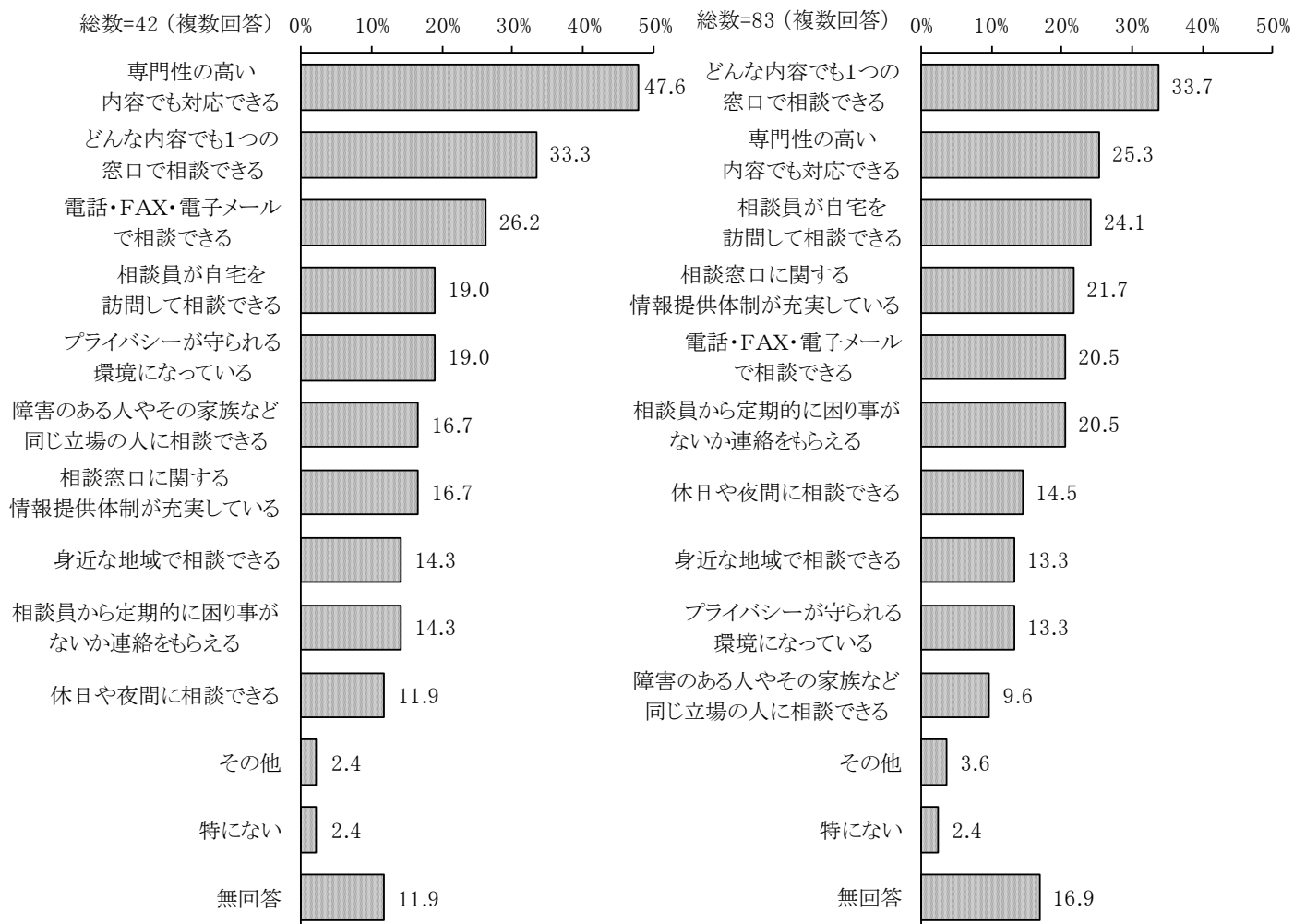
障害別に見ると、知的障害では「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が最も多くなっています。

全体



身体障害

知的障害



(4) 福祉に関する情報の入手方法

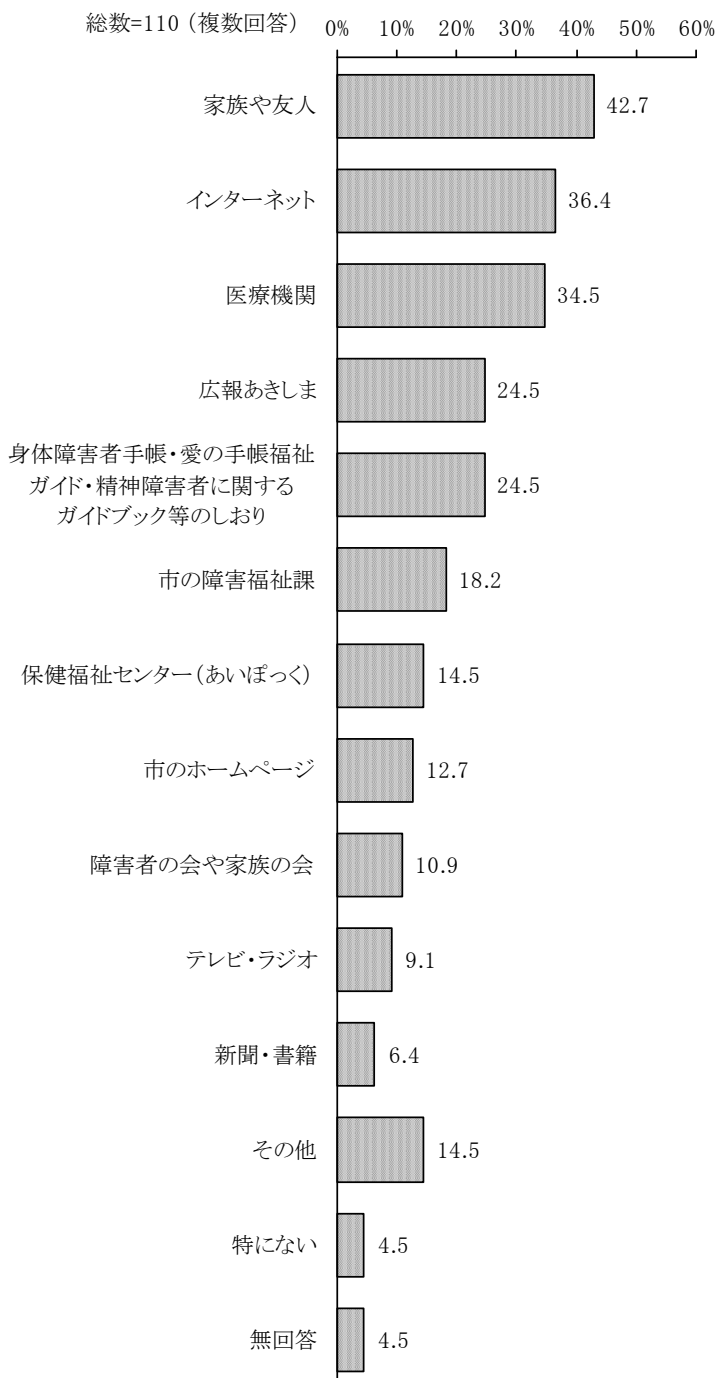
問 17 あなたは、障害のある人のための福祉に関する情報をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

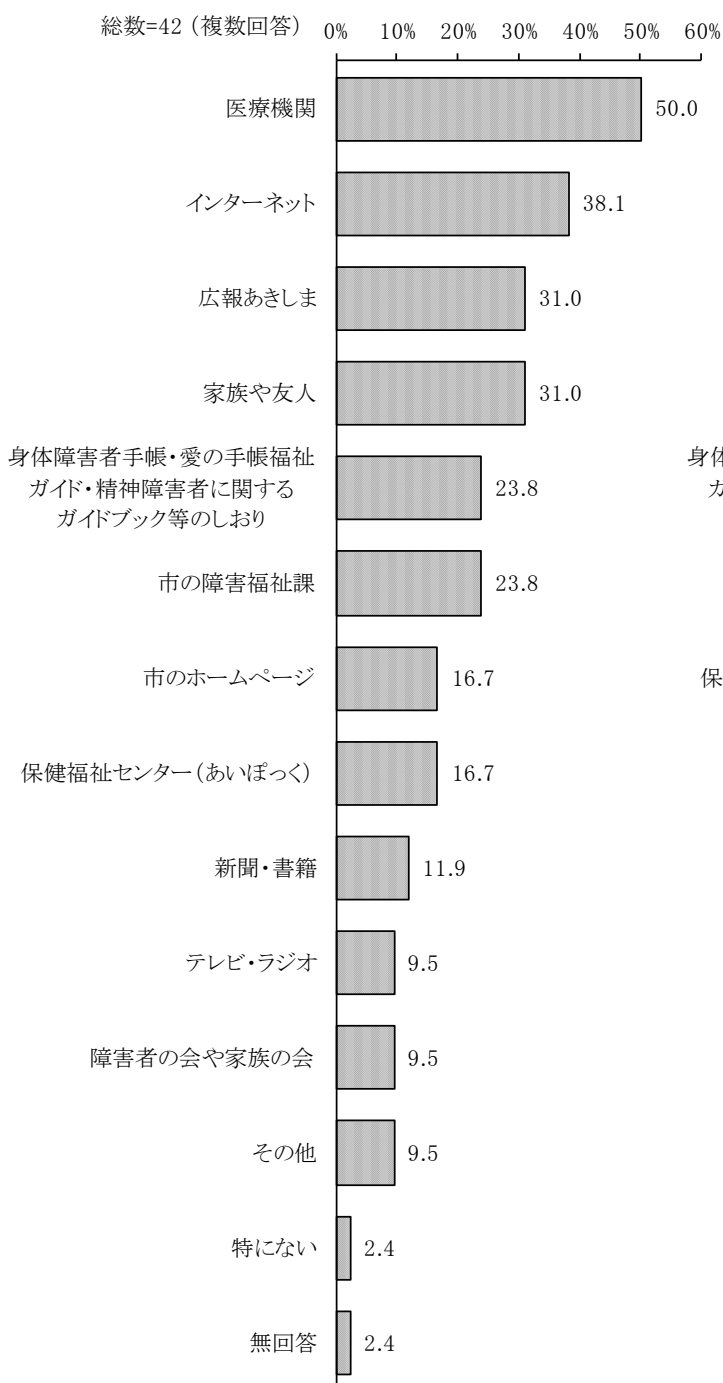
全体では、「家族や友人」が42.7%と最も多く、次いで「インターネット」が36.4%、「医療機関」が34.5%、「広報あきしま」「身体障害者手帳・愛の手帳福祉ガイド・精神障害者に関するガイドブック等のしおり」がそれぞれ24.5%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「医療機関」が最も多くなっています。

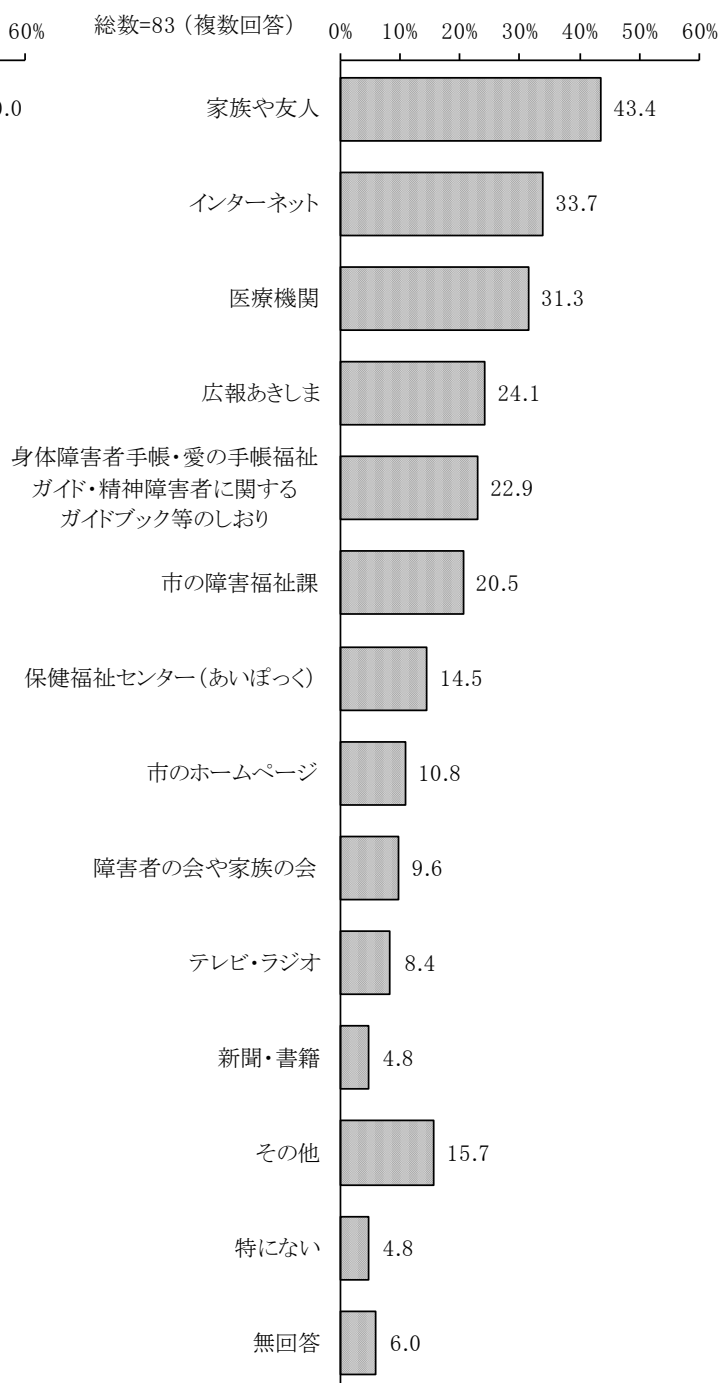
全体



身体障害



知的障害



6. 日中活動や仕事について

(1) 働くために必要な支援

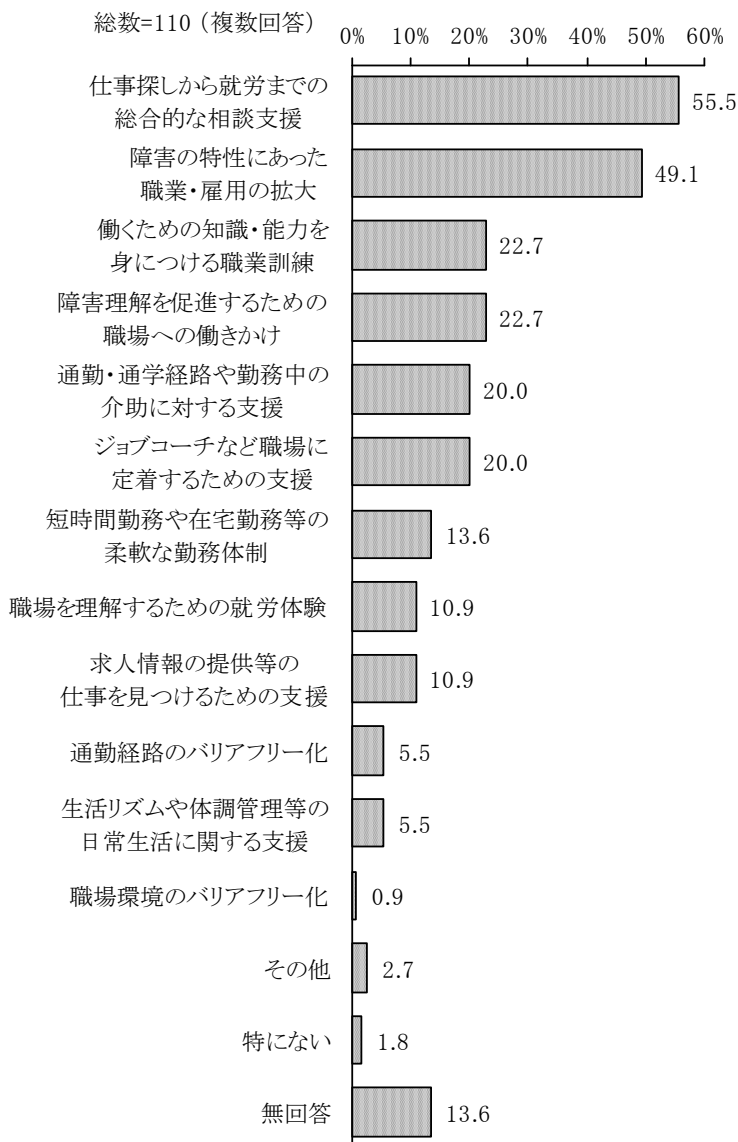
問 21 あなたは、障害のある人が働くためにはどのような支援が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

全体では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が55.5%と最も多く、次いで「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が49.1%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」「障害理解を促進するための職場への働きかけ」がそれぞれ22.7%となっています。

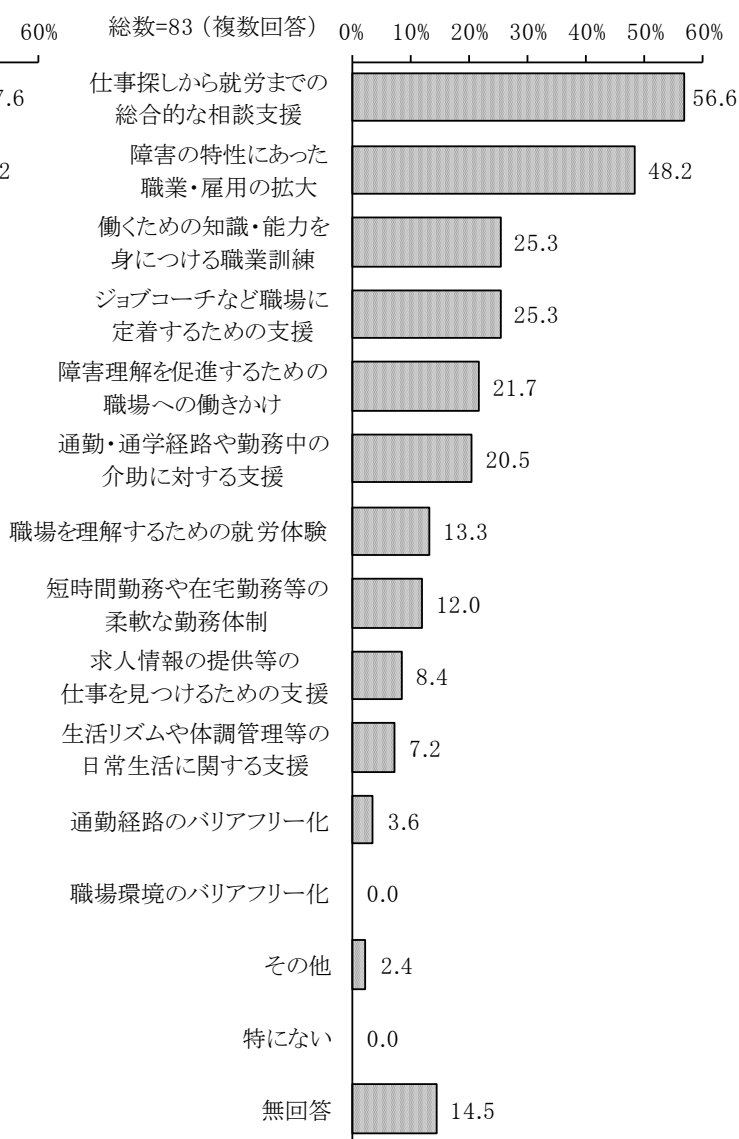
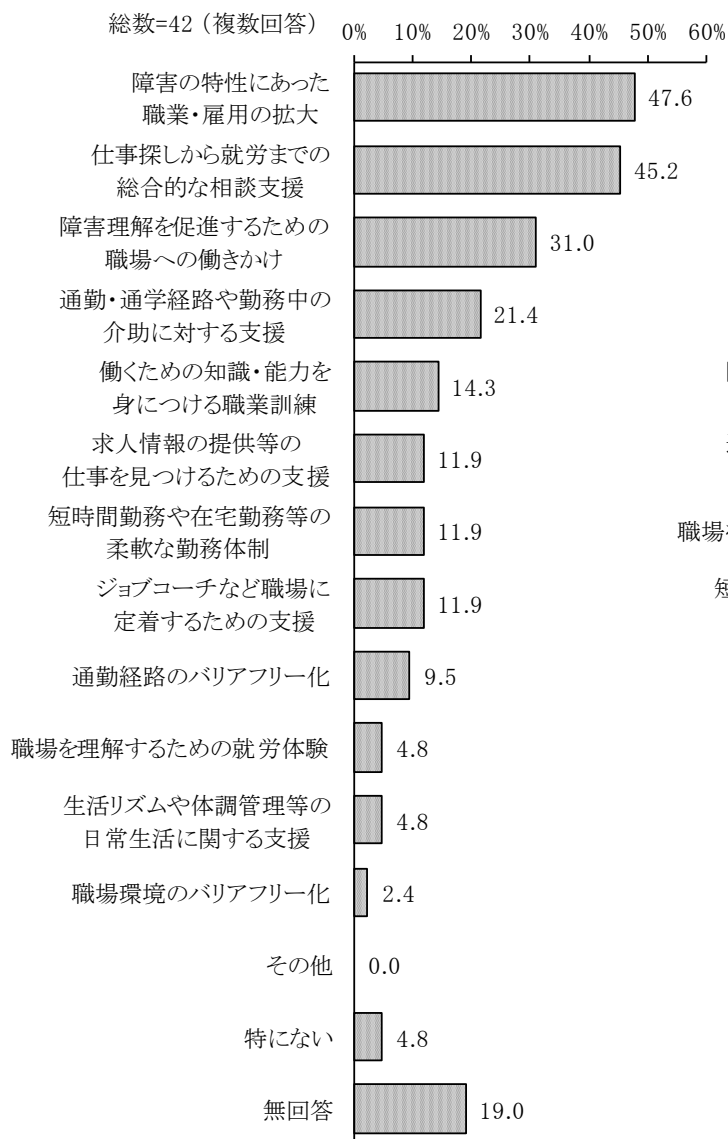
障害別に見ると、身体障害では「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が最も多く、知的障害と比べて「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が多くなっています。

全体



身体障害

知的障害



(2) 余暇の過ごし方

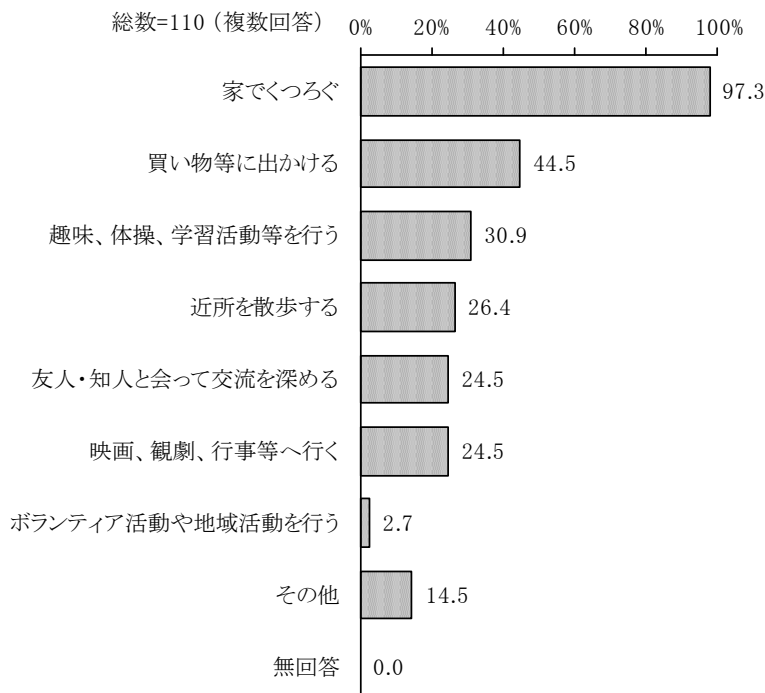
問 22 あなたは仕事や学校以外の自由な時間をどのように過ごしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

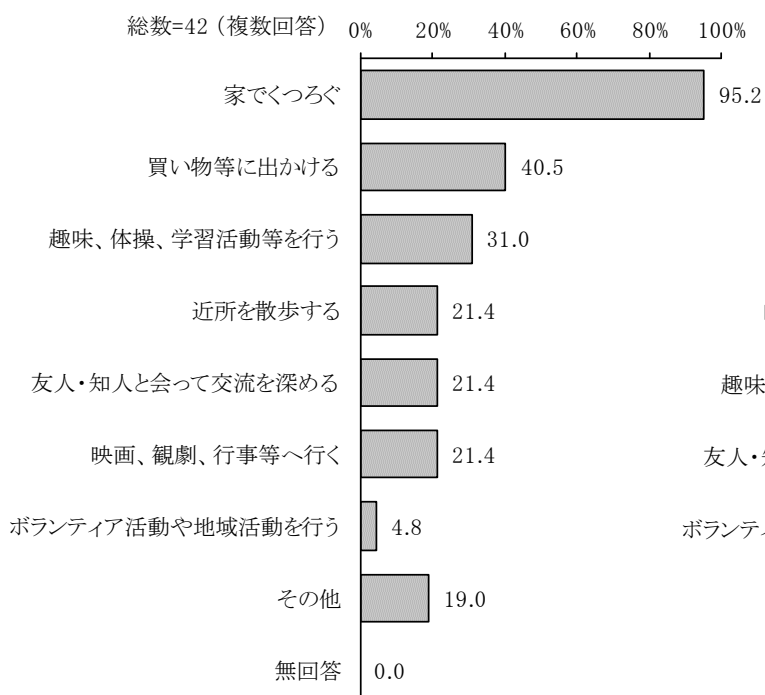
全体では、「家でくつろぐ」が97.3%と最も多く、次いで「買い物等に出かける」が44.5%、「趣味、体操、学習活動等を行う」が30.9%、「近所を散歩する」が26.4%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

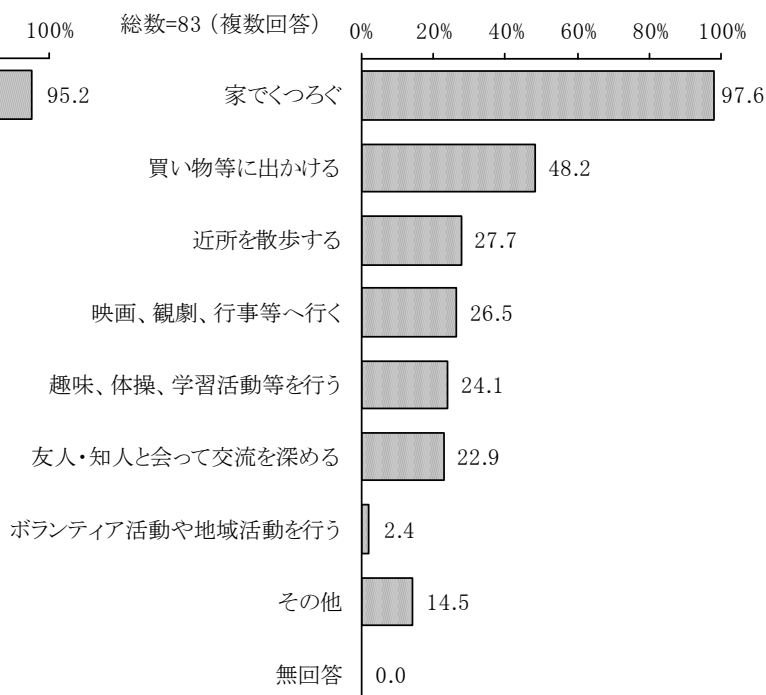
全体



身体障害



知的障害



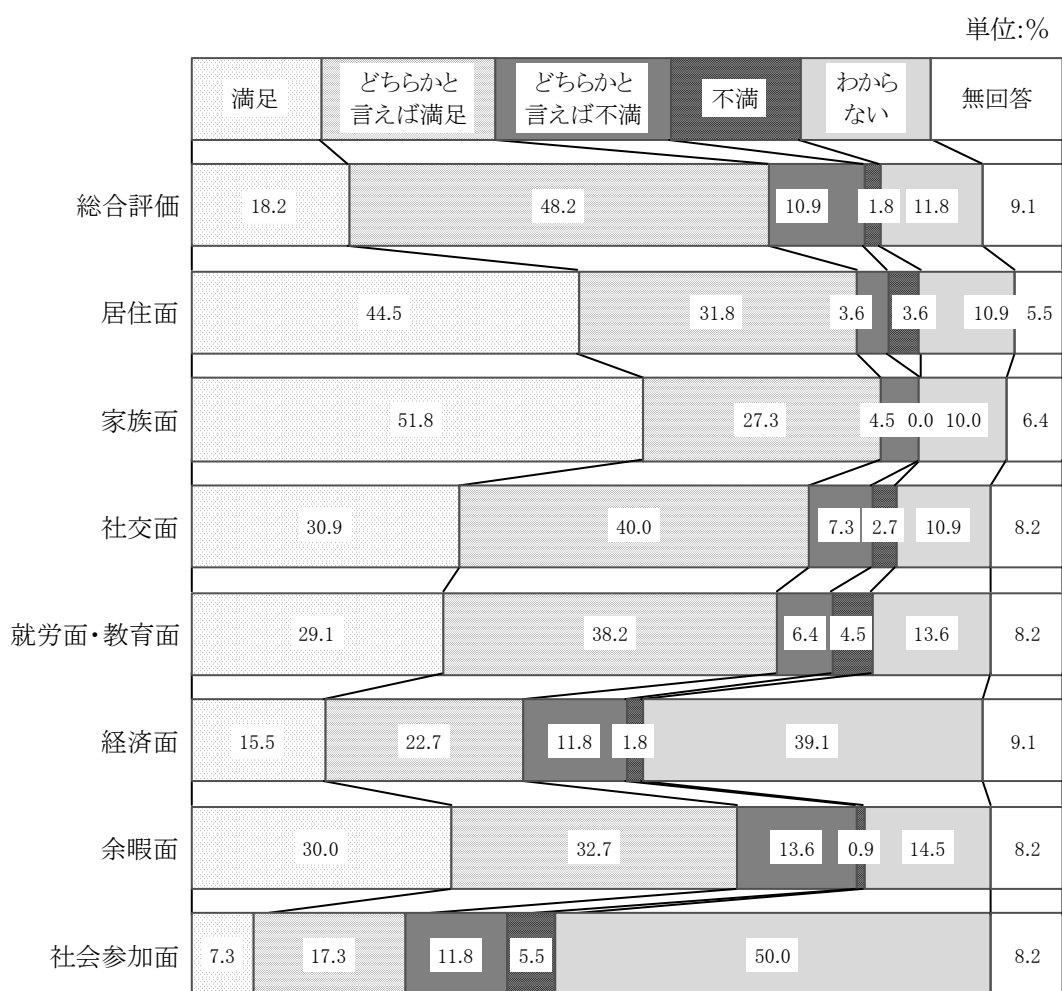
(3) 日常生活の満足度

問 23 あなたは、次の日常生活のそれぞれの項目について、どの程度満足していますか。
(それぞれあてはまるもの1つに〇)

『満足』（「満足」「どちらかと言えば満足」を合わせた割合）と『不満』（「不満」「どちらかと言えば不満」を合わせた割合）を比較すると、総合評価を含めた全8項目で『満足』が『不満』を上回っており、うち5項目は50ポイント以上の差となっています。「社会参加面」では両者の差はやや少なくなっています。総合評価では『満足』が66.4%、『不満』が12.7%となっています

『満足』は「家族面」が79.1%と最も多く、次いで「居住面」が76.4%、「社交面」が70.9%、「就労面・教育面」が67.3%となっています（実数から再計算しているため、四捨五入の関係で、「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計とは数値が若干異なっている場合があります）。

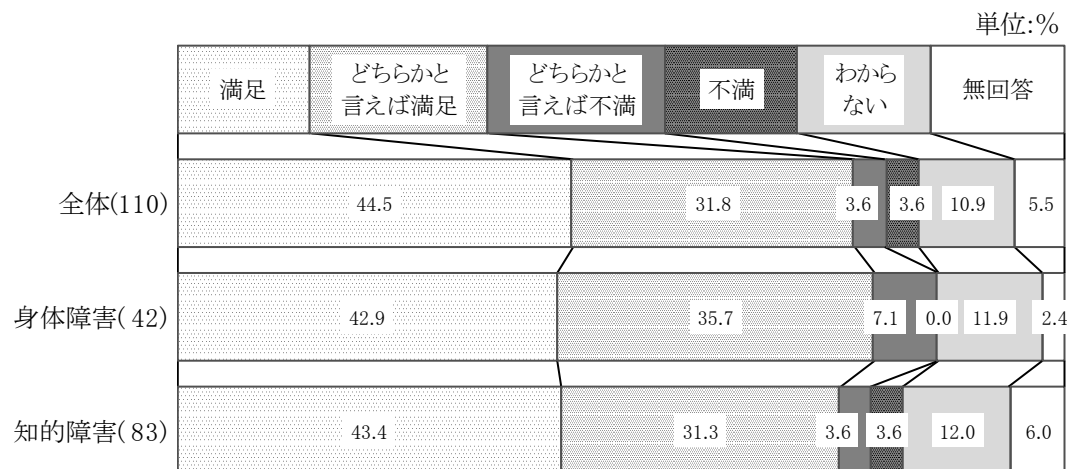
『不満』は「社会参加面」が17.3%と最も多く、次いで「余暇面」が14.5%、「経済面」が13.6%、「就労面・教育面」が10.9%となっています（「総合評価」は除きます）。



①居住面（住んでいる家や自室について）

全体では、「満足」が44.5%と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足」が31.8%、「どちらかと言えば不満」「不満」がそれぞれ3.6%となっています。

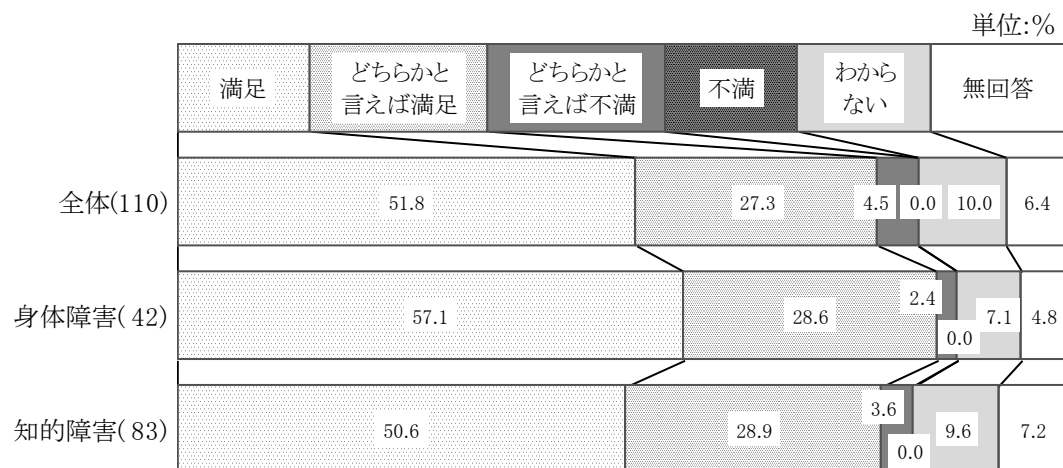
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



②家族面（家族との関係について）

全体では、「満足」が51.8%と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足」が27.3%、「どちらかと言えば不満」が4.5%となっています。「不満」という回答はありませんでした。

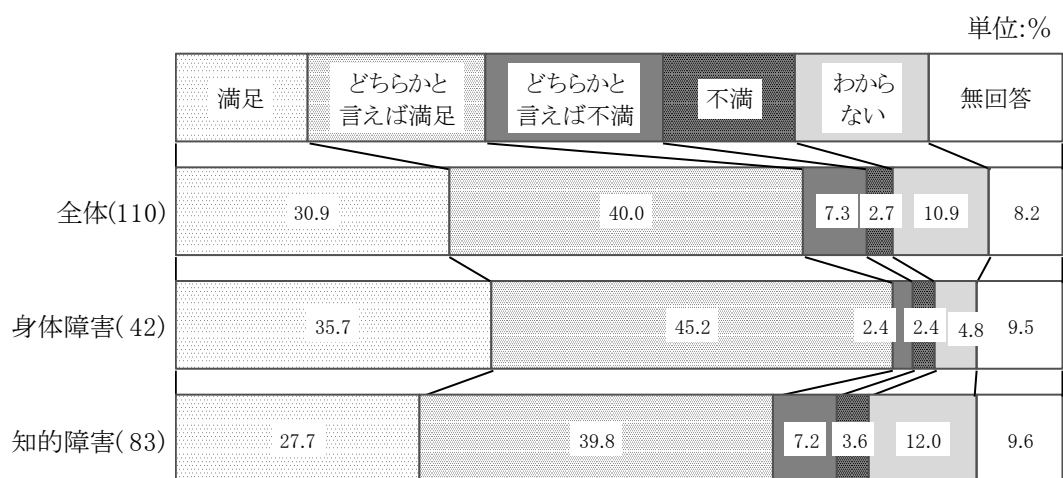
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



③ 社交面（友人等との関係について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が40.0%と最も多く、次いで「満足」が30.9%、「どちらかと言えば不満」が7.3%、「不満」が2.7%となっています。

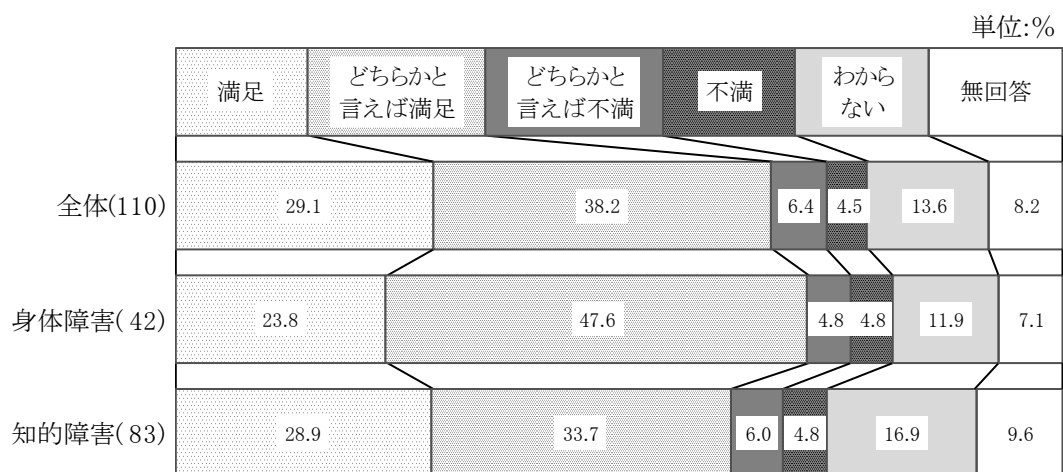
障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「満足」「どちらかと言えば満足」が多くなっています。



④ 就労面・教育面（仕事や学校生活について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が38.2%と最も多く、次いで「満足」が29.1%、「どちらかと言えば不満」が6.4%、「不満」が4.5%となっています。

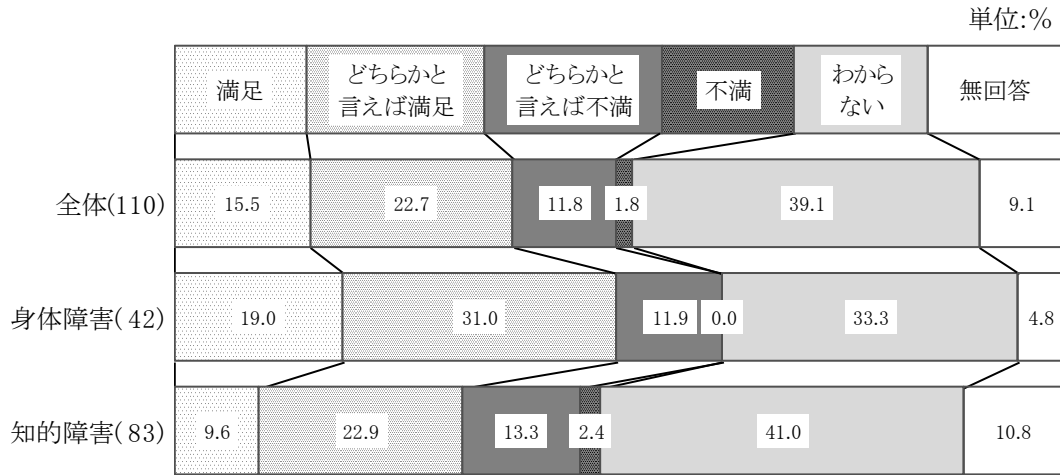
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑤経済面（収入や生計について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が22.7%と最も多く、次いで「満足」が15.5%、「どちらかと言えば不満」が11.8%、「不満」が1.8%となっています。「わからない」が39.1%とやや多くなっています。

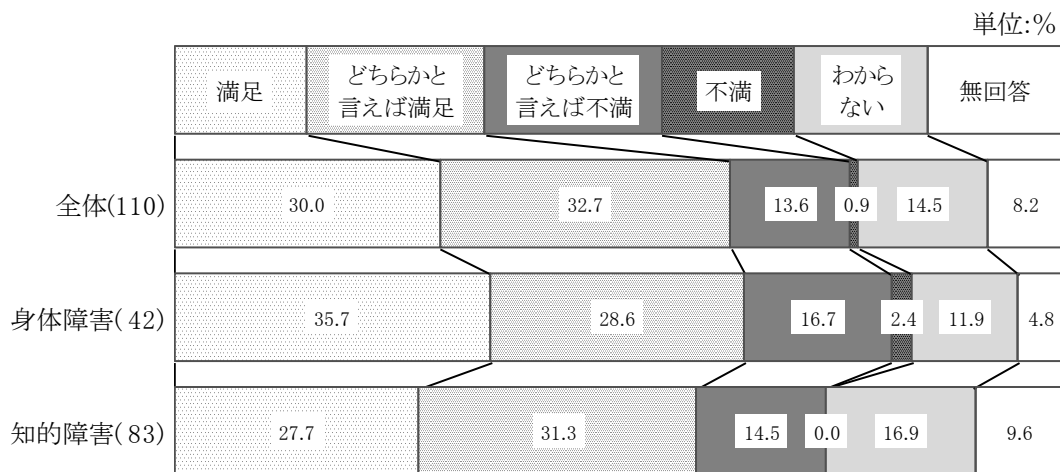
障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「満足」「どちらかと言えば満足」が多くなっています。



⑥余暇面（余暇や趣味について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が32.7%と最も多く、次いで「満足」が30.0%、「どちらかと言えば不満」が13.6%、「不満」が0.9%となっています。

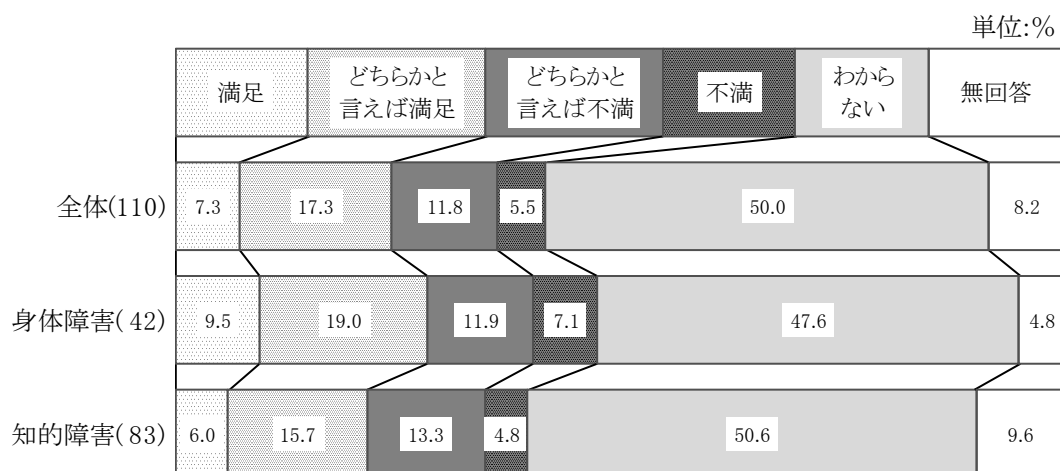
障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「満足」が多くなっています。



⑦社会参加面（社会活動への参加について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 17.3%と最も多く、次いで「どちらかと言えば不満」が 11.8%、「満足」が 7.3%、「不満」が 5.5%となっています。「わからない」が 50.0%と多くなっています。

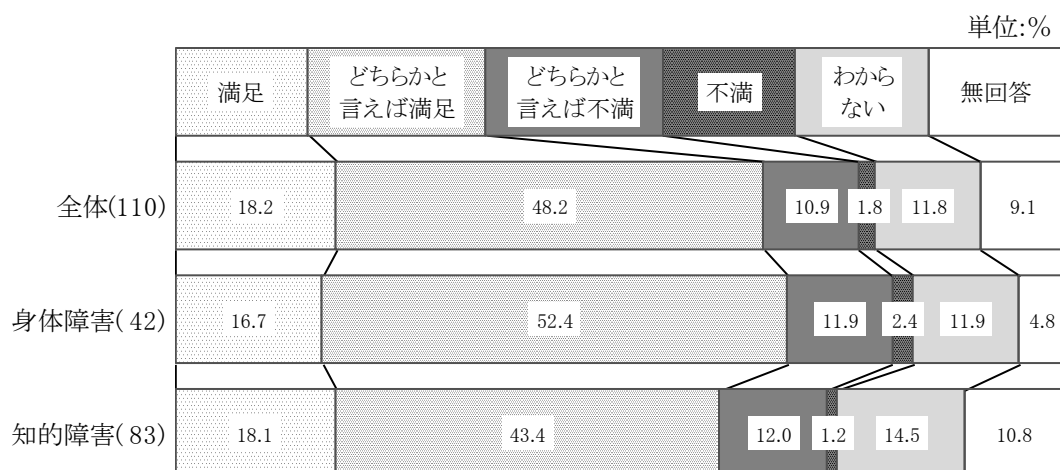
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑧総合評価（生活全般について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 48.2%と最も多く、次いで「満足」が 18.2%、「どちらかと言えば不満」が 10.9%、「不満」が 1.8%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



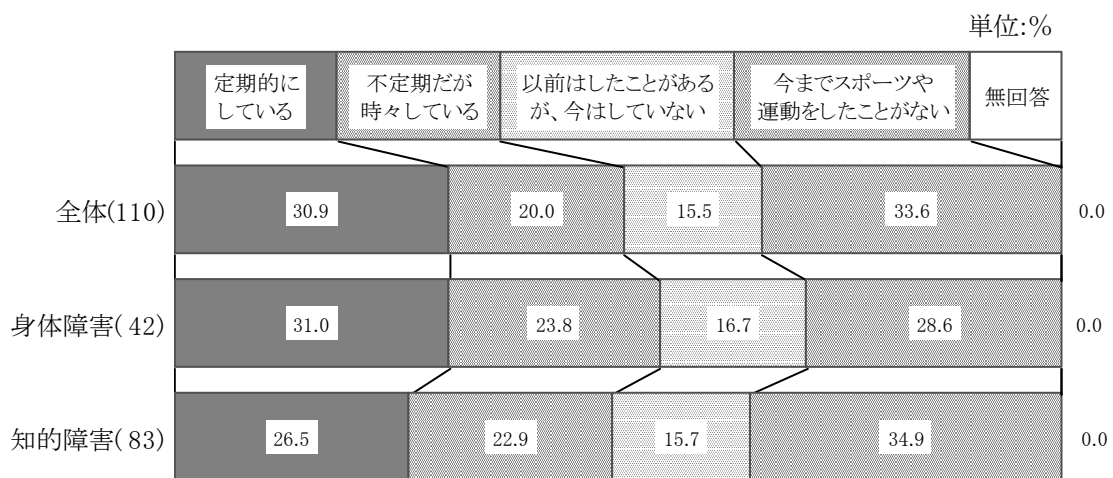
7. スポーツ・運動について

(1) スポーツや運動を行っているか

問 24 あなたは日頃、(学校等での授業を除き) スポーツや運動を行っていますか。
(○は1つ)

全体では、「今までスポーツや運動をしたことがない」が33.6%と最も多く、次いで「定期的に行っている」が30.9%、「不定期だが時々している」が20.0%、「以前はしたことがあるが、今はしていない」が15.5%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



(2) スポーツや運動を行っている場所

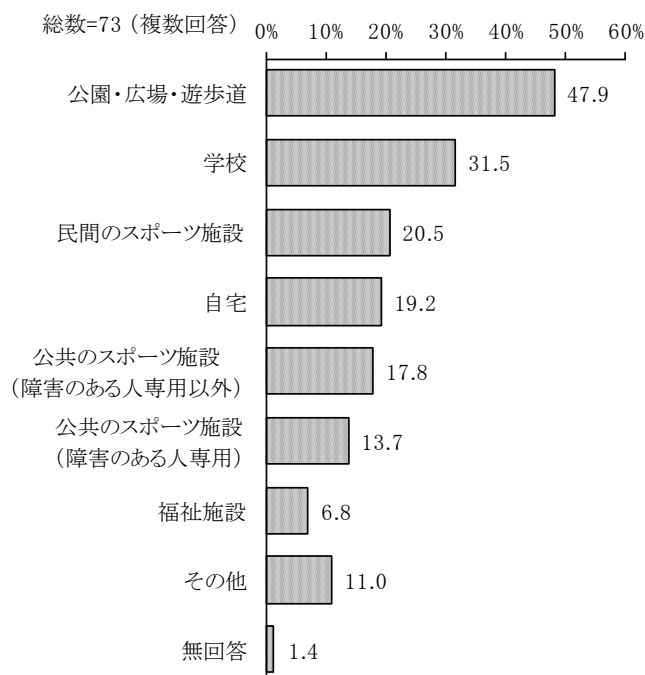
問25 問24で「スポーツや運動をしている、または、したことがある(1~3)」と回答した方にお聞きします。あなたが、スポーツや運動を行った場所はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

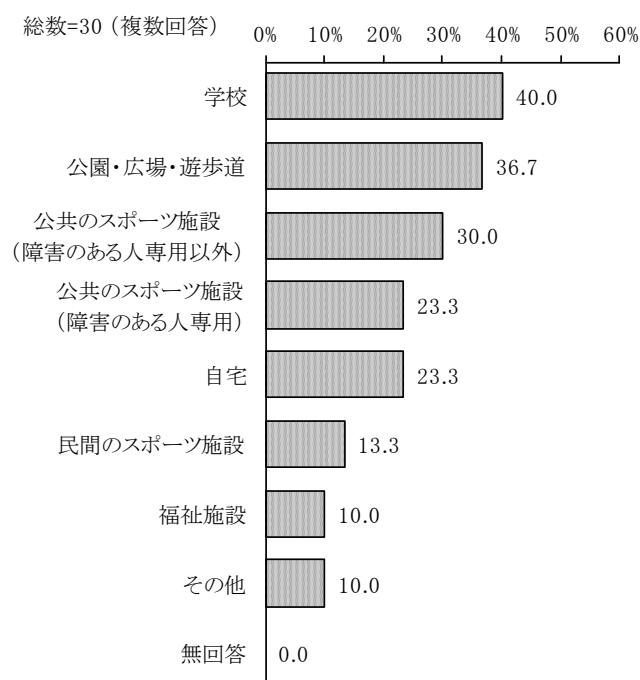
全体では、「公園・広場・遊歩道」が47.9%と最も多く、次いで「学校」が31.5%、「民間のスポーツ施設」が20.5%、「自宅」が19.2%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「学校」が最も多く、知的障害と比べて「公共のスポーツ施設(障害のある人専用以外)」が多くなっています。

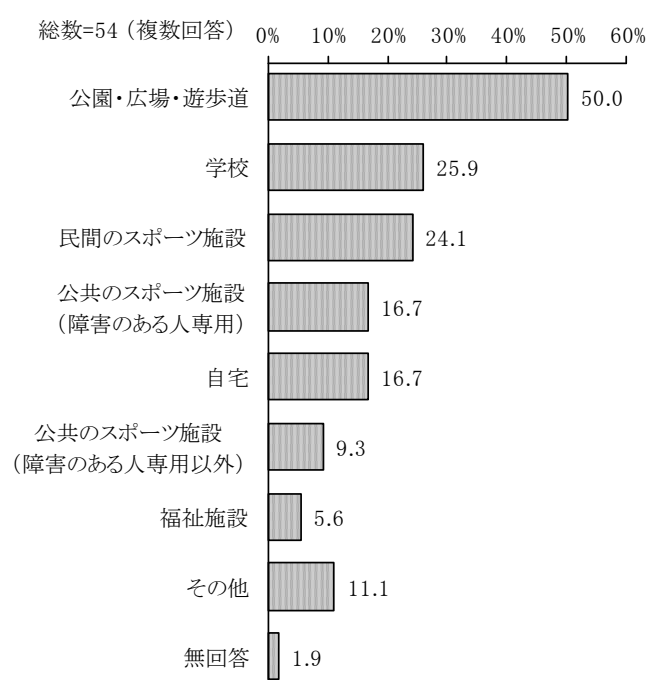
全体



身体障害



知的障害



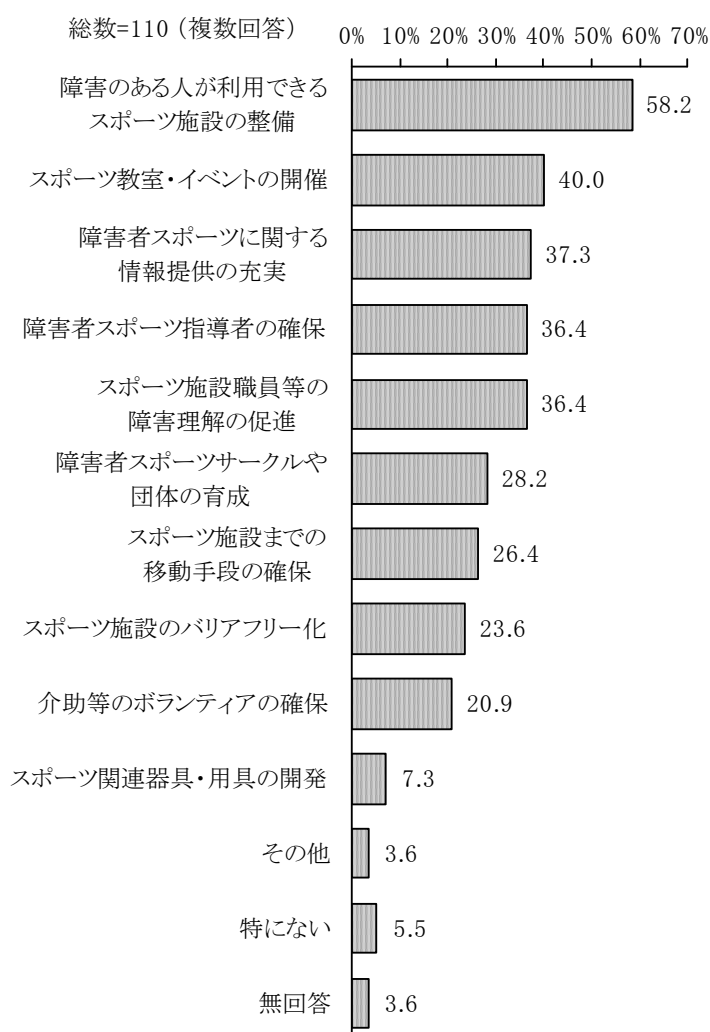
(3) スポーツや運動を行う上で必要なこと

問 26 あなたは、障害のある人がスポーツや運動を行う上でどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

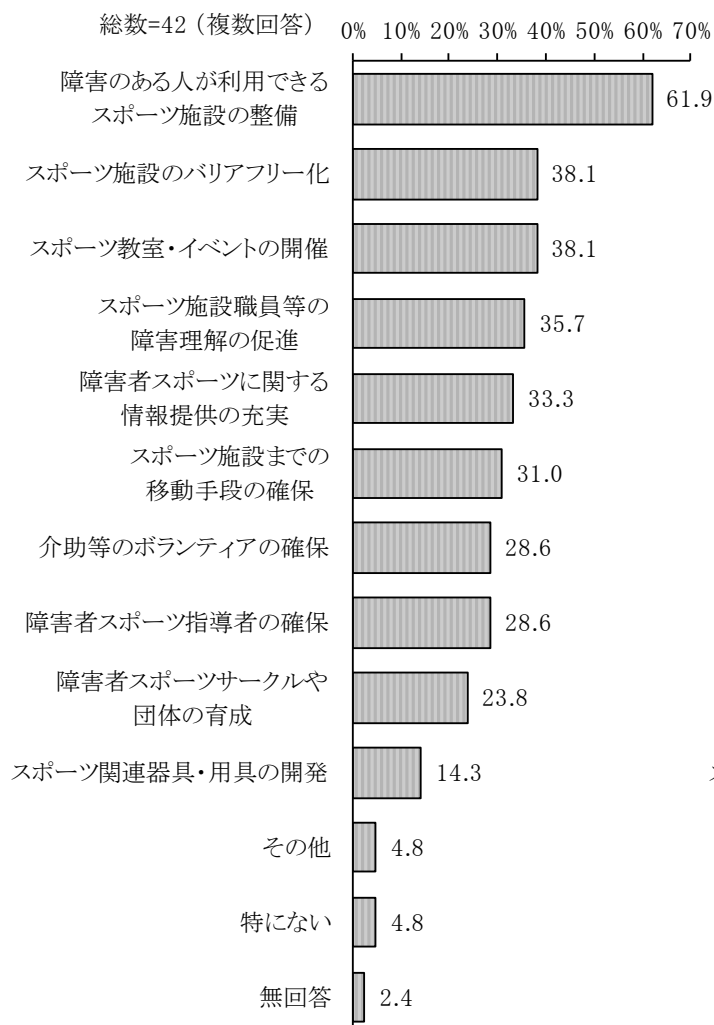
全体では、「障害のある人が利用できるスポーツ施設の整備」が58.2%と最も多く、次いで「スポーツ教室・イベントの開催」が40.0%、「障害者スポーツに関する情報提供の充実」が37.3%、「障害者スポーツ指導者の確保」「スポーツ施設職員等の障害理解の促進」がそれぞれ36.4%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「スポーツ施設のバリアフリー化」が多くなっています。

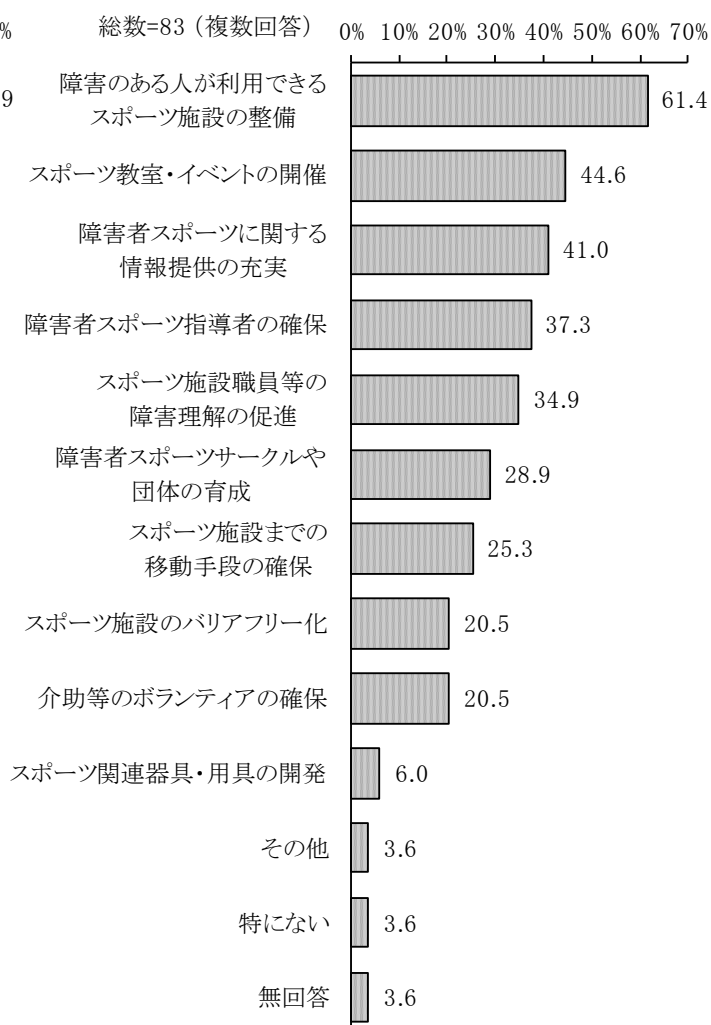
全体



身体障害



知的障害



8. 保育・教育・療育について

*「8. 保育・教育・療育について」は18歳未満の方にお聞きしました。

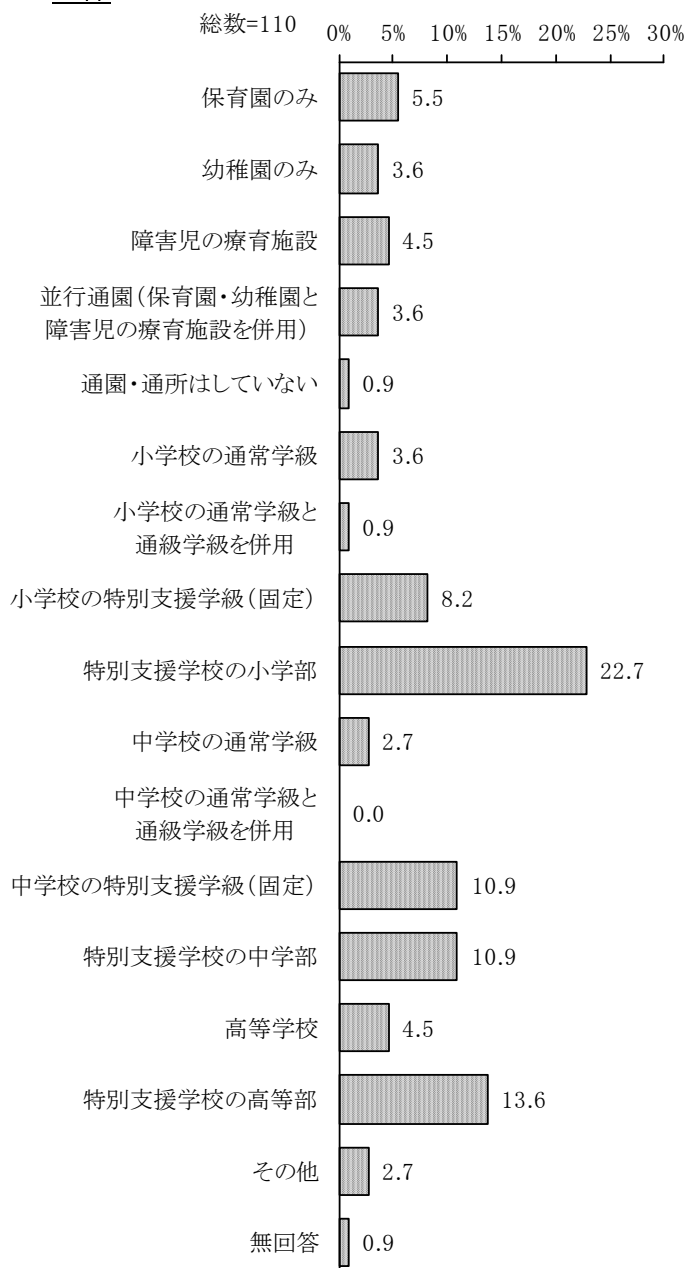
(1) 通園・通学先

問27 現在、あなたが主に通園・通学をしているところはどこですか。(〇は1つ)

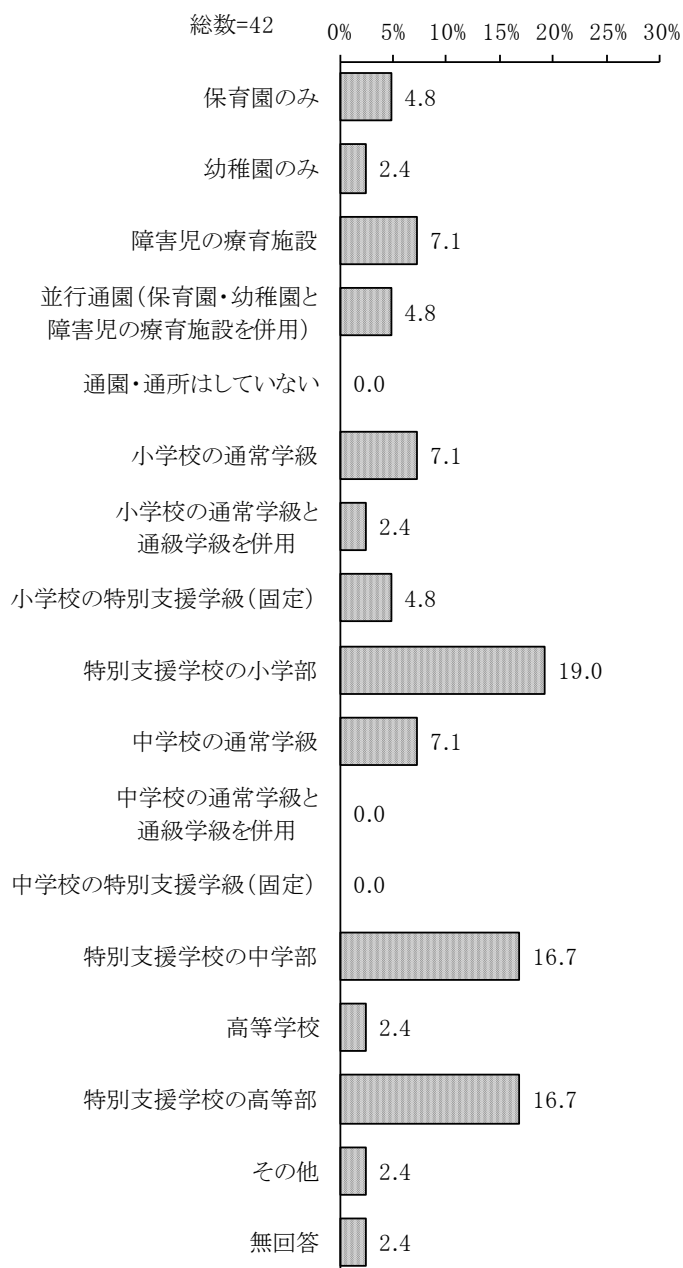
全体では、「特別支援学校の小学部」が22.7%と最も多く、次いで「特別支援学校の高等部」が13.6%、「中学校の特別支援学級(固定)」「特別支援学校の中学部」がそれぞれ10.9%となっています。

障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「特別支援学校の小学部」が多くなっています。

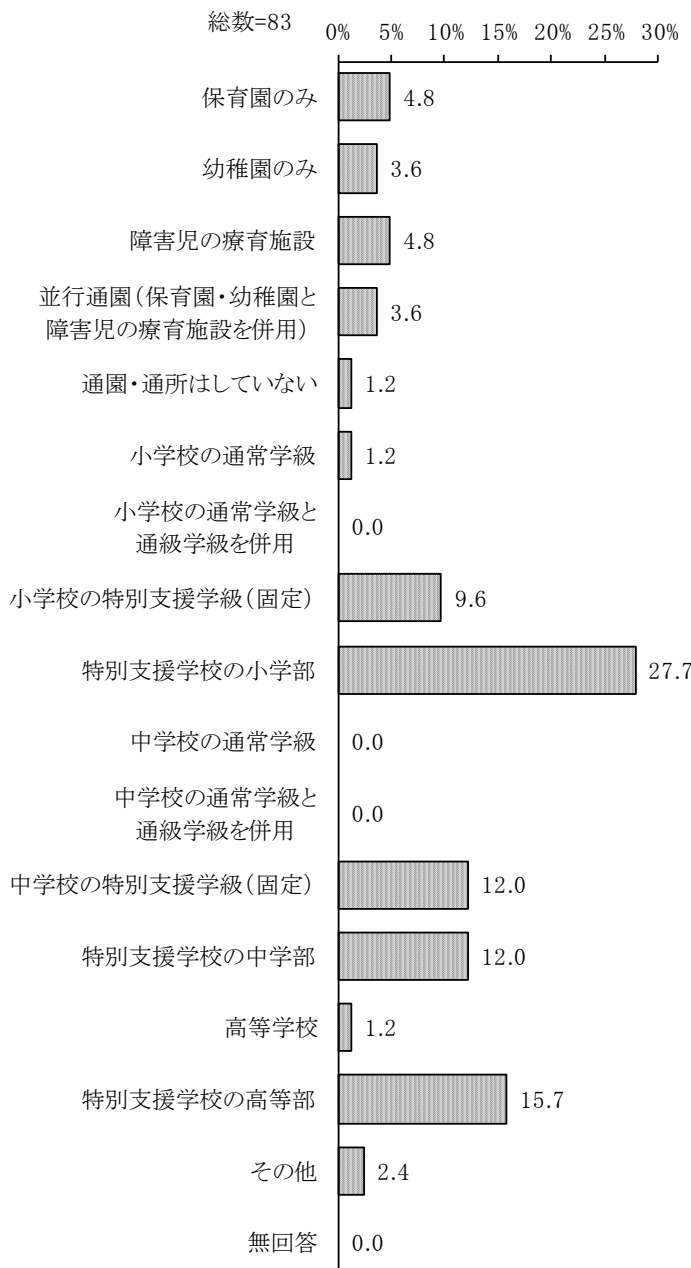
全体



身体障害



知的障害



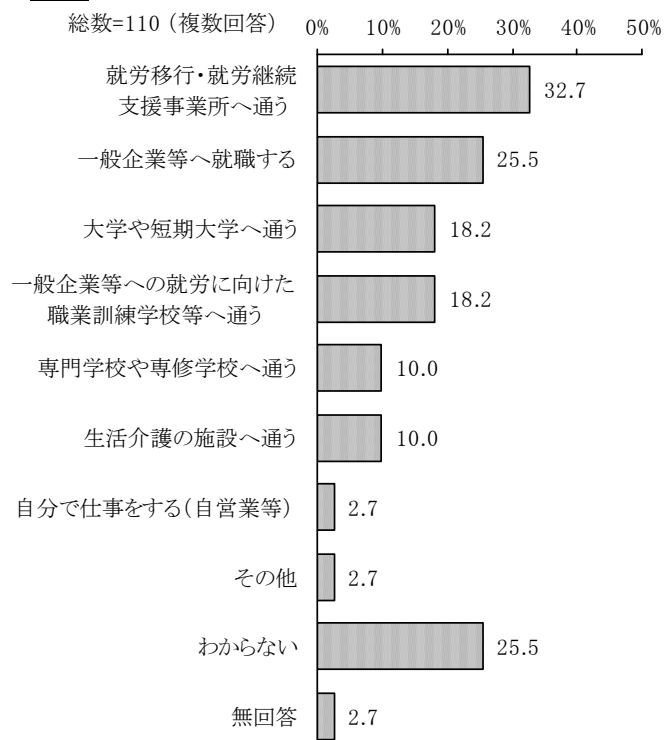
(2) 高校卒業後の進路希望

問 28 高等学校卒業後、あなたはどのような進路を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

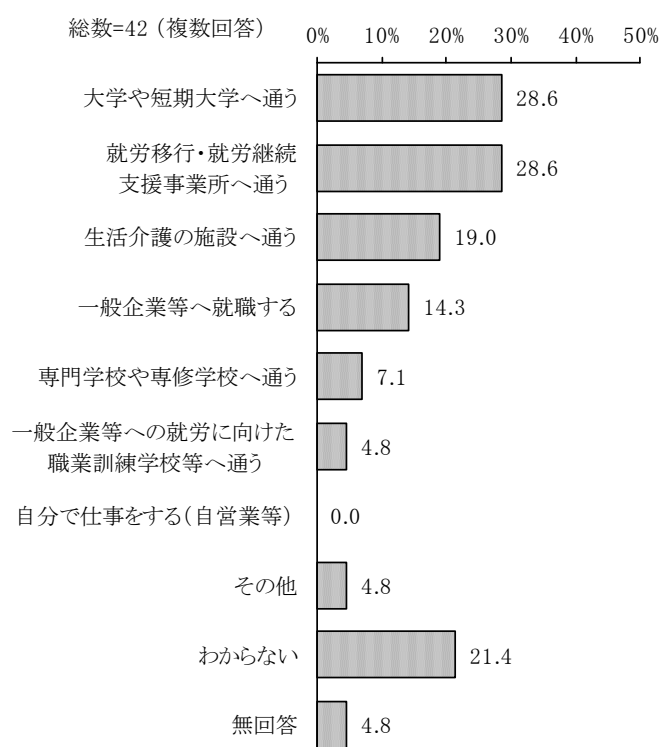
全体では、「就労移行・就労継続支援事業所へ通う」が32.7%と最も多く、次いで「一般企業等へ就職する」が25.5%、「大学や短期大学へ通う」「一般企業等への就労に向けた職業訓練学校等へ通う」がそれぞれ18.2%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「就労移行・就労継続支援事業所へ通う」とともに「大学や短期大学へ通う」が最も多くなっています。

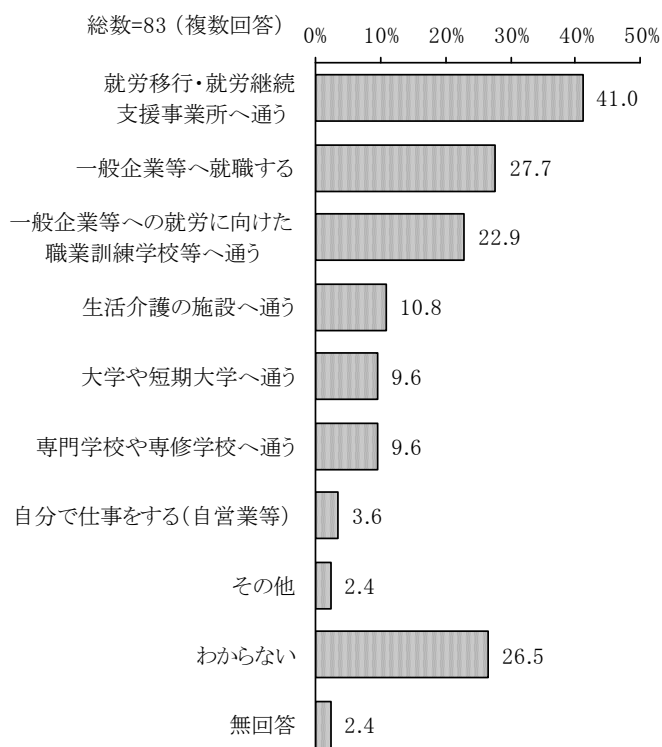
全体



身体障害



知的障害



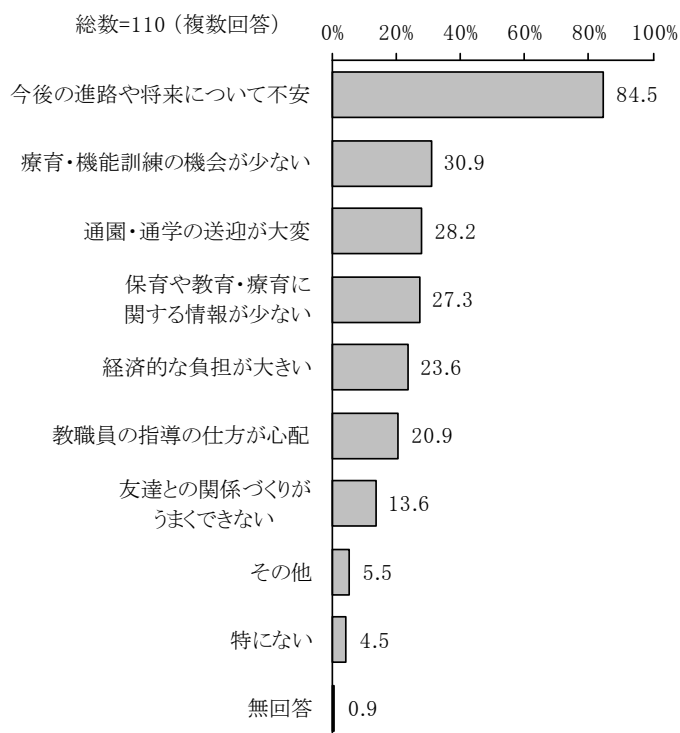
(3) 通園や通学、学校生活等で困っていること

問 29 お子さんの通園や通学、また学校生活等で困っていることや心配していることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

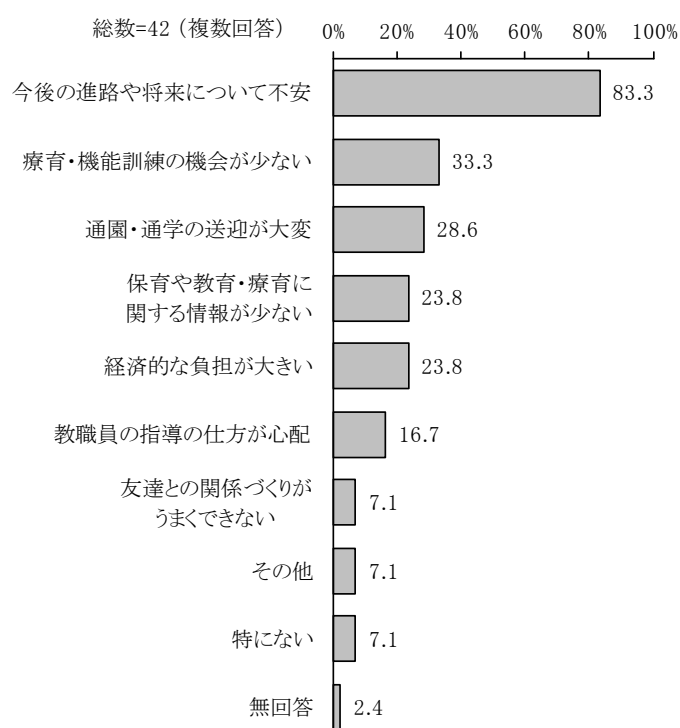
全体では、「今後の進路や将来について不安」が84.5%と最も多く、次いで「療育・機能訓練の機会が少ない」が30.9%、「通園・通学の送迎が大変」が28.2%、「保育や教育・療育に関する情報が少ない」が27.3%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

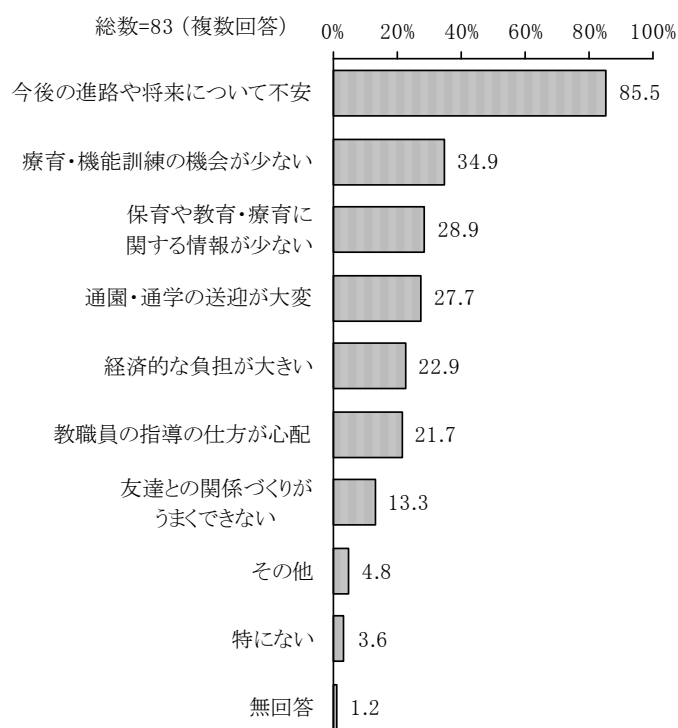
全体



身体障害



知的障害



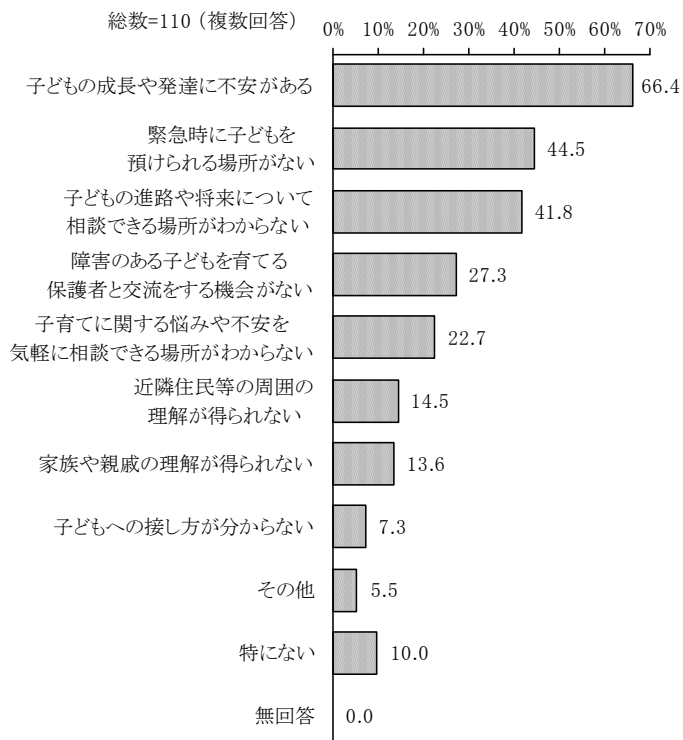
(4) 子育てで困っていること

問 30 お子さんを育てるうえで、これまでに困ったことや現在困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

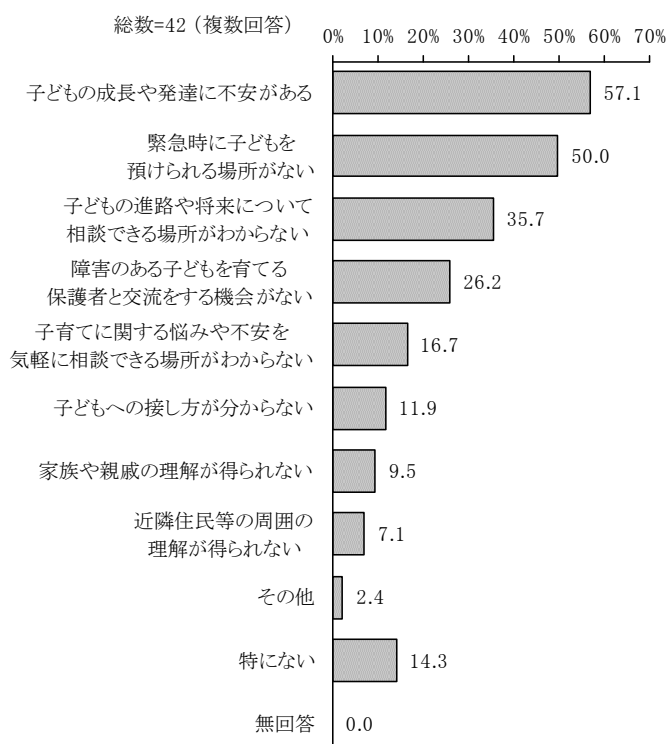
全体では、「子どもの成長や発達に不安がある」が66.4%と最も多く、次いで「緊急時に子どもを預けられる場所がない」が44.5%、「子どもの進路や将来について相談できる場所がわからない」が41.8%、「障害のある子どもを育てる保護者と交流をする機会がない」が27.3%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

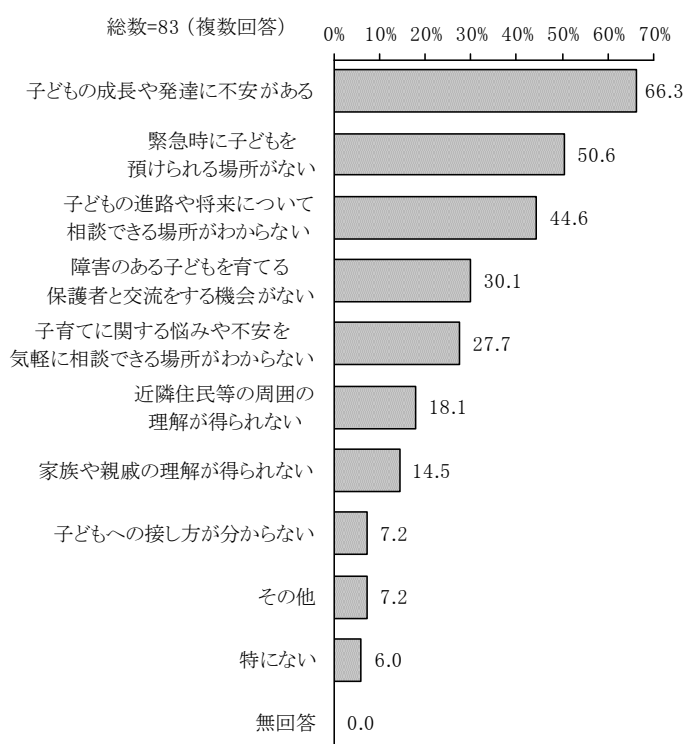
全体



身体障害



知的障害



9. 住まいについて

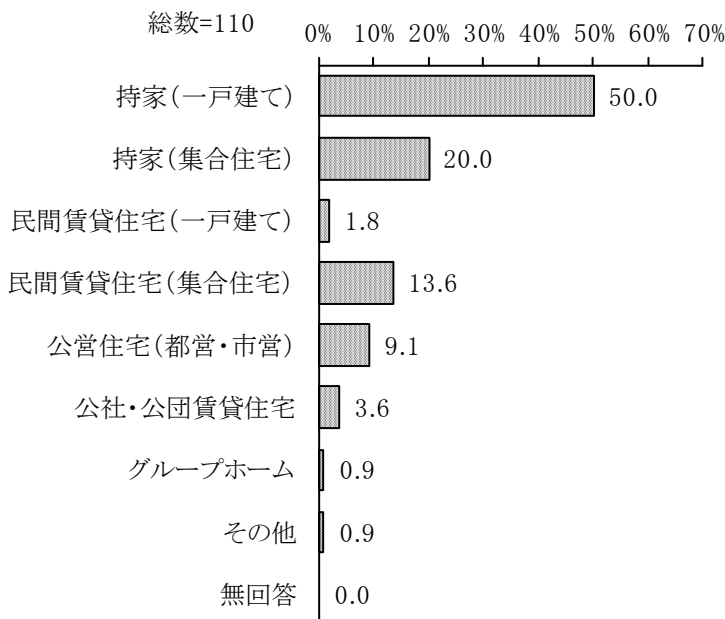
(1) 住まいの種類

問31 現在、あなたはどのようなところにお住まいですか。(〇は1つ)

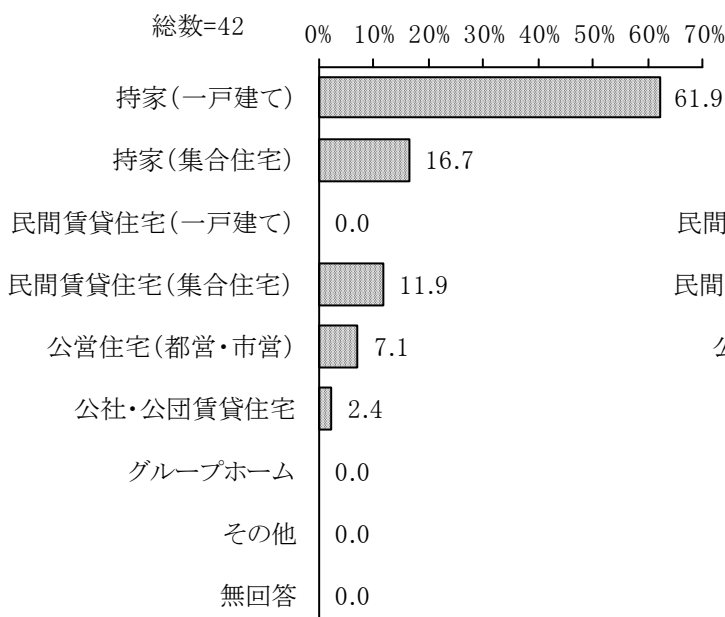
全体では、「持家（一戸建て）」が50.0%と最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が20.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が13.6%、「公営住宅（都営・市営）」が9.1%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

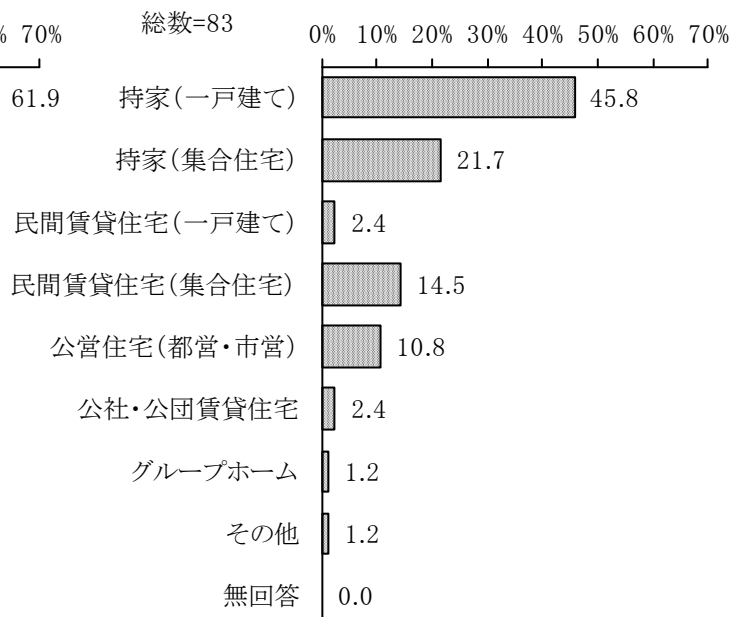
全体



身体障害



知的障害



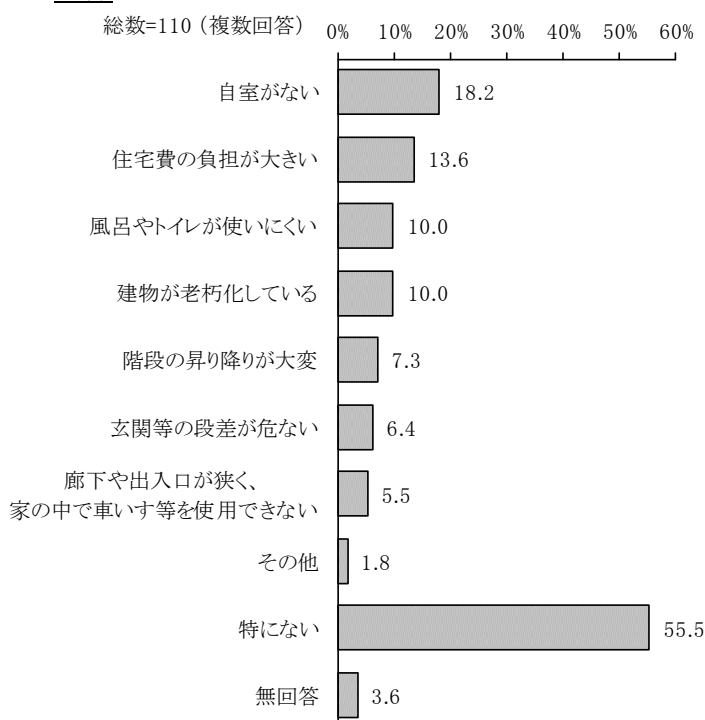
(2) 住まいで困っていること

問 32 あなたが現在の住まいで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

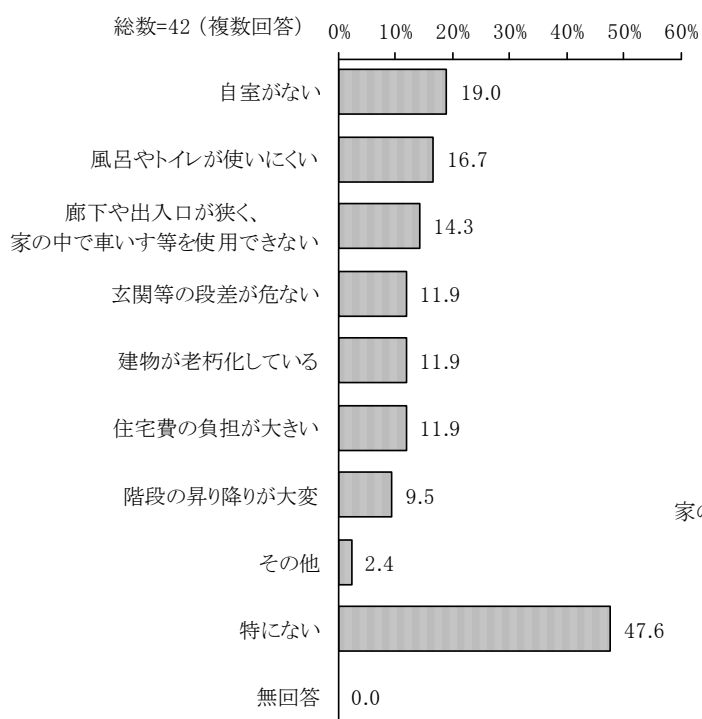
全体では、「自室がない」が18.2%と最も多く、次いで「住宅費の負担が大きい」が13.6%、「風呂やトイレが使いにくい」「建物が老朽化している」がそれぞれ10.0%となっています。「特にない」が55.5%と多くなっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「風呂やトイレが使いにくい」が多くなっています。

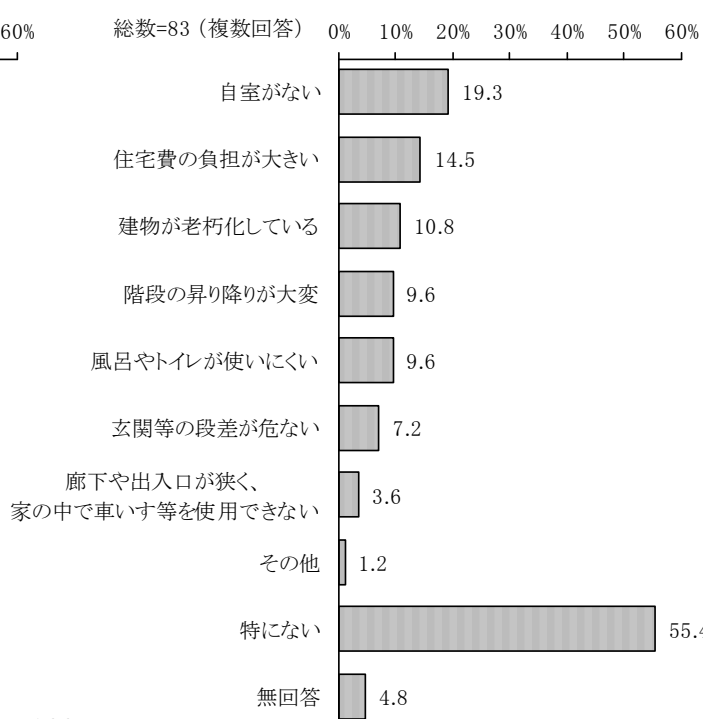
全体



身体障害



知的障害



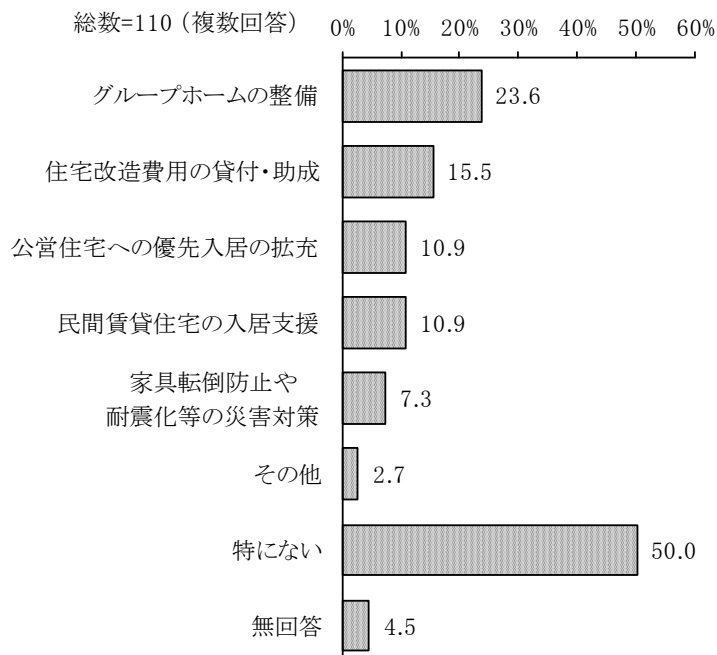
(3) 住まいについて必要な支援

問 33 あなたは、住まいについてどのような支援が必要ですか。(〇は3つまで)

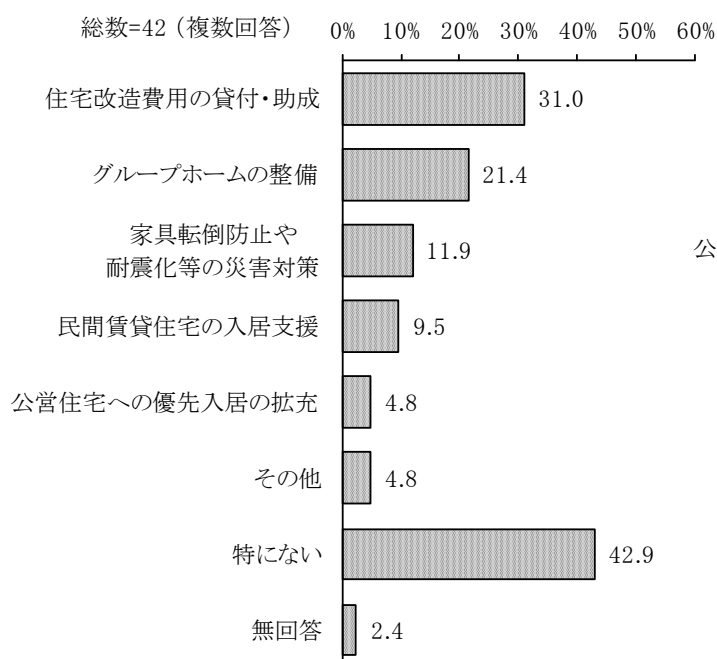
全体では、「グループホームの整備」が 23.6%と最も多く、次いで「住宅改造費用の貸付・助成」が 15.5%、「公営住宅への優先入居の拡充」「民間賃貸住宅の入居支援」がそれぞれ 10.9%となっています。「特にない」が 50.0%と多くなっています。

障害別に見ると、身体障害では「住宅改造費用の貸付・助成」が最も多くなっています。

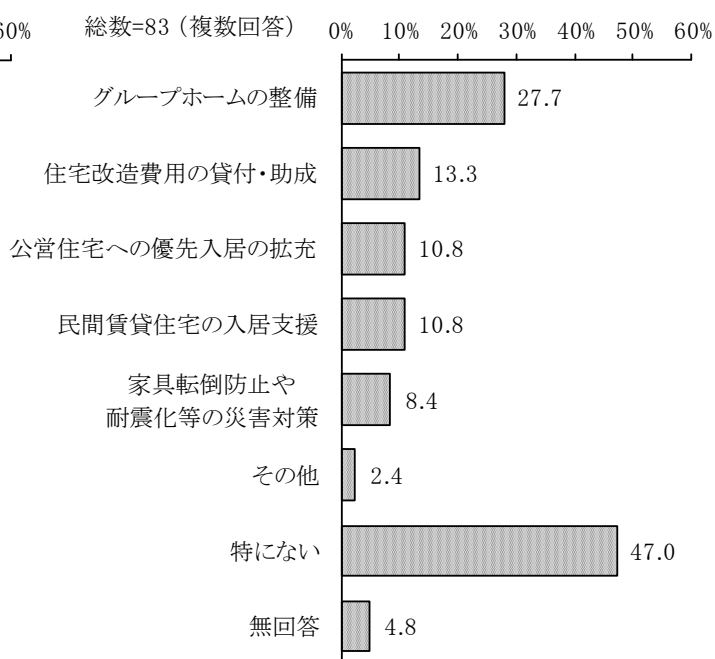
全体



身体障害



知的障害



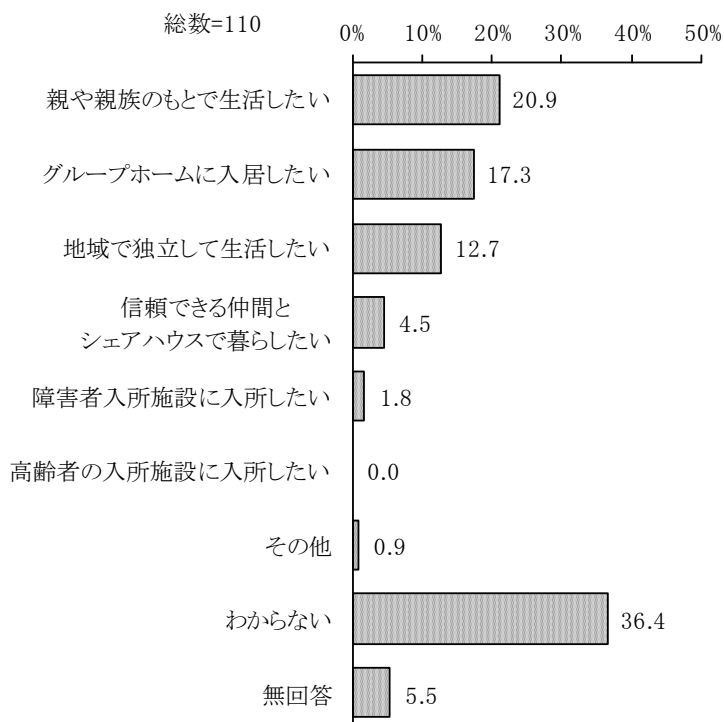
(4) 将来の暮らし方の希望

問 34 将来、あなたはどのように暮らしたいですか。(〇は1つ)

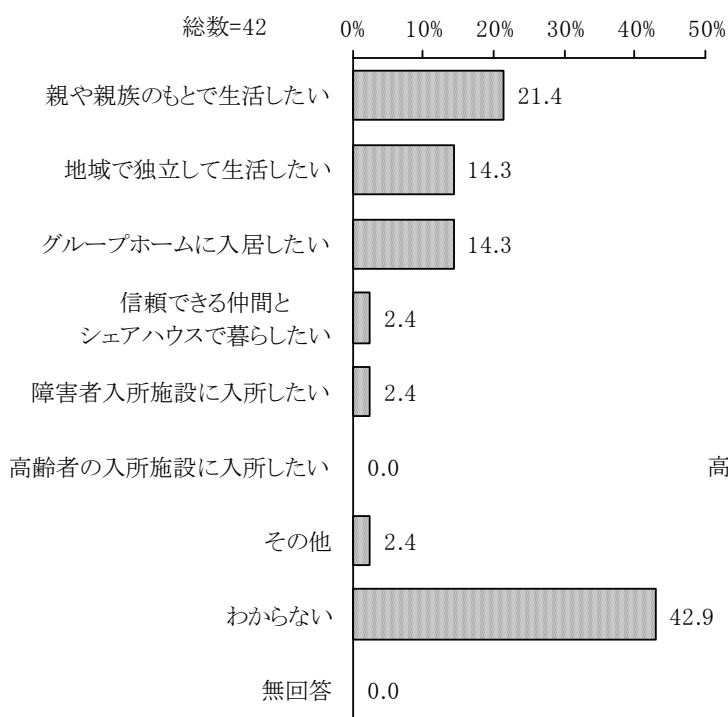
全体では、「親や親族のもとで生活したい」が20.9%と最も多く、次いで「グループホームに入居したい」が17.3%、「地域で独立して生活したい」が12.7%、「信頼できる仲間とシェアハウスで暮らしたい」が4.5%となっています。「わからない」が36.4%とやや多くなっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

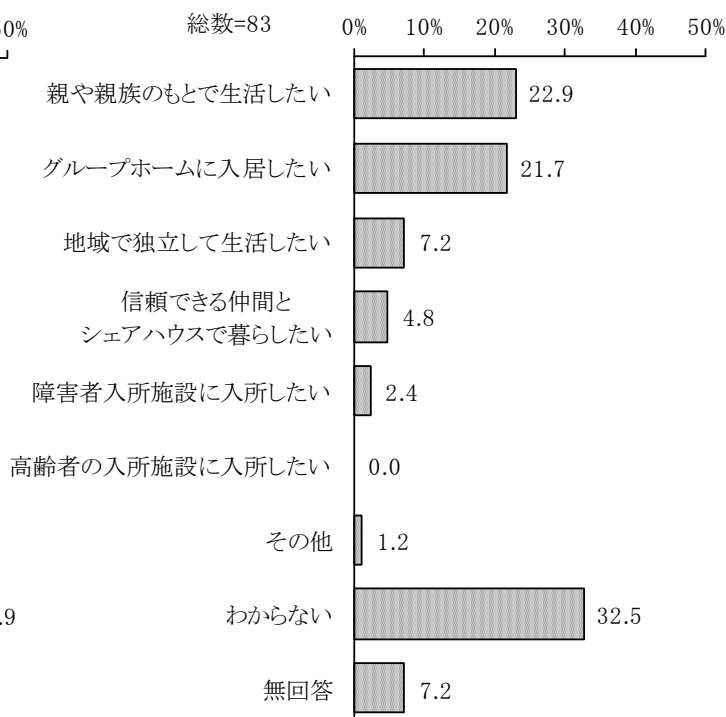
全体



身体障害



知的障害



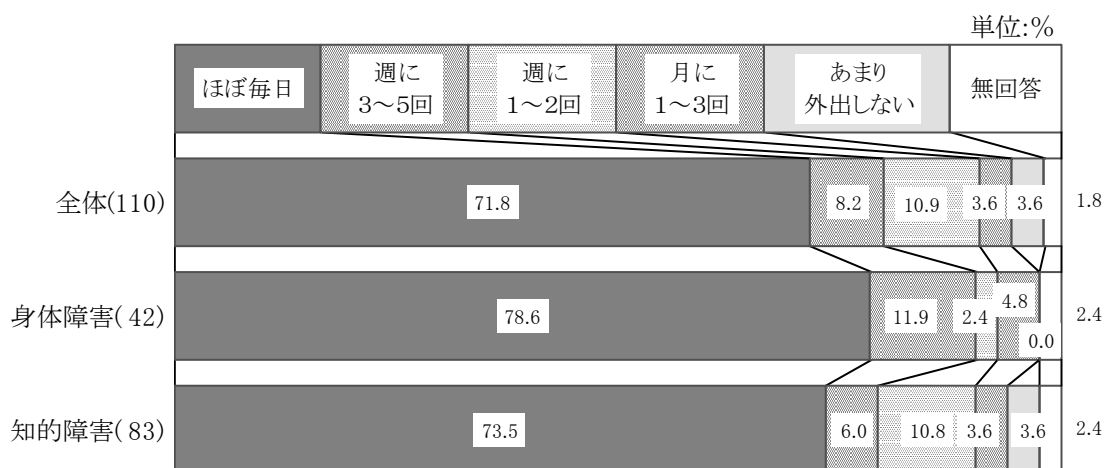
10. 外出について

(1) 外出の頻度

問 35 普段、あなたはどのくらいの頻度で外出しますか。(〇は1つ)

全体では、「ほぼ毎日」が71.8%と最も多く、次いで「週に1～2回」が10.9%、「週に3～5回」が8.2%、「月に1～3回」「あまり外出しない」がそれぞれ3.6%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



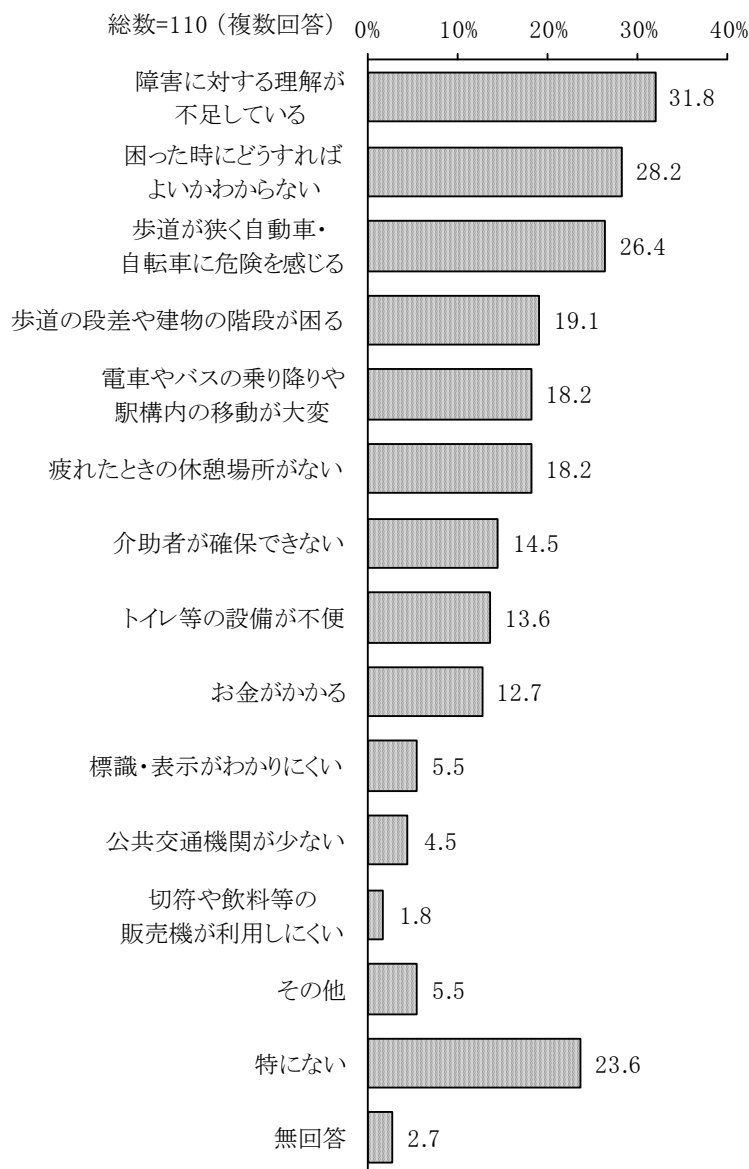
(2) 外出する際困っていること

問 36 あなたが外出する際、困ったり不便に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

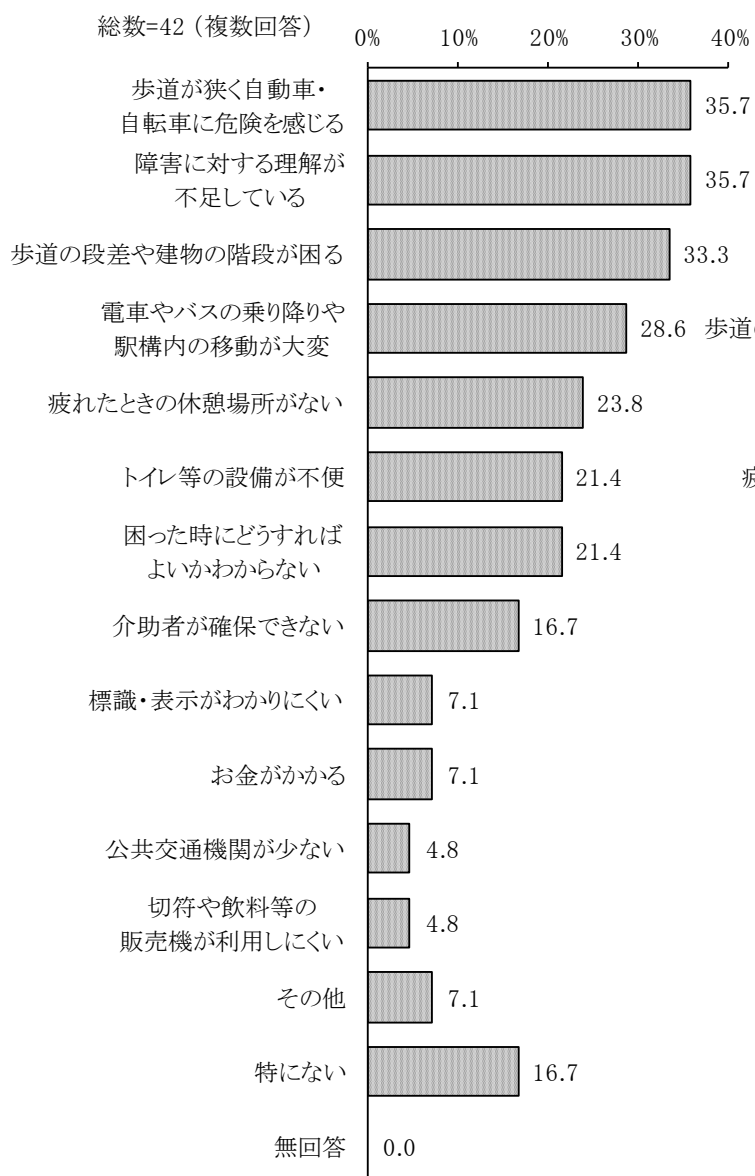
全体では、「障害に対する理解が不足している」が31.8%と最も多く、次いで「困った時にどうすればよいかわからない」が28.2%、「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」が26.4%、「歩道の段差や建物の階段が困る」が19.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「障害に対する理解が不足している」とともに「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」が最も多くなっています。

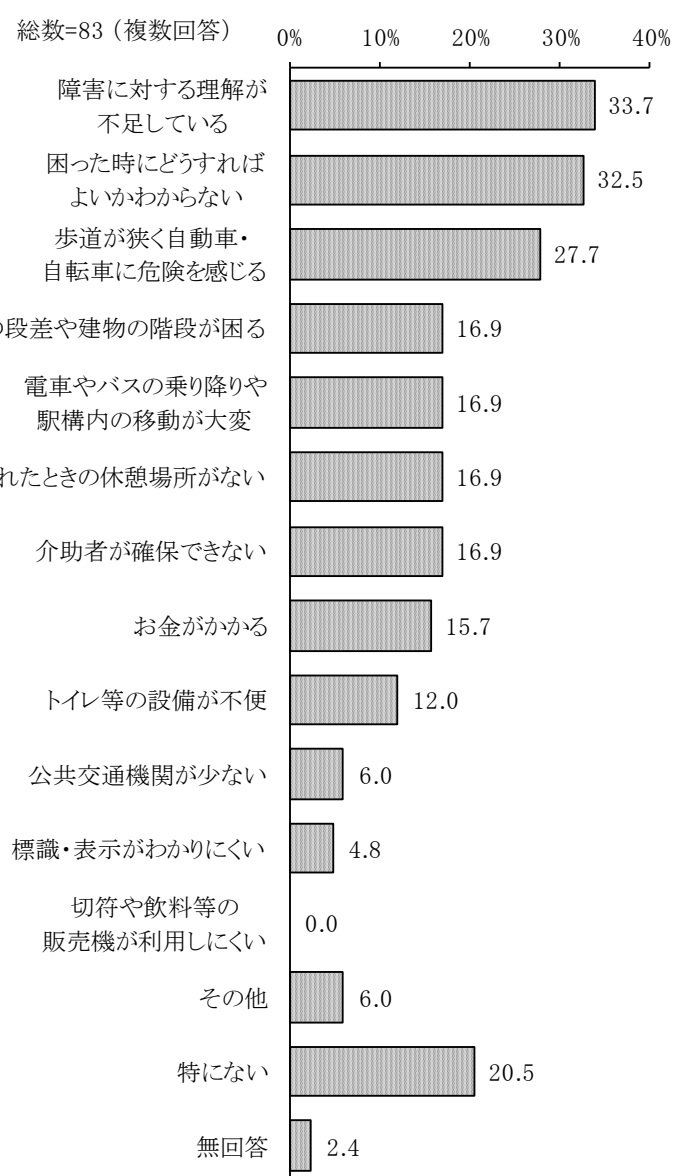
全体



身体障害



知的障害



11. 福祉サービスの利用について

問 37 あなたは、次のサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと
 思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。
 （それぞれあてはまるものすべてに○）

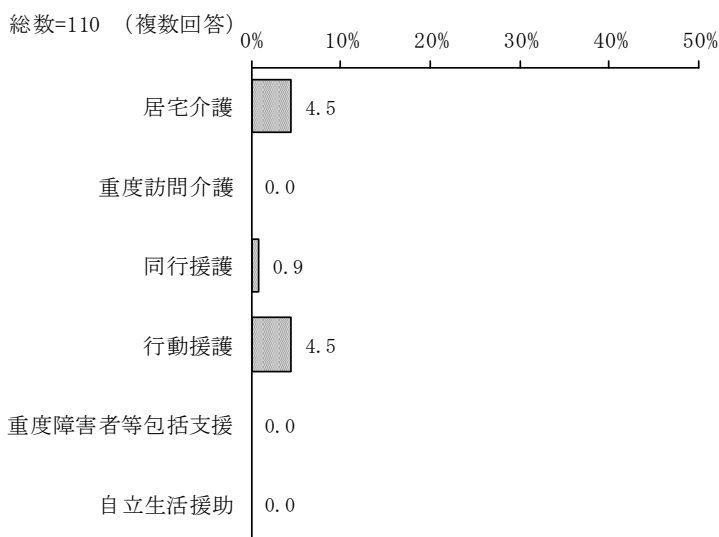
「利用状況」は「現在利用している」、「利用意向」は「今後利用したい」という回答の結果です。

（1）訪問系サービス

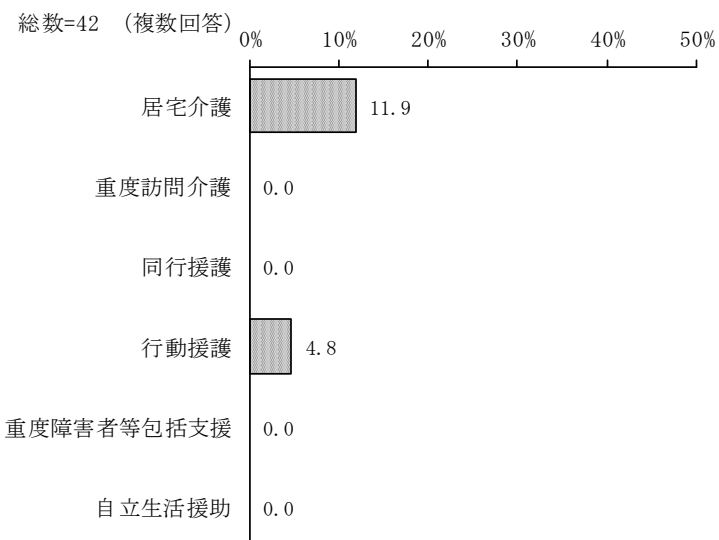
①訪問系サービスの利用状況

全体では、「居宅介護」「行動援護」がそれぞれ4.5%、「同行援護」が0.9%となっています。
 障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「居宅介護」が多くなっています。

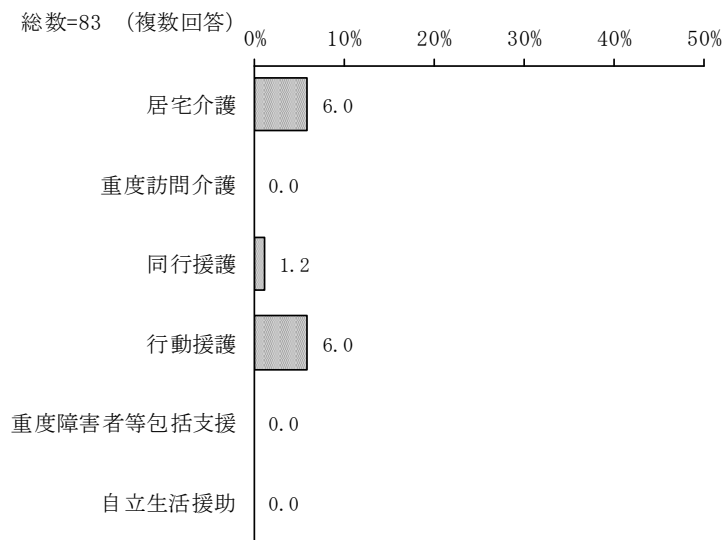
全体



身体障害



知的障害

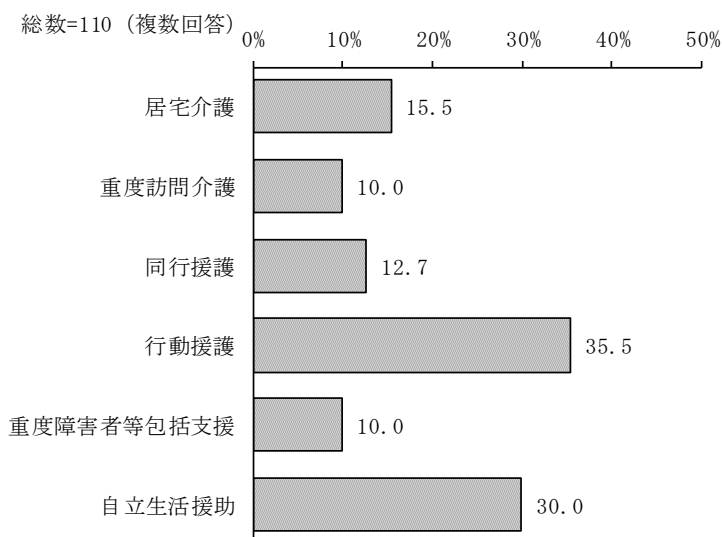


②訪問系サービスの利用意向

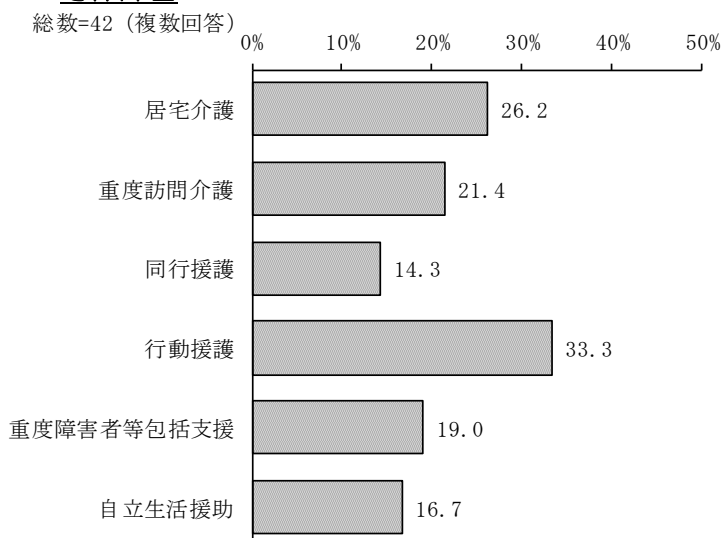
全体では、「行動援護」が35.5%と最も多く、次いで「自立生活援助」が30.0%、「居宅介護」が15.5%、「同行援護」が12.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「居宅介護」「重度訪問介護」が多くなっています。知的障害では身体障害と比べて「行動援護」「自立生活援助」が多くなっています。

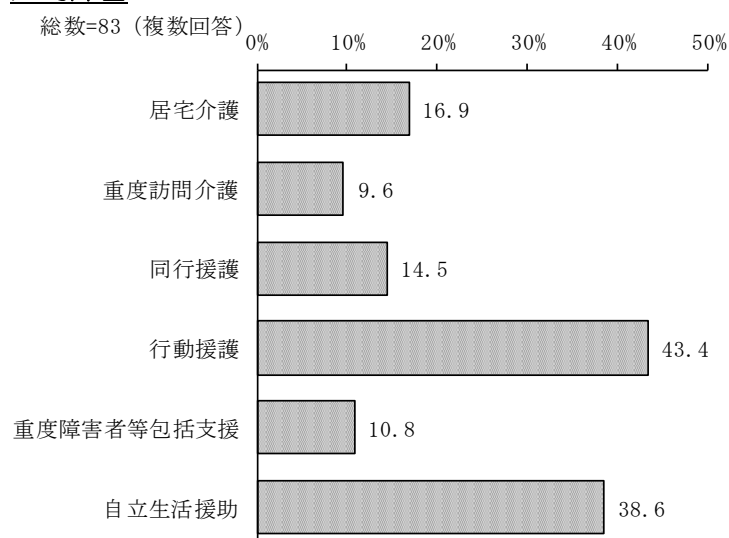
全体



身体障害



知的障害



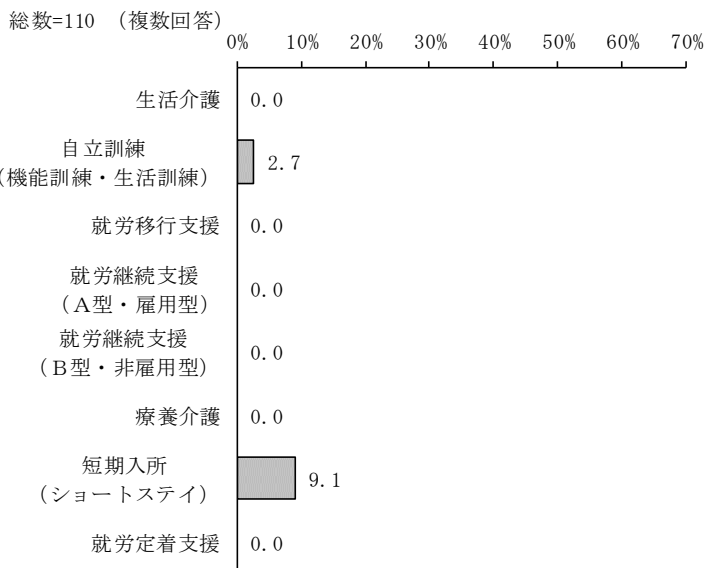
(2) 日中活動系サービス

③日中活動系サービスの利用状況

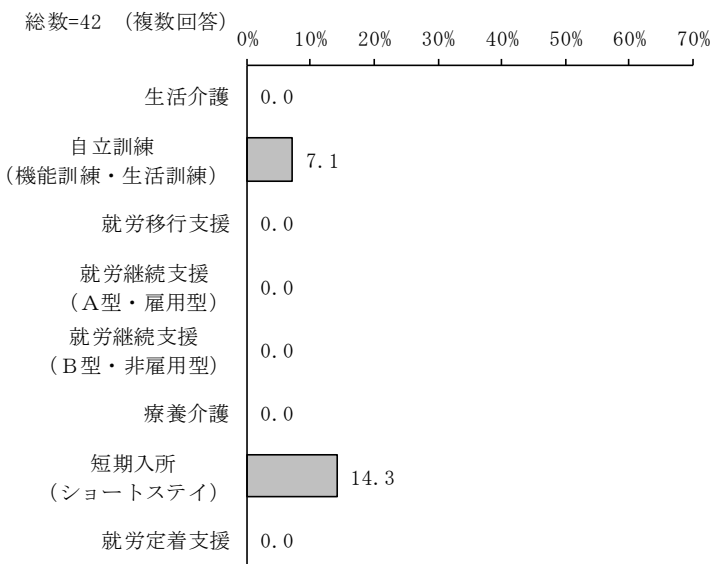
全体では、「短期入所（ショートステイ）」が 9.1%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 2.7% となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

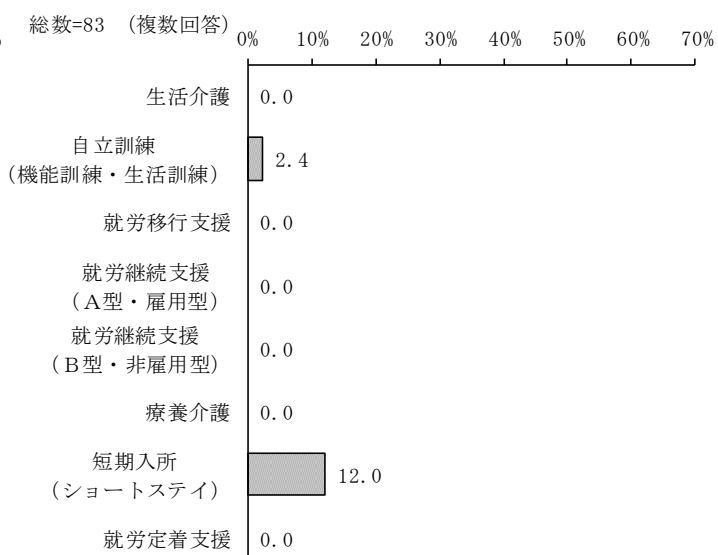
全体



身体障害



知的障害

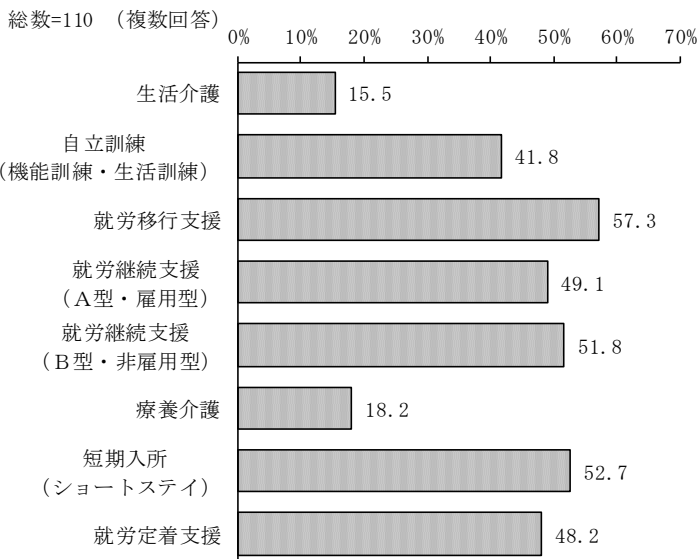


④日中活動系サービスの利用意向

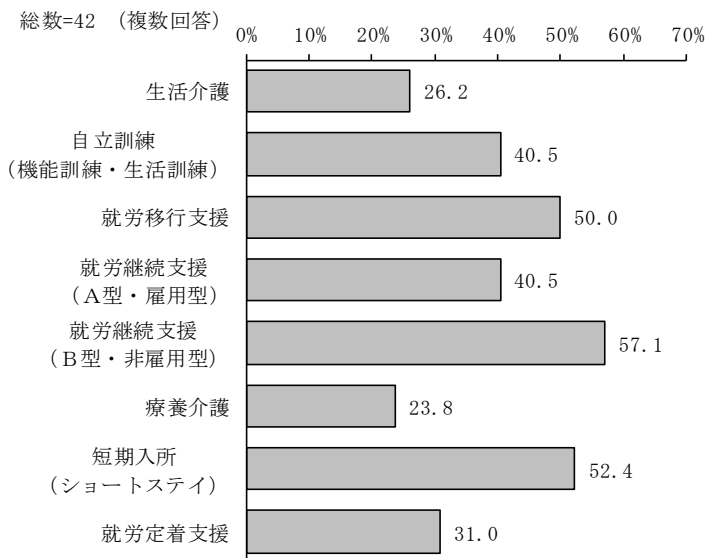
全体では、「就労移行支援」が57.3%と最も多く、次いで「短期入所(ショートステイ)」が52.7%、「就労継続支援(B型・非雇用型)」が51.8%、「就労継続支援(A型・雇用型)」が49.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「就労継続支援(B型・非雇用型)」が、知的障害では「短期入所(ショートステイ)」が最も多くなっています。

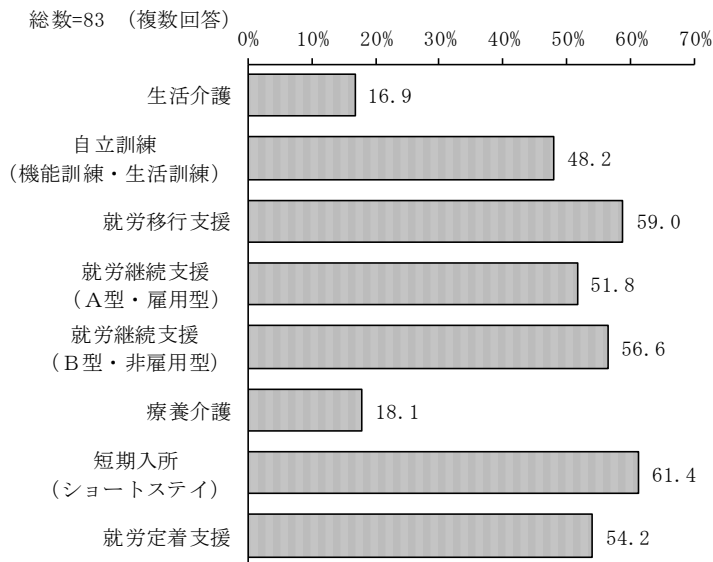
全体



身体障害



知的障害



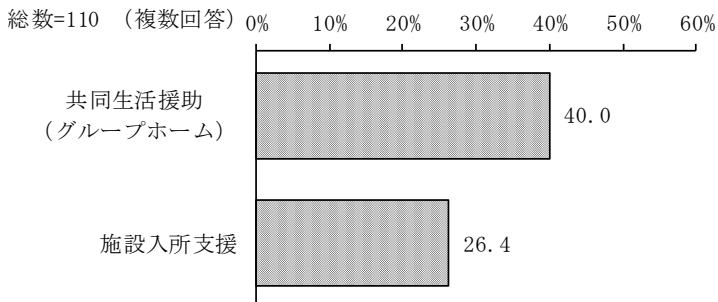
(3) 居住系サービス

⑤ 居住系サービスの利用意向

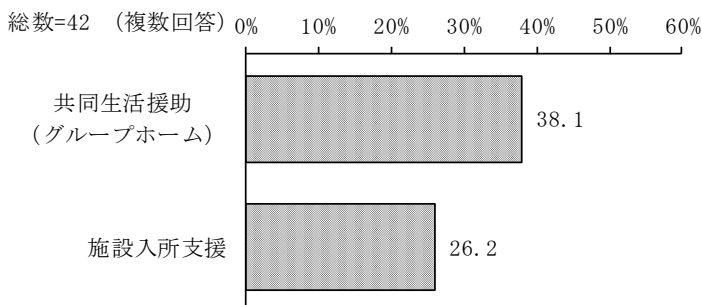
全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が 40.0%、「施設入所支援」が 26.4%となっています。

障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「共同生活援助（グループホーム）」が多くなっています。

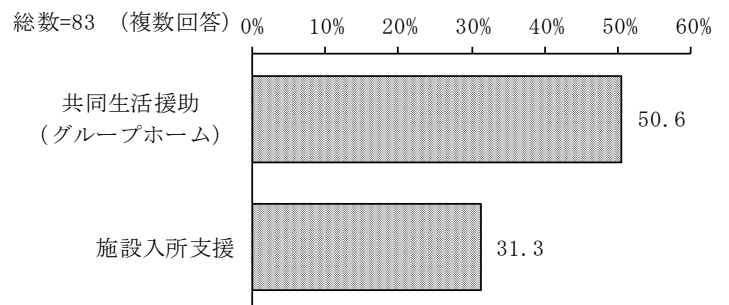
全体



身体障害



知的障害



(4) 地域生活支援事業

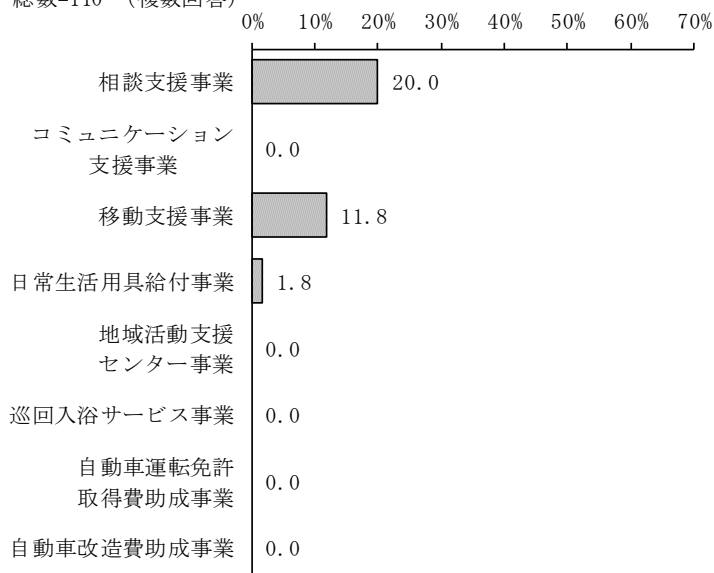
⑥地域生活支援事業の利用状況

全体では、「相談支援」が20.0%と最も多く、次いで「移動支援事業」が11.8%、「日常生活用具給付事業」が1.8%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

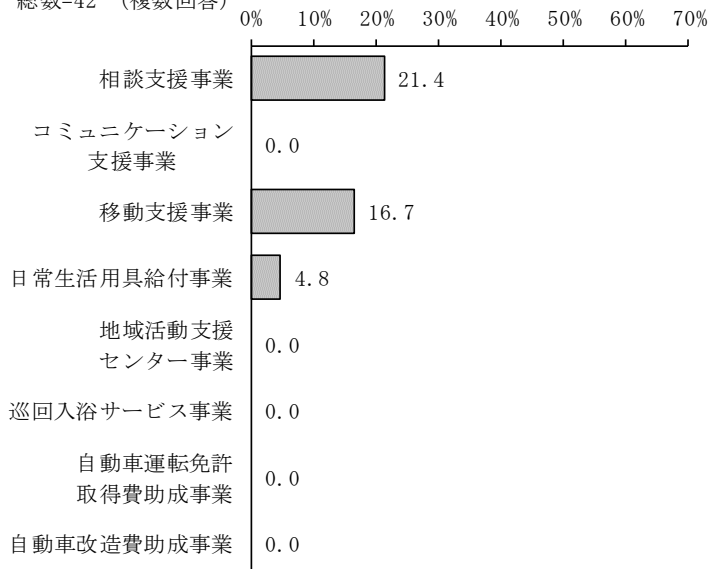
全体

総数=110 (複数回答)



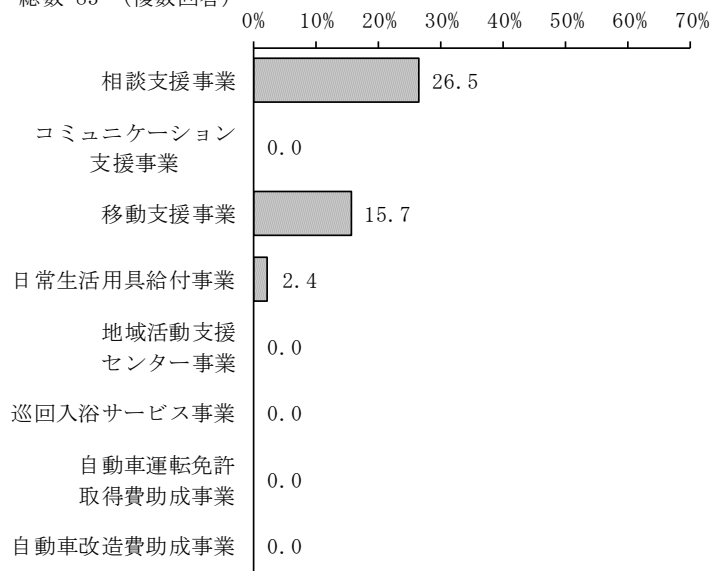
身体障害

総数=42 (複数回答)



知的障害

総数=83 (複数回答)



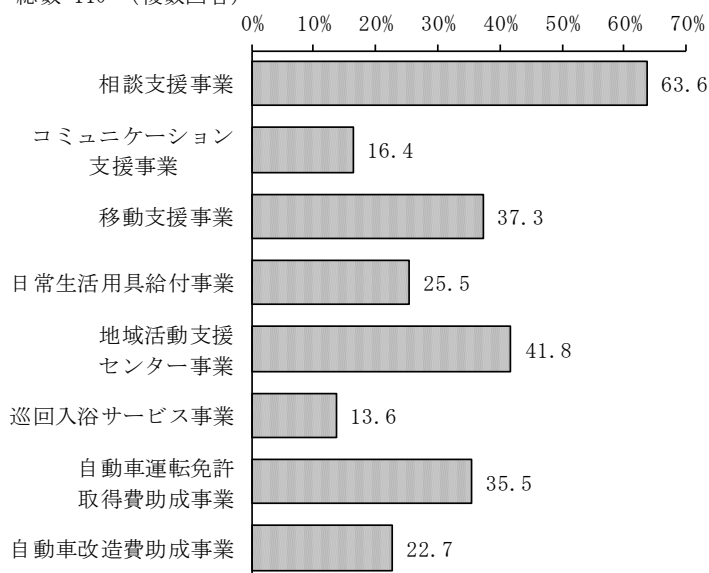
⑦地域生活支援事業の利用意向

全体では、「相談支援事業」が63.6%と最も多く、次いで「地域活動支援センター事業」が41.8%、「移動支援事業」が37.3%、「自動車運転免許取得費助成事業」が35.5%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「日常生活用具給付事業」「自動車改造費助成事業」が多く、知的障害では身体障害と比べて「地域活動支援センター事業」「移動支援事業」が多くなっています。

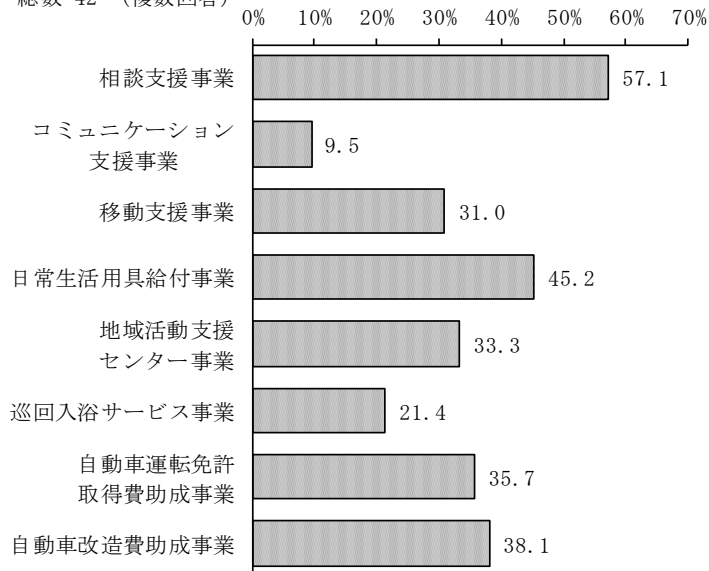
全体

総数=110 (複数回答)



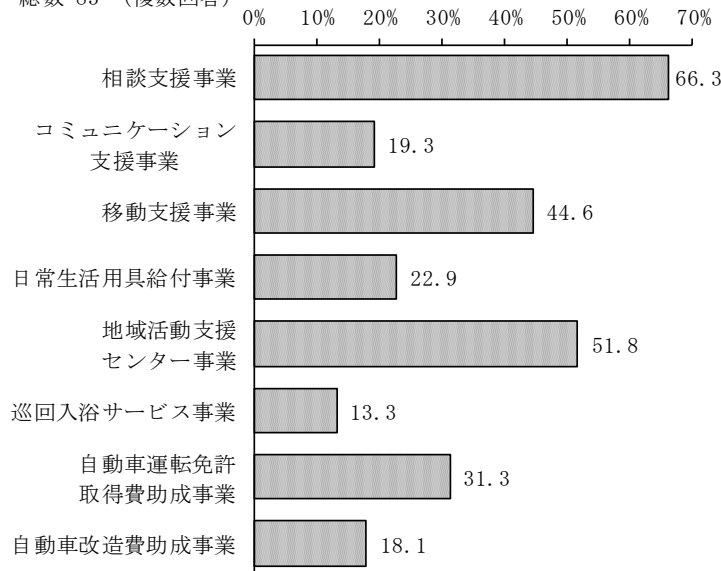
身体障害

総数=42 (複数回答)



知的障害

総数=83 (複数回答)



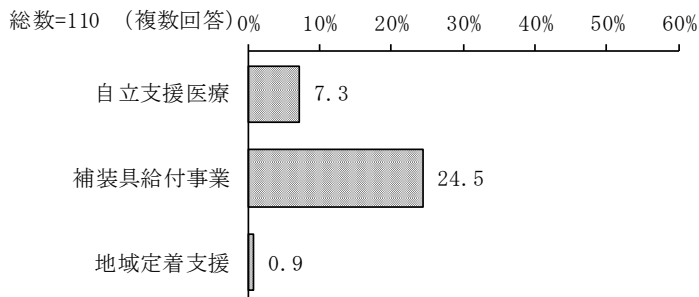
(5) その他のサービス

⑧ その他のサービスの利用状況

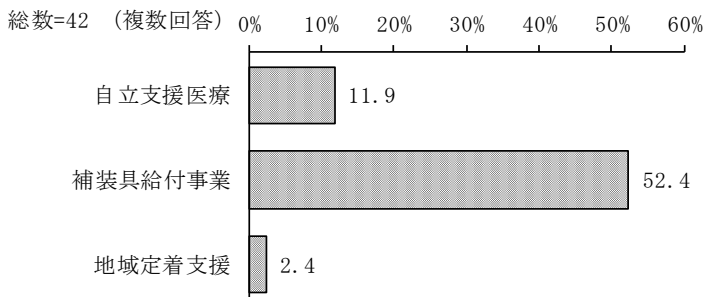
全体では、「補装具給付事業」が 24.5%と最も多く、次いで「自立支援医療」が 7.3%、「地域定着支援」が 0.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「補装具給付事業」が多くなっています。

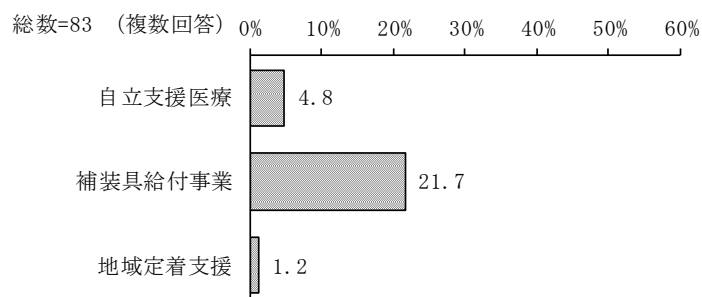
全体



身体障害



知的障害

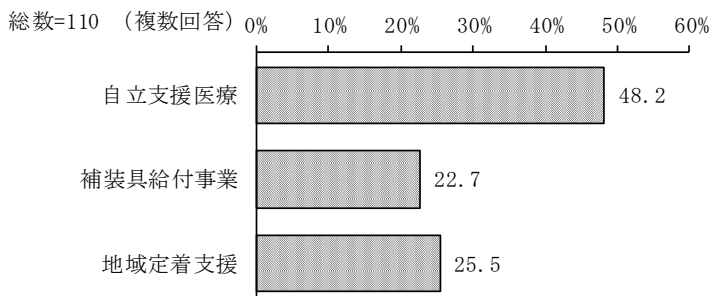


⑨ その他のサービスの利用意向

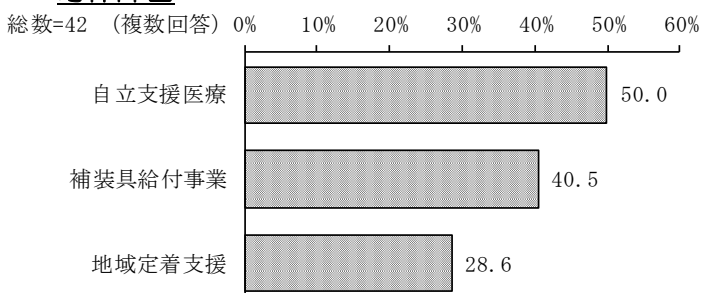
全体では、「自立支援医療」が 48.2%と最も多く、次いで「地域定着支援」が 25.5%、「補装具給付事業」が 22.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「補装具給付事業」が多くなっています。

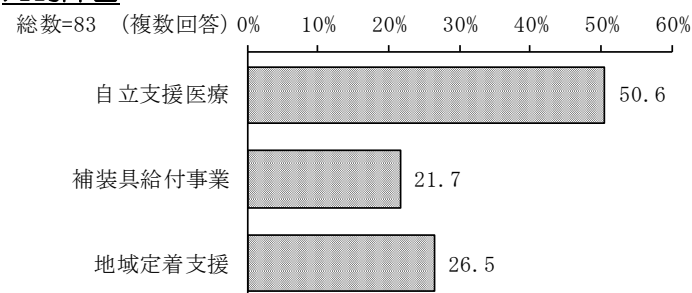
全体



身体障害



知的障害



(6) 児童に関する支援

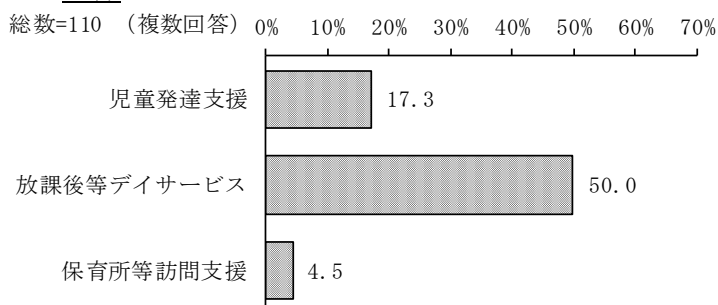
「(6) 児童に関する支援」は18歳未満の方にお聞きしました。

⑩児童に関する支援の利用状況

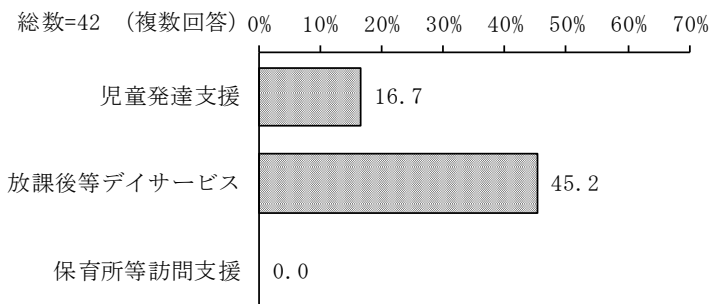
全体では、「放課後等デイサービス」が50.0%と最も多く、次いで「児童発達支援」が17.3%、「保育所等訪問支援」が4.5%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「保育所等訪問支援」という回答はありませんでした。

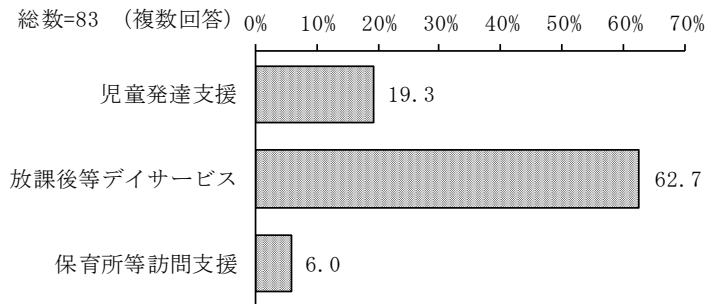
全体



身体障害



知的障害

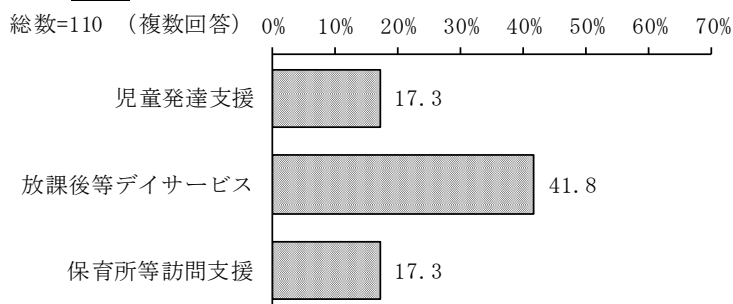


⑪児童に関する支援の利用意向

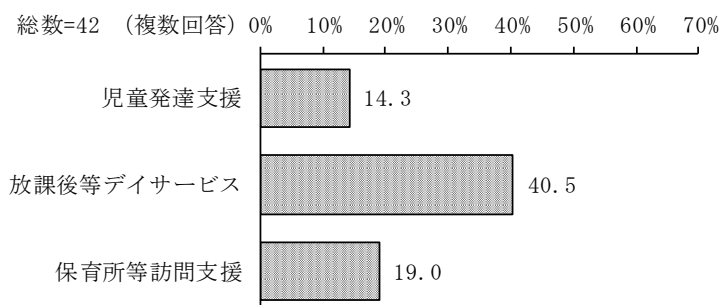
全体では、「放課後等デイサービス」が41.8%と最も多く、次いで「児童発達支援」「保育所等訪問支援」がそれぞれ17.3%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

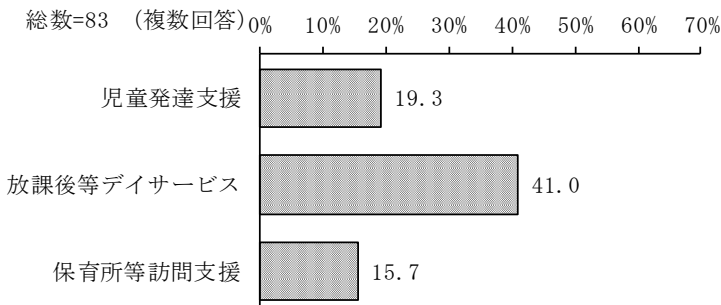
全体



身体障害



知的障害



サービス名	サービスの内容
①児童発達支援	就学前の障害のある子どもを対象に、施設に通所し、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応のための訓練などを行う（児童発達支援）とともに、身体状況により、治療も行います（医療型児童発達支援）。平成30年度から重度の障害等のために外出が著しく困難な障害のある子どもについては、居宅において発達支援を受けられるようになりました（居宅訪問型児童発達支援）。
②放課後等デイサービス	学校就学中の障害のある子どもを対象に、放課後や夏休みなどの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練などを行うとともに、居場所を提供します。
③保育所等訪問支援	保育士、児童指導員等が障害のある子どもがいる保育所等の施設を訪問し、集団生活に溶け込めるよう支援を行います。平成30年度から保育士、児童指導員等による訪問先が拡大され、乳児院、児童養護施設が追加されました。

(7) サービス利用で困っていること

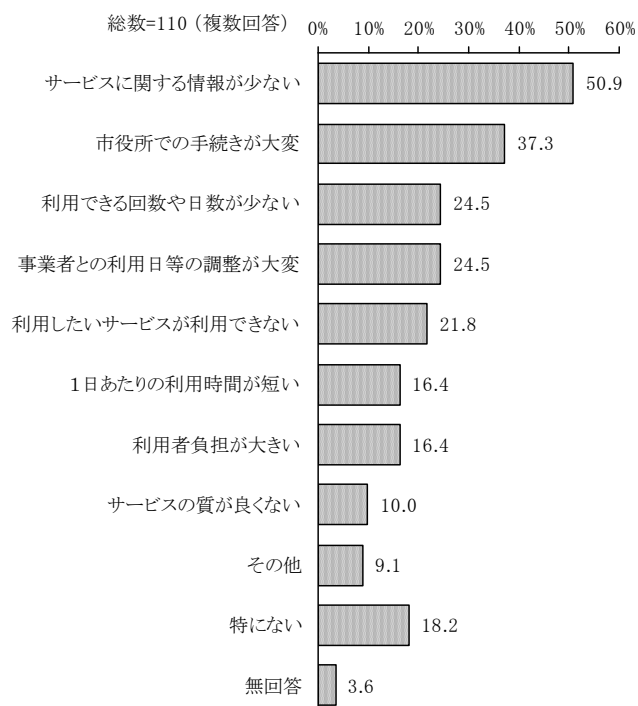
問 38 あなたが、サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

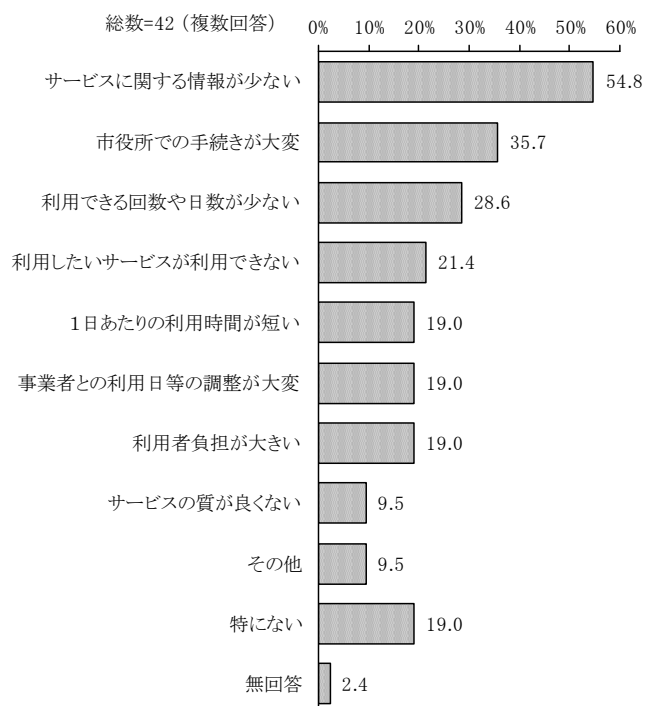
全体では、「サービスに関する情報が少ない」が50.9%と最も多く、次いで「市役所での手続きが大変」が37.3%、「利用できる回数や日数が少ない」「事業者との利用日等の調整が大変」がそれぞれ24.5%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

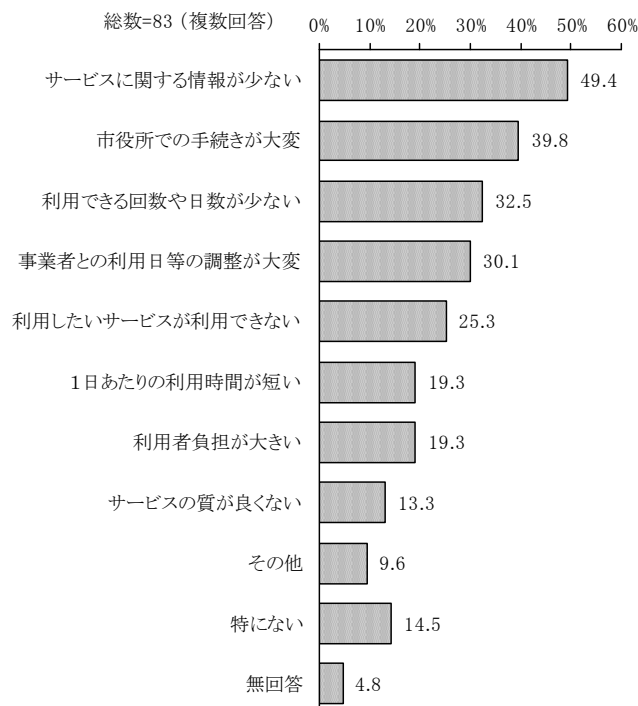
全体



身体障害



知的障害



12. 権利擁護・障害理解について

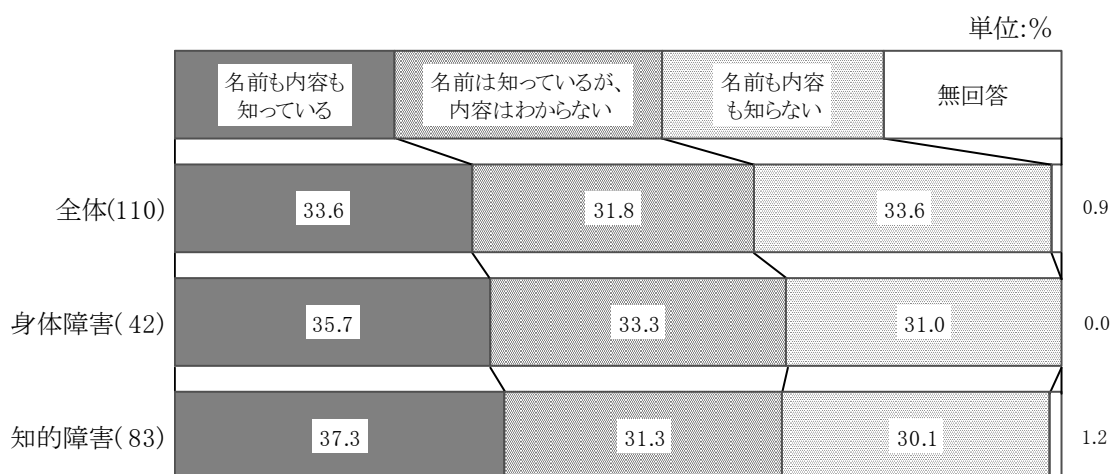
(1) 権利擁護の取組の認知状況

問 39 あなたは、次の権利が守られるための取組について知っていますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

①成年後見制度

全体では、「名前も内容も知っている」が33.6%、「名前は知っているが、内容はわからない」が31.8%、「名前も内容も知らない」が33.6%となっています。

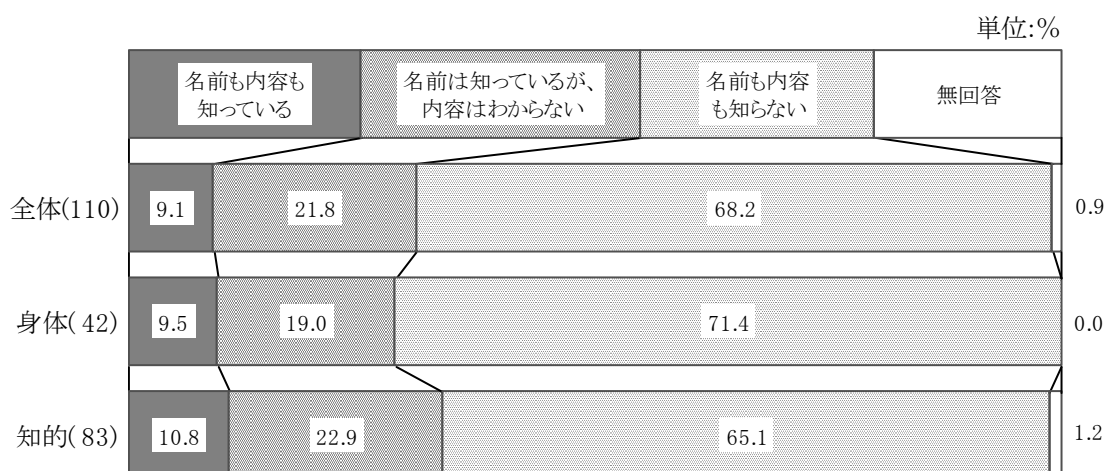
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



②昭島市障害者虐待防止センター

全体では、「名前も内容も知っている」が9.1%、「名前は知っているが、内容はわからない」が21.8%、「名前も内容も知らない」が68.2%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

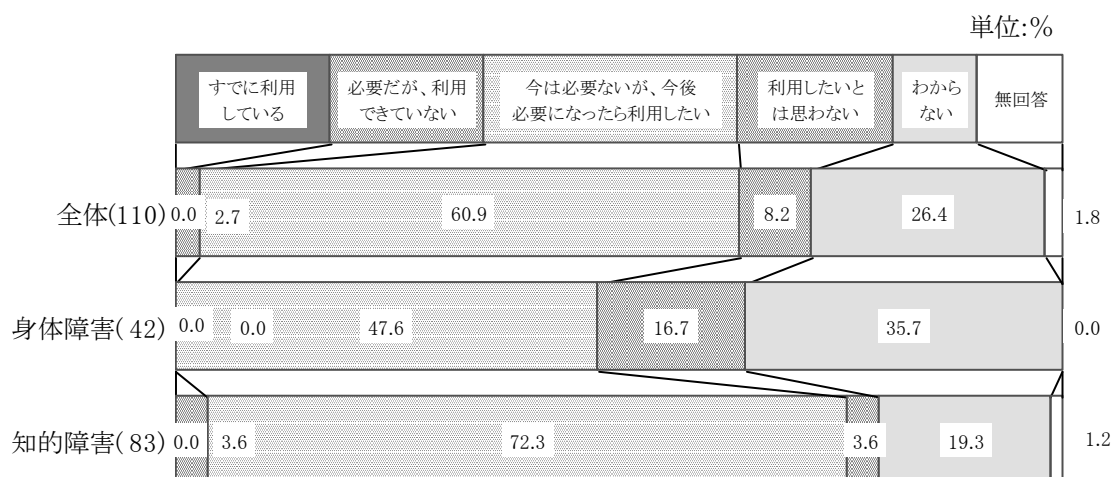


(2) 成年後見制度の利用意向

問 40 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が60.9%と最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が8.2%、「必要だが、利用できていない」が2.7%となっています。「わからない」が26.4%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が多くなっています。

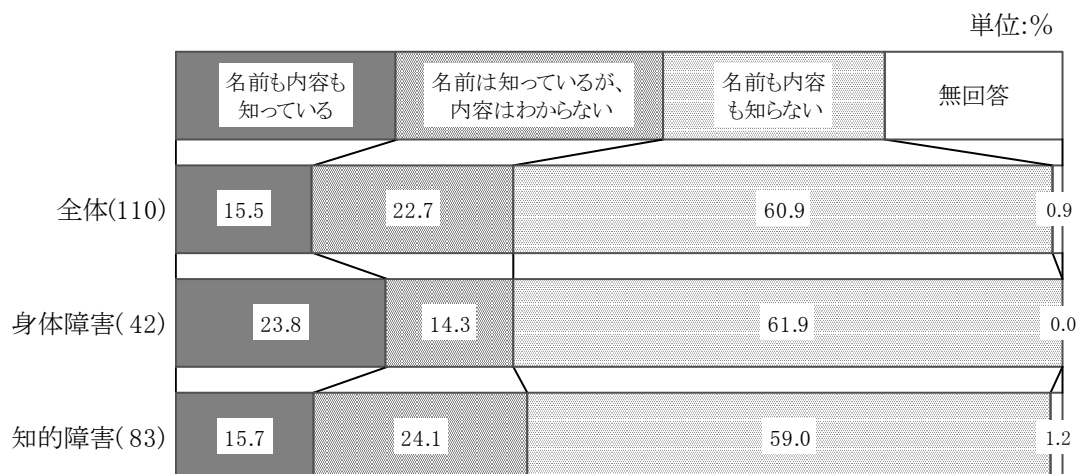


(3) 障害者差別解消法の認知状況

問 41 平成 28 年 4 月から、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が施行され、障害を理由とした不当な差別的取扱いが禁止されるとともに、合理的配慮の提供について定められました。あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（○は 1 つ）

全体では、「名前も内容も知っている」が 15.5%、「名前は知っているが、内容はわからない」が 22.7%、「名前も内容も知らない」が 60.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「名前も内容も知っている」が多くなっています。

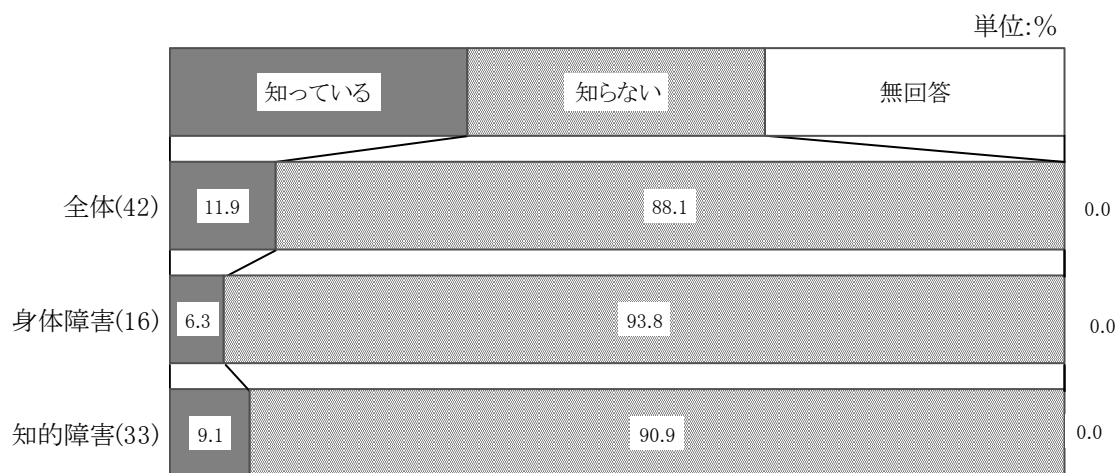


(4) 差別を受けたときの相談窓口の認知状況

問 41-2 問 41 で「名前も内容も知っている」、「名前は知っているが、内容はわからない」と答えられた方にかがいます。あなたやまわりの方が差別を受けたときの相談窓口を知っていますか。（○は 1 つ）

全体では、「知っている」が 11.9%、「知らない」が 88.1%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



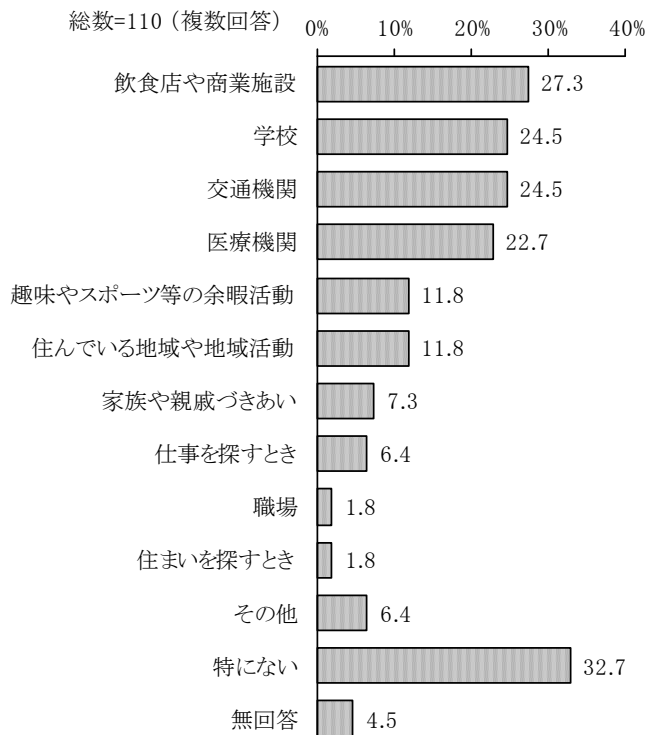
(5) 差別を受けた経験

問 42 あなたは、障害があることによりどのような場面で差別を受けていると感じたり、嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

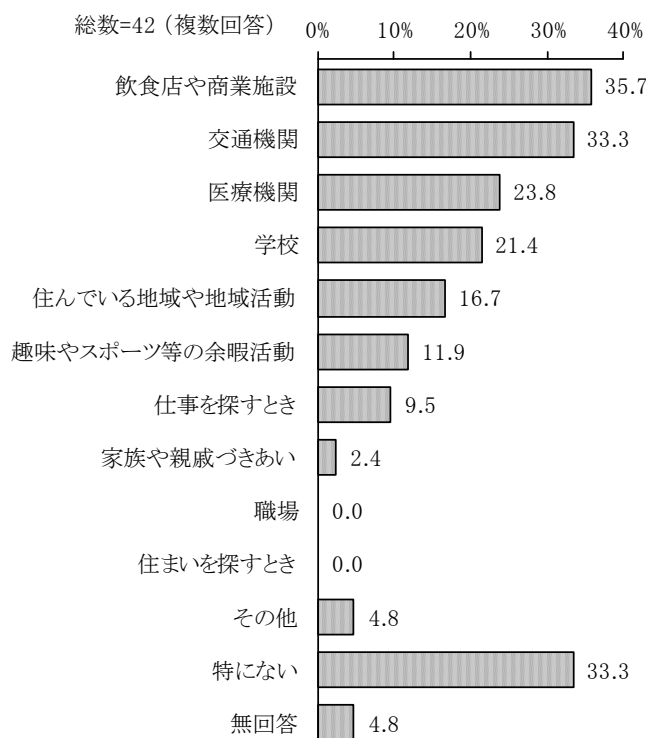
全体では、「飲食店や商業施設」が27.3%と最も多く、次いで「学校」「交通機関」がそれぞれ24.5%、「医療機関」が22.7%となっています。「特にない」が32.7%とやや多くなっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

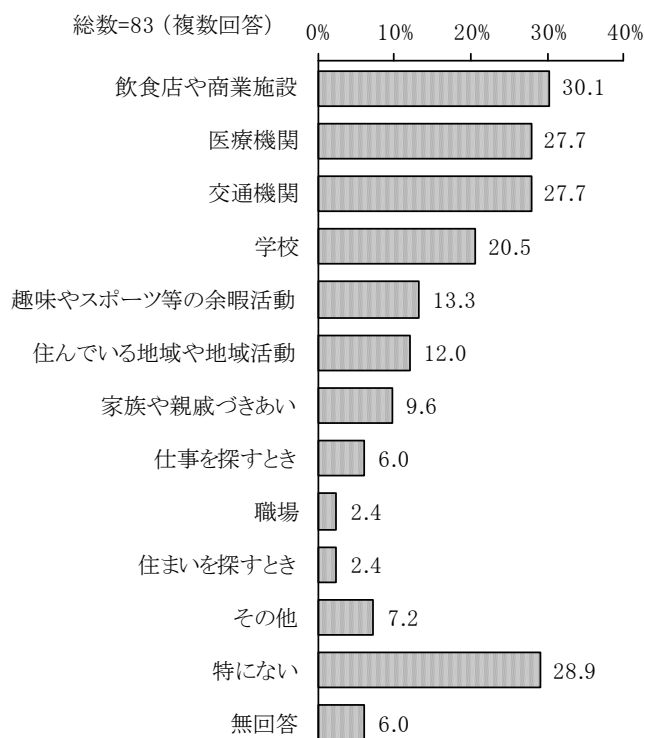
全体



身体障害



知的障害



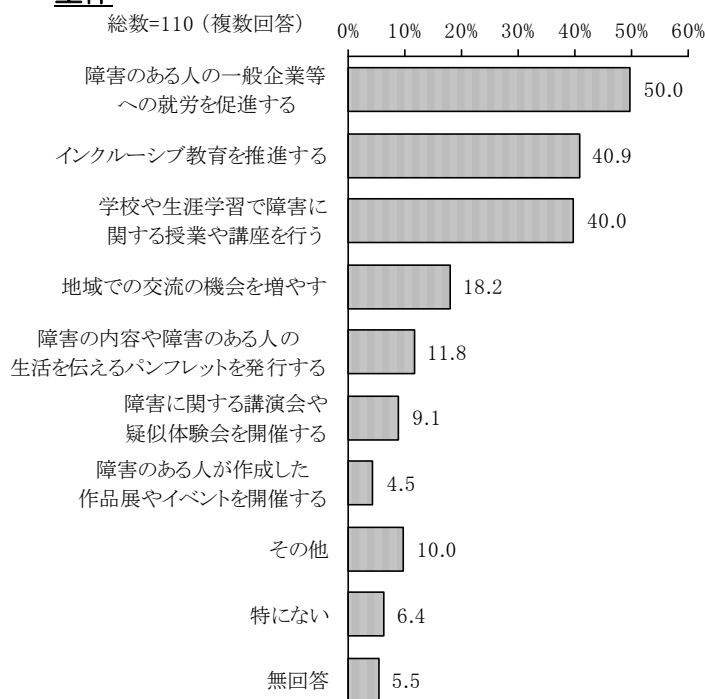
(6) 障害理解を進めるために力を入れるべきこと

問 43 あなたは、障害への理解を進めるために昭島市がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

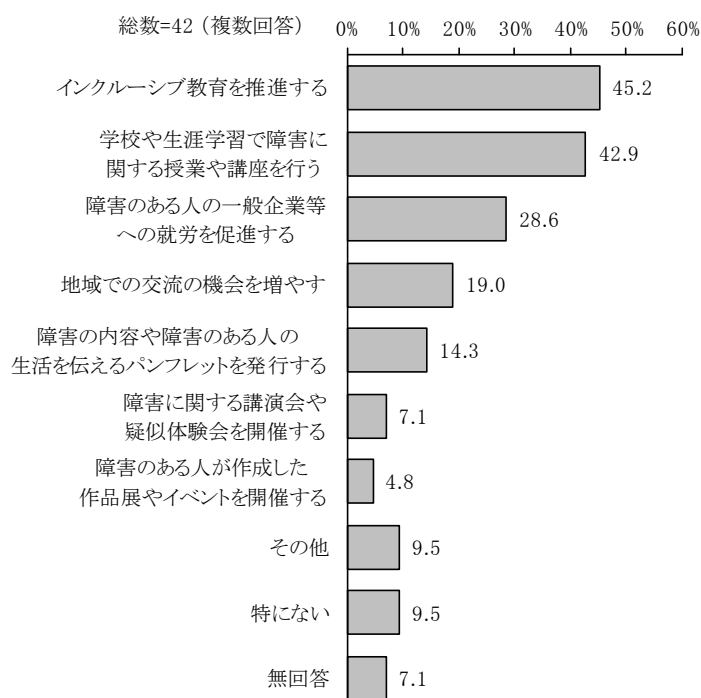
全体では、「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が50.0%と最も多く、次いで「インクルーシブ教育を推進する」が40.9%、「学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う」が40.0%、「地域での交流の機会を増やす」が18.2%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「インクルーシブ教育を推進する」が最も多くなっています。知的障害では身体障害と比べて「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が多くなっています。

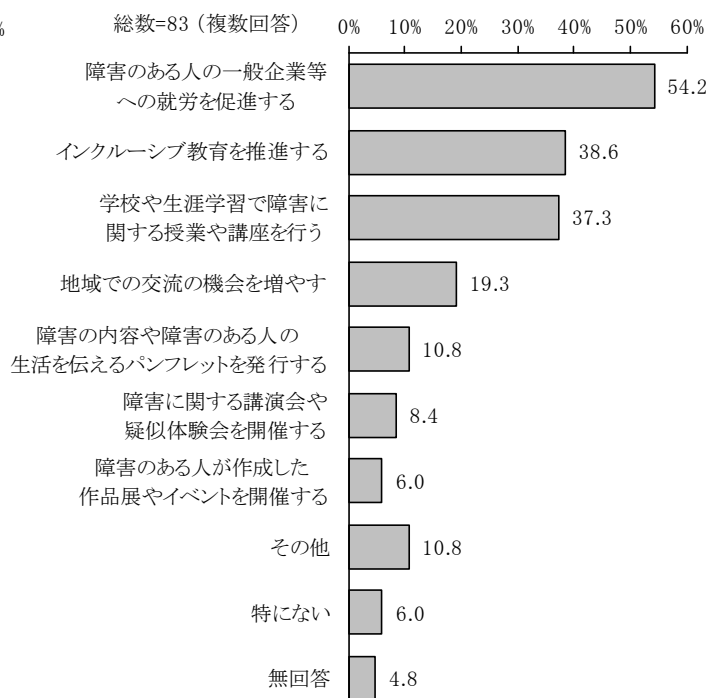
全体



身体障害



知的障害



(7) ヘルプカード・ヘルプマークの所持状況

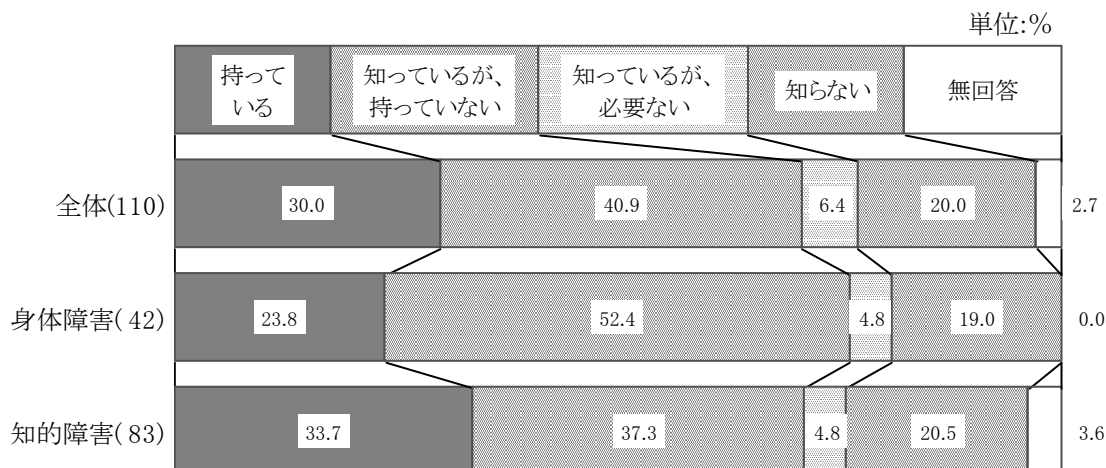
問 44 あなたは、ヘルプカード・ヘルプマークを持っていますか。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

①ヘルプカード

全体では、「知っているが、持っていない」が40.9%と最も多く、次いで「持っている」が30.0%、「知らない」が20.0%、「知っているが、必要ない」が6.4%となっています。

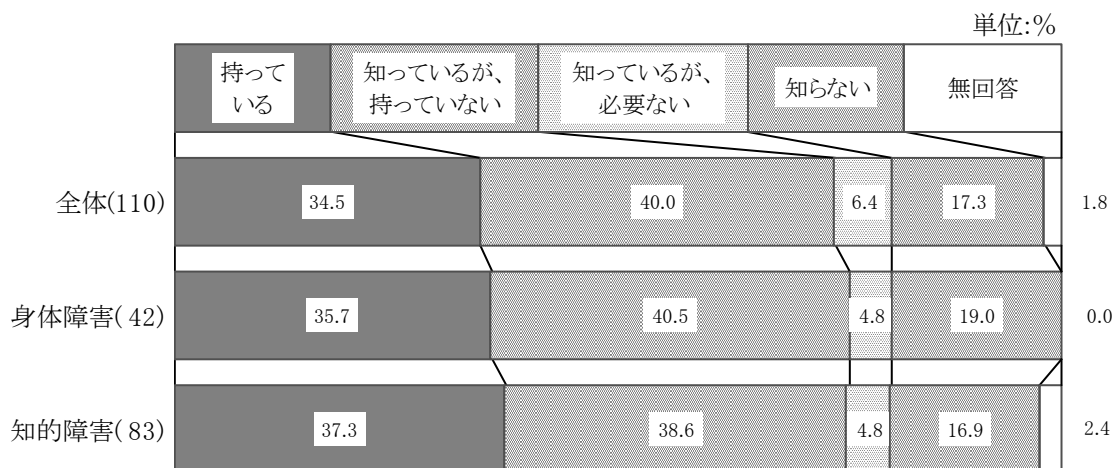
障害別に見ると、知的障害では身体障害と比べて「持っている」が多くなっています。



②ヘルプマーク

全体では、「知っているが、持っていない」が40.0%と最も多く、次いで「持っている」が34.5%、「知らない」が17.3%、「知っているが、必要ない」が6.4%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



13. 災害対策について

(1) 災害時に困ることや不安なこと

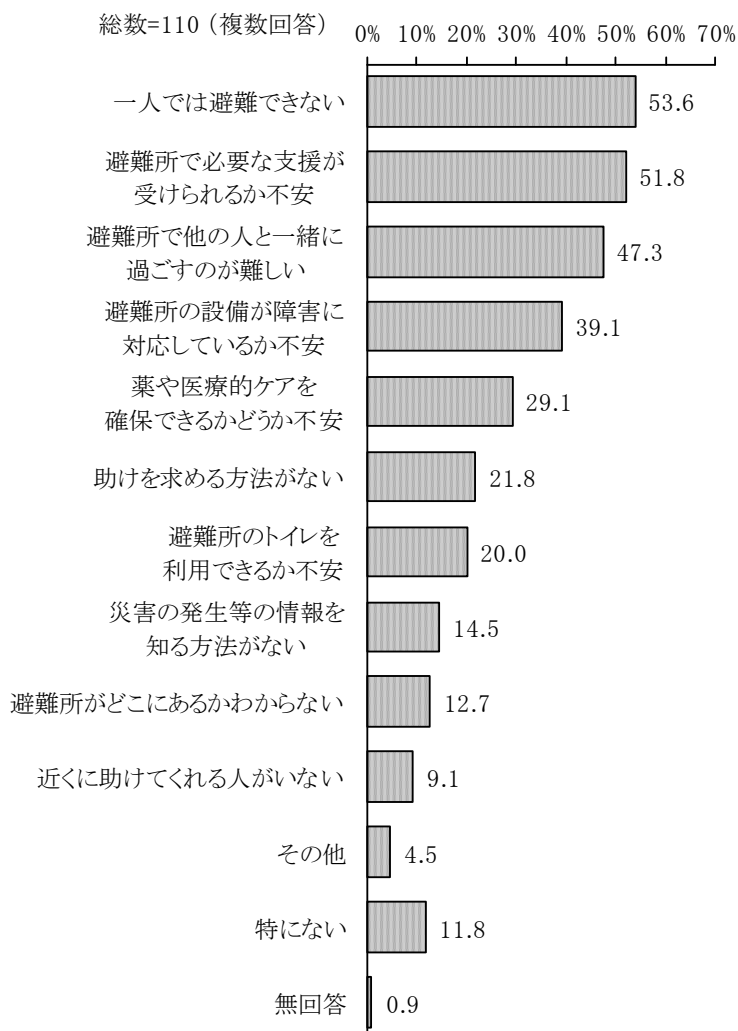
問 45 あなたが、地震等の災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

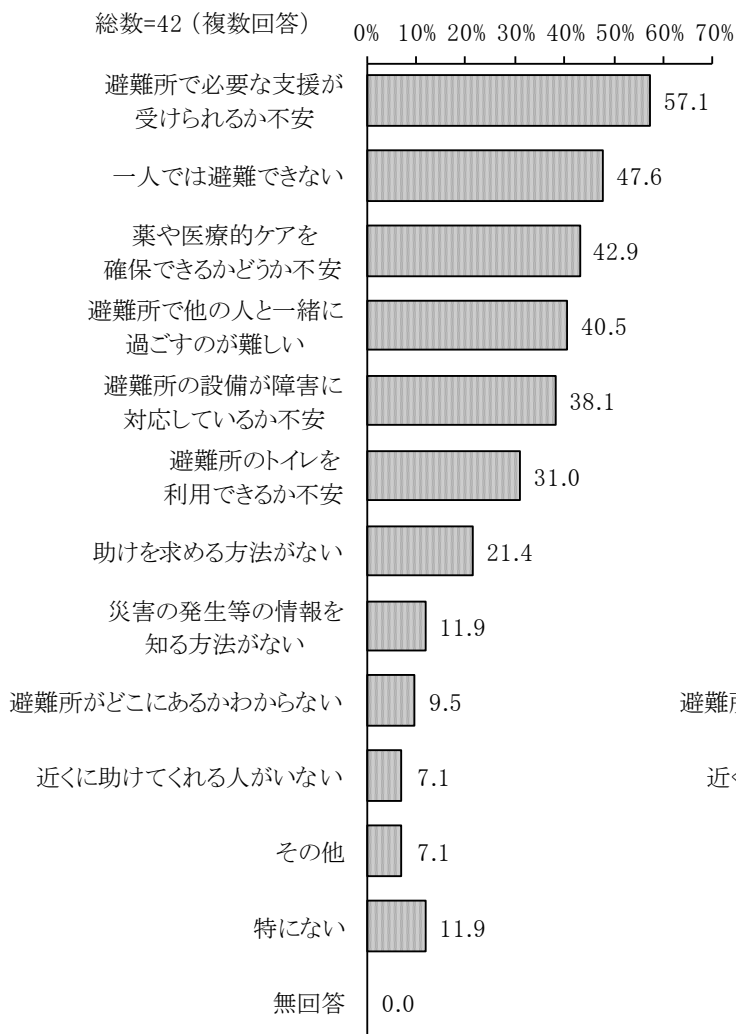
全体では、「一人では避難できない」が53.6%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が51.8%、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が47.3%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が39.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が最も多くなっています。身体障害では知的障害と比べて「避難所のトイレを利用できるか不安」がやや多くなっています。

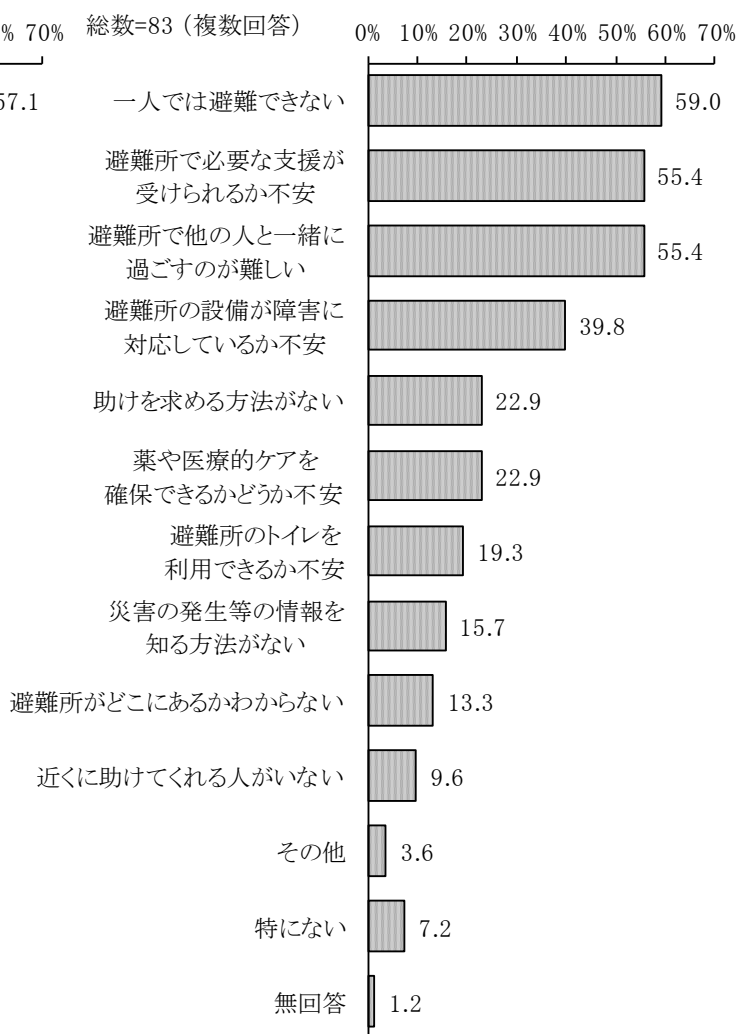
全体



身体障害



知的障害



(2) 災害に対する備え

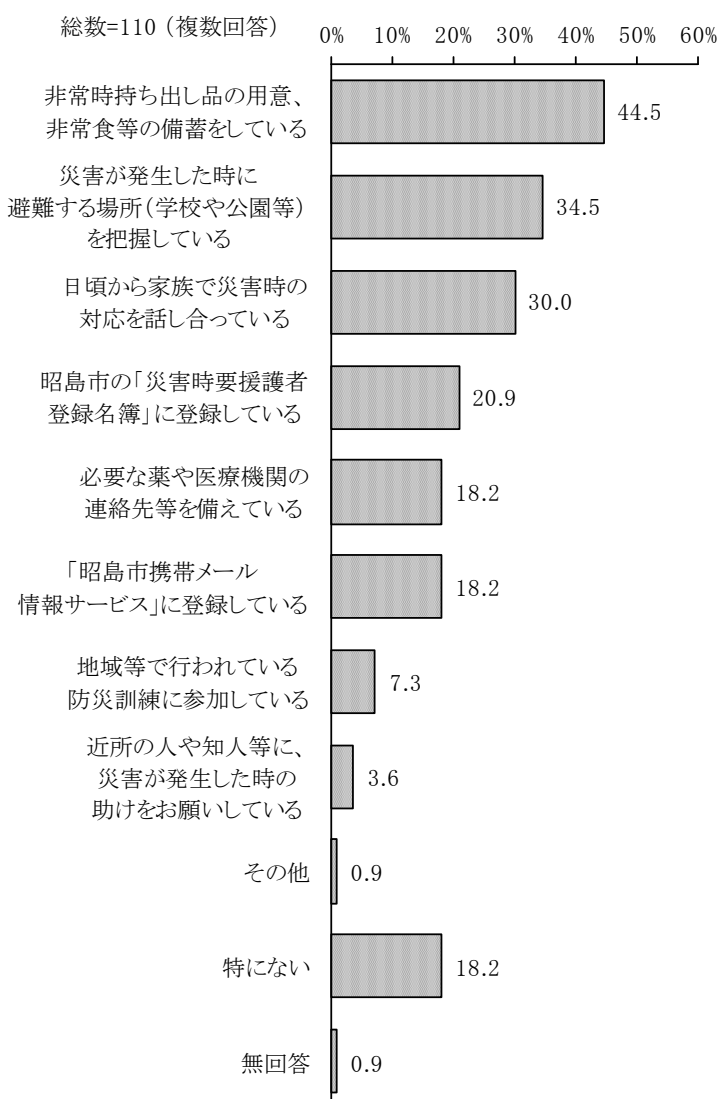
問 46 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

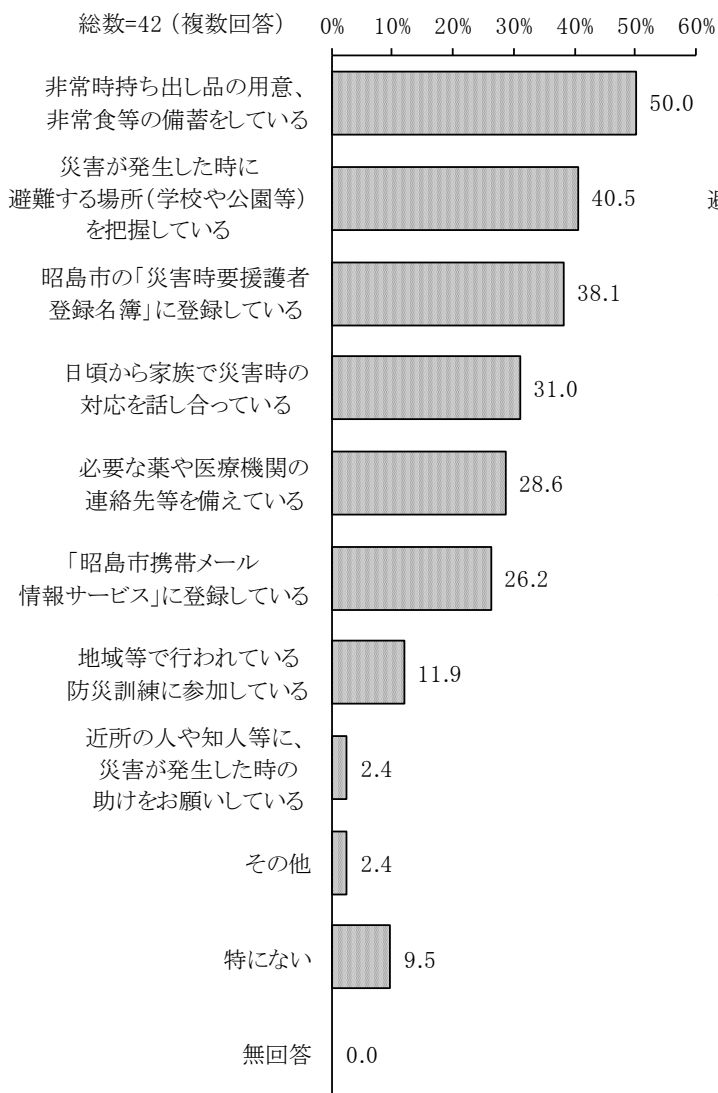
全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が44.5%と最も多く、次いで「災害が発生した時に避難する場所(学校や公園等)を把握している」が34.5%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が30.0%、「昭島市の『災害時要援護者登録名簿』に登録している」が20.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「昭島市の『災害時要援護者登録名簿』に登録している」が多くなっています。

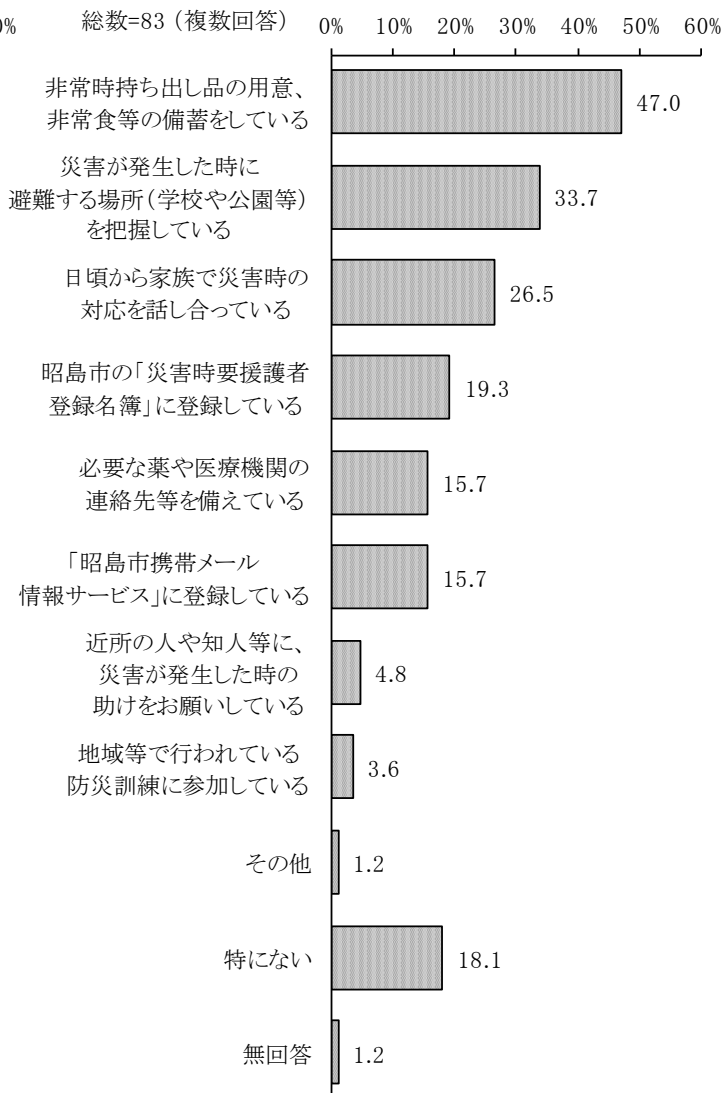
全体



身体障害



知的障害



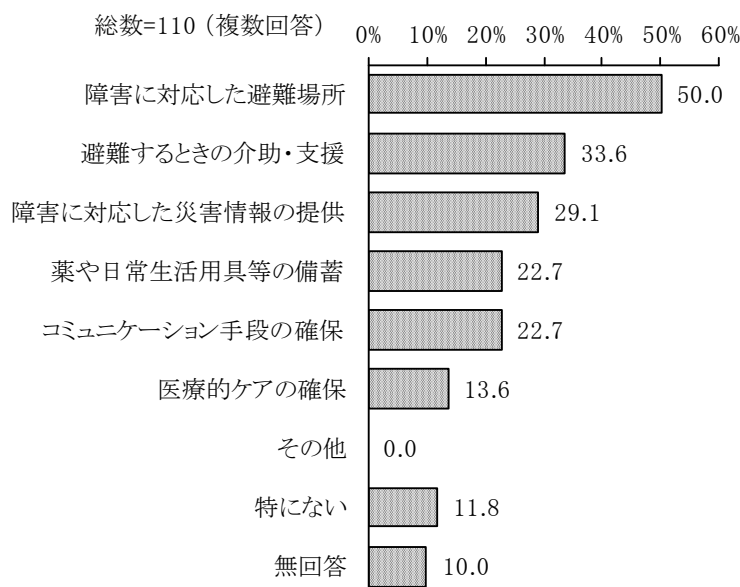
(3) 災害時に必要な支援

問 47 あなたは、災害が発生した時にどのような支援が必要ですか。(〇は3つまで)

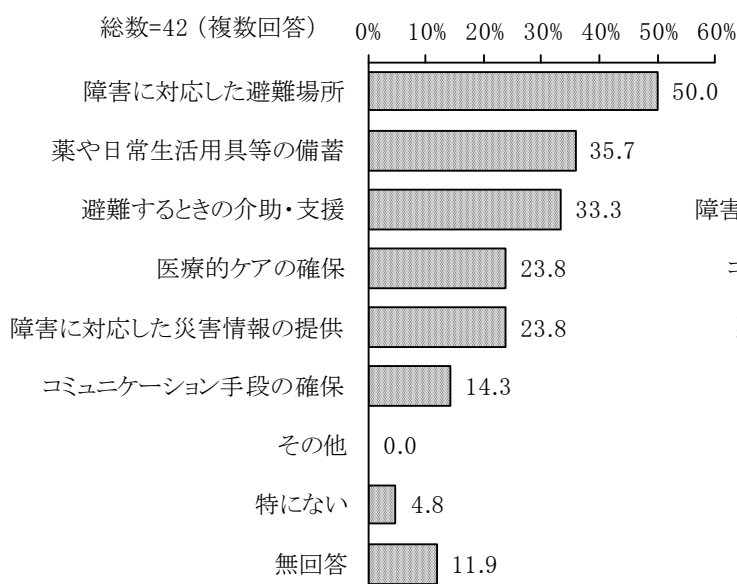
全体では、「障害に対応した避難場所」が50.0%と最も多く、次いで「避難するときの介助・支援」が33.6%、「障害に対応した災害情報の提供」が29.1%、「薬や日常生活用具等の備蓄」「コミュニケーション手段の確保」がそれぞれ22.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では知的障害と比べて「薬や日常生活用具等の備蓄」「医療的ケアの確保」が多くなっています。

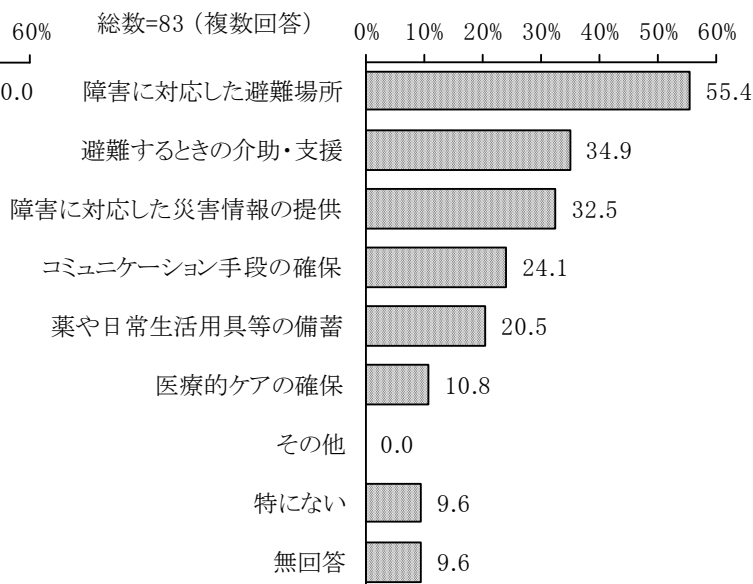
全体



身体障害



知的障害



14. 昭島市の障害者施策について

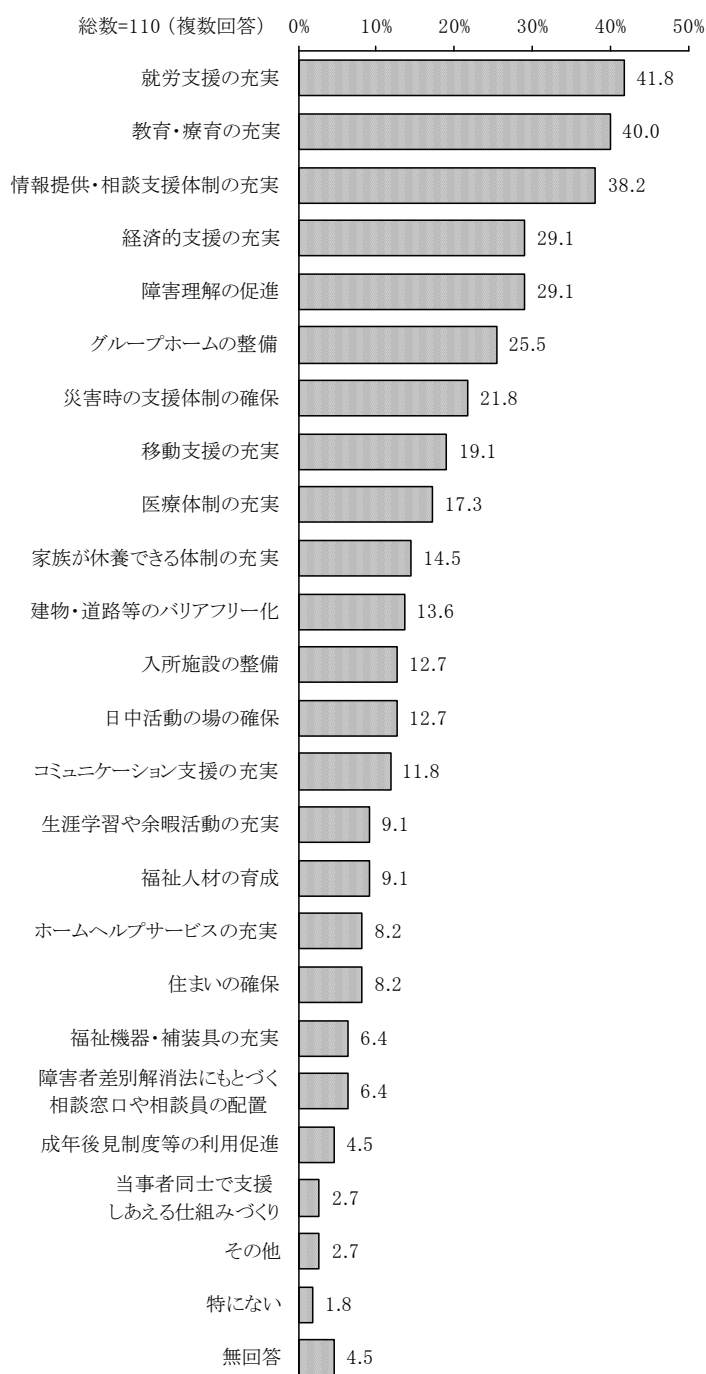
(1) 重点的に行うべき施策

問 48 あなたは障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、昭島市がどのような施策を重点的に行うべきだと思いますか。(〇は5つまで)

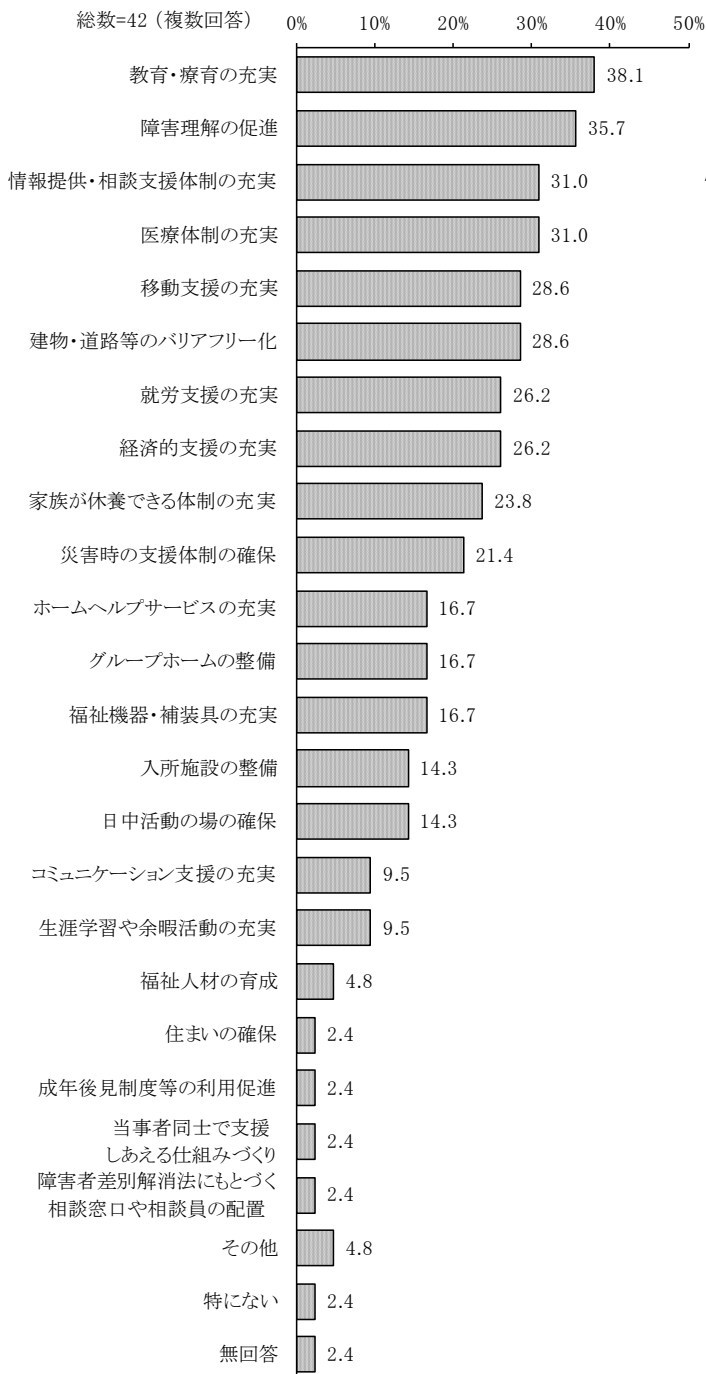
全体では、「就労支援の充実」が41.8%と最も多く、次いで「教育・療育の充実」が40.0%、「情報提供・相談支援体制の充実」が38.2%、「経済的支援の充実」「障害理解の促進」がそれぞれ29.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「教育・療育の充実」が最も多く、知的障害と比べて「障害理解の促進」が多くなっています。

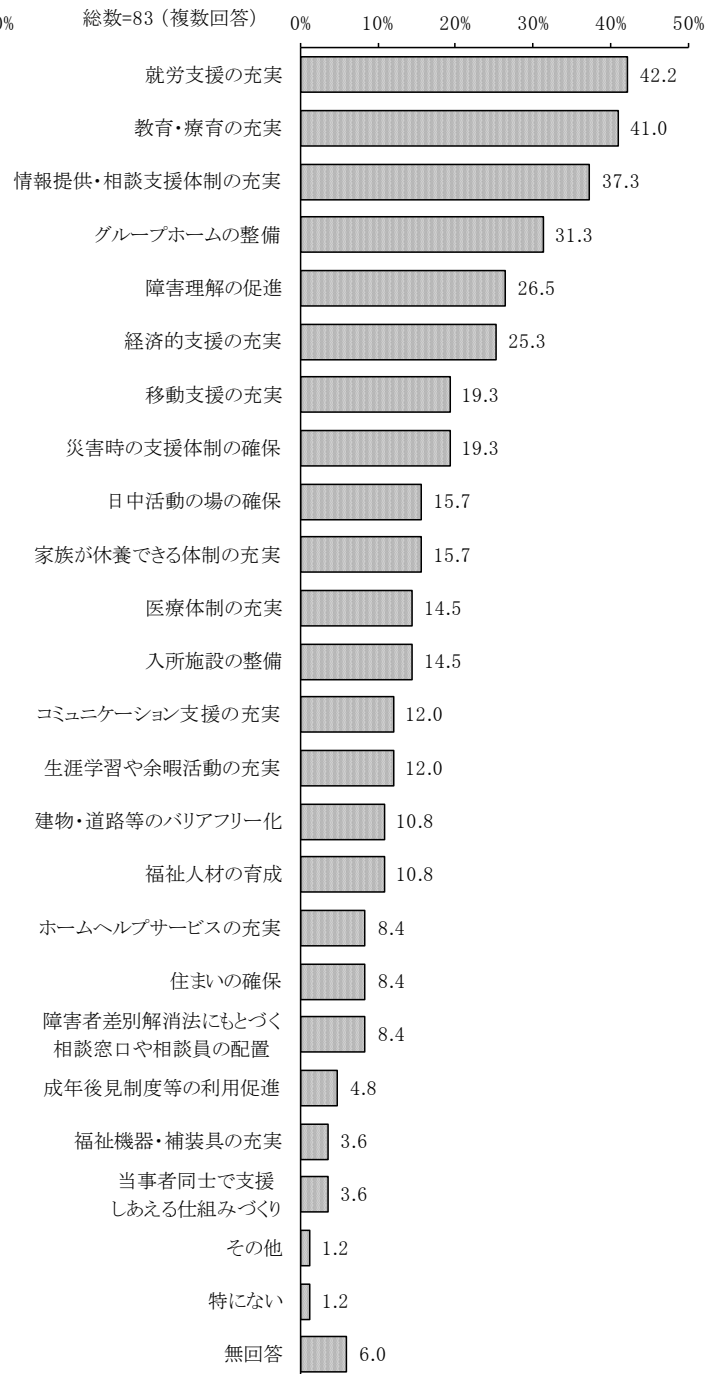
全体



身体障害



知的障害



(2) 自由意見

問 49 昭島市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

「保育・教育・療育」に関する意見が 26 件と最も多く、次いで「行政への意見・要望」が 22 件、「福祉サービス」が 17 件、「障害理解」「経済的支援」がそれぞれ 6 件となっています。

回答の内容		件数
1	保育・教育・療育	26
2	行政への意見・要望	22
3	福祉サービス	17
4	障害理解	6
	経済的支援	6
	その他	13
総件数		48

※複数の内容を含む回答があるため、各分野の件数の合計は総件数を超えています。

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

①保育・教育・療育

意見	障害の種類	性別・年齢
聴覚障害があります。今 2 歳なのですが、昭島市に通える療育施設がないので、作ってほしいです。今、月に 2 回病院で言葉のリハビリをしてもらっていますが、近くに専門の言葉の教室がほしいです。どこかで見ていただきたいです。	聴覚・平衡 機能障害	男性 2 歳
ひよこ教室に通っています。重度心身障害児ですが、マンツーマンなので今は通っていますが、来年度の通所はマンツーマンではないとのこと、安全面等々を考えると今のところ通えません。なんとかありませんか？ 困っています。	肢体不自由 知的障害	男性 3 歳
放課後デイの中にはきちんと対応されていない施設等もあるのでしっかりと審査、調査等を行ってほしい。また、支援員の数が少ないと思います。支援員の数を増やし、相談等にすぐに応じてもらえるようお願い致します。	知的障害	男性 8 歳
学区など関係なく、学校を選ばせてほしい。色々な事情があり、行きたい支援学級があるのに、学区外だと手続きや体験入級を何度もやるのは時間の無駄だと思う。	精神障害	男性 12 歳
教育相談室で心理士さんにカウンセリングをしてもらいますが、最終時間が 4 時からなので放課後の利用がしにくい。もっと遅い時間も設定してほしい。心理士さんにせっかく慣れたのに、1~2 年で異動してしまうのでまた 1 から関係を作らないといけない。引継の時間も十分に取れるようにしてもらいたい。	知的障害	女性 14 歳

②行政への意見・要望

意見	障害の種類	性別・年齢
支援や手当などをしていただけるのはありがたいのですが、とにかく手続きが大変です。障害のある子を抱えて何度も市役所などに行くことが非常に負担です。	知的障害	男性 3歳
市職員が支援情報を把握すべき。一つの窓口で話ができるようたらい回しはやめて欲しい。	音声・言語・ そしゃく機能障害 知的障害	男性 5歳
市役所に行かないと手続きができないものが多く大変です。重度障害の子供を連れて書類だけ提出しに行くのはとても負担です。	肢体不自由 知的障害	男性 11歳
知的障害の子。自立して（親と離れても）暮らしていけるようなまちづくりをしてほしいです。親がまだ元気なうちから家を出てもらえると安心して過ごすことが出来ます。	知的障害	男性 13歳

③福祉サービス

意見	障害の種類	性別・年齢
18歳以上が仕事後に使えるデイサービスを作ってほしい。仕事時間が短いので、家族が帰ってくるまでどこかで預かってほしい。昭島市内にグループホームや入所施設が少ない。就労支援の会社も少ない。障害者が親がいなくても安心して自立出来る環境を整えてほしい。	身体障害 (種類無回答)	男性 8歳
「ショートステイ」の場所を昭島市内に早急に何か所か作ってほしい。今建設中の教育福祉総合センターの中にも作ることが出来たと思うのですが。放課後等デイサービスの事業所に助成などして「ショートステイ」を作ってもらえるなど出来ないのでしょうか？ また生活介護の施設ももっと増やしてほしいです。	肢体不自由 知的障害	男性 13歳
支援が必要な人はどんどん増えているのに対して、昭島市では全く支援が足りない印象がある。グループホーム、作業所、移動支援など空きがない。障害福祉事業をもっと市内に取り込むべきだと考える。	視覚障害 知的障害	男性 14歳
親亡き後に生活できる手段（グループホームなど）、社会と繋がっていくようにサポートしてもらえると安心できます。	知的障害	男性 15歳

④障害理解

意見	障害の種類	性別・年齢
地域で生きていく体制を整えてほしい。まずは一般の人、子達の理解、交流が大切。遠くの支援学校ではなく、育った地区の学校で子どもを受け入れてほしい。そこから分けているのに、後に地域では暮らせないとします。	知的障害	女性 6歳
ポスター等に障がい者の写真（モデル）かイラスト（絵）を利用してほしい。	知的障害	男性 6歳
市内に支援学校や地域の子どもたちと交流する場所、機会がないのか疑問に思います。行政の体制自体が障害者と区別をし、地域に溶け込めないようにしているように感じます。	肢体不自由 知的障害	男性 11歳

⑤経済的支援

意見	障害の種類	性別・年齢
補聴器ユーザーです。補聴器のメンテナンス、電池、イヤーマールド、また子どもである為、成長に合わせた買い換えなど、年間数十万円に及びます。年収にかかわらず、一部助成でも良いので支援していただきたい。	聴覚・平衡機能障害	女性 4歳
経済的に支援が受けられない状況です。親の仕送り等で年収がそれほど高くないのに、一辺倒に断られてしまい、今後が心配です。	知的障害	男性 6歳
子供が発達障害です。福祉サービス（デイサービス）を利用しております。家庭の収入が変わったことで、負担上限金額が大幅に上がり、経済的にとても困っております。なんとかありませんでしょうか？	知的障害	男性 12歳

⑥その他

意見	障害の種類	性別・年齢
障害を持っている方でも、パラリンピックに出たいという子ども達がいると思います。知識を持った指導員がいればと思います。週に2回とか昭島にも来てもらったり、そんなチャンスがほしいです。	肢体不自由	女性 7歳
災害時は通学の避難所へ入ることが難しいため、あいぽっくを障がい者専用の避難所にしてほしいと思います。	知的障害	男性 8歳
障害者が引きこもらず、楽しく余暇活動できる場所、サークル活動などが市内でもあれば嬉しいです。	知的障害	女性 11歳
情報を得るために今はインターネットの普及によってみんな知ることも出来てますが、細かい内容等障がい者本人、家族が自ら、市役所等へ出向かなければ教えてもらえないのが現実です。もう少し障がい者に対する必要な情報を多く発信できる工夫を願います。	精神障害	女性 16歳